

## **9 配慮項目の概要と配慮事項**



## 9 配慮項目の概要と配慮事項

「7.2 環境影響要素の抽出及び環境影響評価項目の選定」において選定した配慮項目における配慮事項は表9-1に示すとおりである。

表9-1(1) 配慮事項(1/2)

環境影響要素		環境影響要因		配慮事項
悪臭	悪臭	供用	施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ容器の密閉化</li> <li>・排水の下水道への排出</li> </ul>
水質	水の汚れ	供用	施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食施設等の油や洗浄剤など含まれる厨房排水は公共下水道（汚水）に接続する。</li> </ul>
水象	地下水・湧水	工事	盛土・掘削等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーリング調査結果から地下水位はGL-1.1～2.3mである。本事業では、約1mの盛土を実施し、調整池設置に伴う掘削は約3mとしており、現地盤に対しての掘削は約GL-2m程度とする。</li> <li>・地下水の揚水、温泉掘削、大規模な地下構造物の建設は予定していない。</li> </ul>
景観	文化的景観資源	工事	資材等の運搬	資材等の運搬の工事車両の走行ルートは、既に歩道や安全施設が整備されている国道48号とし、（安全対策）を実施する。
		供用	資材・製品・人等の運搬・輸送	利用者のアクセスのため、資材・製品・人等の運搬・輸送の関連車両の走行ルートは、歩道や安全施設が整備されており、本事業の実施により交通環境に更なる負荷をかけないように、国道48号交差点の改良（信号現示の見直し、交差点改良工事）や、幅員12mとして整備する市道谷津線及び主要区画道路への右左折レーンの設置により円滑な交通流を確保する。また、主要区画道路は、国道48号交差点付近での渋滞回避のため土地利用上可能な限り離れた位置に配置する。
自然との触れ合いの場	自然との触れ合い場	工事	資材等の運搬	資材等の運搬の工事車両の走行ルートは、既に歩道や安全施設が整備されている国道48号とし、（安全対策）を実施する。
		存在	資材・製品・人等の運搬・輸送	利用者のアクセスのため、資材・製品・人等の運搬・輸送の関連車両の走行ルートは、歩道や安全施設が整備されており、本事業の実施により交通環境に更なる負荷をかけないように、国道48号交差点の改良（信号現示の見直し、交差点改良工事）や、幅員12mとして整備する市道谷津線及び主要区画道路への右左折レーンの設置により円滑な交通流を確保する。また、主要区画道路は、国道48号交差点付近での渋滞回避のため土地利用上可能な限り離れた位置に配置する。

表9-1(2) 配慮事項(2/2)

環境影響要素		環境影響要因		配慮事項
文化財	指定文化財等	工事	盛土・掘削等	対象事業計画地内に埋蔵文化財包蔵地が存在し、盛土・掘削等により、影響が考えられるが、事前に関係機関と協議し対応する。
		存在	変更後の地形	
廃棄物等	廃棄物	供用	施設の稼働	土地販売時に廃棄物の発生量の抑制・削減について配慮を要請する。
	水利用	供用	施設の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉水は地区外から搬入し、排水は公共下水道（汚水）に接続する計画とする。</li> <li>・土地販売時に水の使用量抑制、雨水・処理水等の有効利用の検討について配慮を要請する。</li> </ul>
温室効果ガス等	熱帯材使用	工事	盛土・掘削等	コンクリート構造物の建設に伴う型枠使用に際しては、熱帯材由来の型枠の使用を制限する等の配慮する。

## **10 対象事業に係る環境影響の総合的な評価**



## 10 対象事業に係る環境影響の総合的な評価

本事業の選定項目に係る環境影響評価の概要は、次頁以降に示すとおりである。

本事業に伴う工事による影響、存在による影響及び供用による影響は、環境保全措置等により実行可能な範囲で回避・低減されていると評価する。

## 10.1 大気質

### 10.1.1 工事による影響

#### (1) 資材等の運搬

##### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事用車両の走行に伴う大気質への影響を可能な限り低減するため、表10.1-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.1-1 資材等の運搬に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・ 工事用車両の点検・整備を十分に行う。
- ・ 工事用車両は低排出ガス認定自動車の採用に努め、大気汚染の低減を図る。
- ・ 工事用車両が一時的に集中しないよう、工程の平準化に努める。
- ・ 工事用車両の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。
- ・ 工事用ゲート及び主な走行ルート上の交差部には、適時、交通誘導員を配置し、一般車両の走行の妨げにならないように誘導する。

##### 2) 評価

###### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、工事用車両の点検・整備、工事の平準化、車両等のアイドリングストップ等の指導・教育、交通誘導等、排出ガスの抑制が図られていることから、工事用車両の走行に伴う大気質への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

###### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

###### (ア) 二酸化窒素

工事用車両の走行に伴う周辺沿道の二酸化窒素濃度の日平均値の年間98%値は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

###### (イ) 浮遊粒子状物質

工事用車両の走行に伴う周辺沿道の日平均値の2%除外値は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。



## (2) 重機の稼働

### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、重機の稼働に伴う大気質への影響を可能な限り低減するため、表10.1-2に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.1-2 重機の稼働に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・重機等の使用に際しては点検・整備を十分に行う。
- ・排出ガス対策型の建設機械の採用に努め、大気汚染の低減を図る。
- ・重機の稼働が一時的に集中しないよう、工程の平準化に努める。
- ・重機等の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。

### 2) 評価

#### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、重機の十分な点検・整備の実施、排出ガス対策型建設機械の使用、工事の平準化、重機のアイドリングストップ等の指導・教育等、排出ガスの抑制が図られていることから、重機の稼働に伴う大気質への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

#### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

##### (ア) 二酸化窒素

重機の稼働に伴う二酸化窒素濃度の日平均値の年間98%値は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

##### (イ) 浮遊粒子状物質

重機の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度の日平均値の2%除外値は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

### (3) 盛土・掘削等

#### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、粉じんの発生を可能な限り低減するため、表10.1-3に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.1-3 盛土・掘削等に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・防塵対策として工事区域の周囲に、防塵ネット等による仮囲いを設置する。
- ・現場内の車両制限速度を低速に制限し、車両走行による粉塵飛散を抑制する。
- ・粉塵発生作業時には、散水等による飛散防止を図る。
- ・タイヤ洗浄装置等を用いて地区内から地区外へ出る車両のタイヤを洗浄する。

#### 2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、強風時の散水、タイヤ洗浄装置等によるタイヤ洗浄、防塵ネット等の設置等、粉じん発生の抑制が図られていることから、盛土・掘削等に伴う粉じんの影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

建設機械の稼働による粉じん（降下ばいじん）の予測結果は、寄与濃度の最大値が7.9t/km<sup>2</sup>/月と予測した。予測結果は、「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」(平成25年、国土交通省国土政策総合研究所・独立法人土木研究所)による参考値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

#### (4) 資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響

##### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事に伴う大気質への影響を可能な限り低減するため、上記(1)、(2)及び(3)の環境保全措置を講ずることとする。

##### 2) 評価

###### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、資材等の運搬に関しては、工事用車両の点検・整備、低排出ガス認定自動車の採用、工事の平準化、車両等のアイドリングストップ等の指導・教育、交通誘導等、排出ガスの抑制が図られている。また、重機の稼働に関しては、重機の十分な点検・整備の実施、排出ガス対策型建設機械の使用、工事の平準化、重機のアイドリングストップ等の指導・教育等、排出ガスの抑制が図られている。

これらのことから、工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働に伴う複合的な大気質への影響は、複数の環境影響要因を考慮した場合でも、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

###### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

###### (ア) 二酸化窒素

工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働に伴う二酸化窒素濃度の日平均値の年間98%値の合成予測結果は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

###### (イ) 浮遊粒子状物質

工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度の日平均値の2%除外値の合成予測結果は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

## 10.1.2 供用による影響

### (1) 資材・製品・人等の運搬・輸送

#### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、施設関連車両の走行に伴う大気質への影響を可能な限り低減するため、表10.1-4に示すの環境保全措置を講ずることとする。

表10.1-4 資材・製品・人等の運搬・輸送に対する環境の保全及び創造のための措置

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・対象事業計画地内に進出する事業所に対して、公共交通機関の利用等により、車両台数の抑制を図るよう要請する。</li><li>・対象事業計画地内の利用者に対して、駐車時におけるアイドリングや、急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の排出ガス低減への協力を要請する。</li><li>・交差点付近には、自転車歩行者専用道路を設け、自動車通行と分離する。</li><li>・南北の施設間の移動については、国道48号の交差点を横断することを想定しており、徒歩による移動を促すため、計画地内に国道48号交差点付近まで誘導する歩行者専用道路の設置を検討する。</li></ul> |
|---|

#### 2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

対象事業計画地内に進出する事業所に対する公共交通機関の利用等による車両台数の抑制等の協力の要請、対象事業計画地内の利用者に対する駐車時におけるアイドリングや急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の排出ガス低減への協力の要請、歩行者専用道路の整備等、排出ガスの抑制が図られていることから、施設関連車両の走行に伴う大気質への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

###### (ア) 二酸化窒素

施設関連車両の走行に伴う周辺沿道の二酸化窒素濃度の日平均値の年間98%値は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

###### (イ) 浮遊粒子状物質

施設関連車両の走行に伴う周辺沿道の浮遊粒子状物質濃度の日平均値の2%除外値は、環境基準値及び「仙台市環境基本計画」の定量目標値を下回っていることから、基準・目標と整合が図られているものと評価する。

## 10.2 騒音

### 10.2.1 工事による影響

#### (1) 資材等の運搬

##### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事用車両の走行に伴う騒音への影響を可能な限り低減するため、表10.2-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.2-1 資材等の運搬に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・ 工事用車両の点検・整備を十分に行う。
- ・ 工事用車両が一時的に集中しないよう、工程の平準化に努める。
- ・ 工事用車両の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。
- ・ 工事用ゲート及び主な走行ルート上の交差点には、適時、交通誘導員を配置し、一般車両の走行の妨げにならないように誘導する。

##### 2) 評価

###### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、工事用車両の点検・整備、工事の平準化、車両等のアイドリングストップ等の指導・教育、交通誘導等、騒音の抑制が図られていることから、工事用車両の走行に伴う騒音への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

###### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

工事用車両の走行に伴う工事中の道路交通騒音レベルは環境基準値及び「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」に基づく基準値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

## (2) 重機の稼働

### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、重機の稼働に伴う騒音への影響を可能な限り低減するため、表10.2-2に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.2-2 重機の稼働に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・重機等の使用に際しては点検・整備を十分に行う。
- ・低騒音型の建設機械の採用に努め、騒音の低減を図る。
- ・重機の稼働が一時的に集中しないよう、工程の平準化に努める。
- ・重機等の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。
- ・騒音対策として工事区域と住宅及び公共公益施設の近接箇所には、鋼製板による仮囲いを設置する。

### 2) 評価

#### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、重機の十分な点検・整備の実施、低騒音型建設機械の使用、工事の平準化、重機のアイドリングストップ等の指導・教育、仮囲いの設置等、騒音の抑制が図られていることから、重機の稼働に伴う騒音への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

#### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

重機の稼働に伴う騒音レベルは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」及び「仙台市公害防止条例」に基づく指定建設作業に伴う騒音の規制基準値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

### (3) 資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響

#### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事に伴う騒音への影響を可能な限り低減するため、上記(1)及び(2)の環境保全措置を講ずることとする。

#### 2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、資材等の運搬に関しては、工事用車両の点検・整備、工事の平準化、車両等のアイドリングストップ等の指導・教育、交通誘導等、騒音の抑制が図られている。また、重機の稼働に関しては、重機の十分な点検・整備の実施、低騒音型建設機械の使用、工事の平準化、重機のアイドリングストップ等の指導・教育、仮囲いの設置等、騒音の抑制が図られている。

これらのことから、工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働に伴う複合的な騒音への影響は、複数の環境影響要因を考慮した場合でも、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響に伴う騒音レベルは、環境基準値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

## 10.2.2 供用による影響

### (1) 資材・製品・人等の運搬・輸送

#### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、施設関連車両の走行に伴う騒音への影響を可能な限り低減するため、表10.2-3に示すの環境保全措置を講ずることとする。

表10.2-3 資材・製品・人等の運搬・輸送に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・対象事業計画地内に進出する事業所に対して、公共交通機関の利用等により、車両台数の抑制を図るよう要請する。
- ・対象事業計画地内の利用者に対して、駐車時におけるアイドリングや、急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の排出ガス低減への協力を要請する。
- ・交差点付近には、自転車歩行者専用道路を設け、自動車通行と分離する。
- ・南北の施設間の移動については、国道48号の交差点を横断することを想定しており、徒歩による移動を促すため、計画地内に国道48号交差点付近まで誘導する歩行者専用道路の設置を検討する。

#### 2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

対象事業計画地内に進出する事業所に対する公共交通機関の利用等による車両台数の抑制等の協力の要請、対象事業計画地内の利用者に対する駐車時におけるアイドリングや急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の協力の要請、歩行者専用道路の整備等、騒音の抑制が図られていることから、施設関連車両の走行に伴う騒音への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

本事業の施設関連車両の走行に伴う騒音レベルは、環境基準値及び「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」に基づく基準値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。



## 10.3 振動

### 10.3.1 工事による影響

#### (1) 資材等の運搬

##### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事用車両の走行に伴う振動への影響を可能な限り低減するため、表10.3-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.3-1 資材等の運搬に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・工事用車両の点検・整備を十分に行う。
- ・工事用車両が一時的に集中しないよう、工程の平準化に努める。
- ・工事用車両の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。
- ・工事用ゲート及び主な走行ルート上の交差部には、適時、交通誘導員を配置し、一般車両の走行の妨げにならないように誘導する。

##### 2) 評価

###### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、工事用車両の点検・整備、工事の平準化、車両等のアイドリングストップ等の指導・教育、交通誘導等、振動の抑制が図られていることから、工事用車両の走行に伴う振動への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

###### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

工事用車両の走行に伴う工事中の道路交通振動レベルは、「振動規制法」(昭和51年6月10日法律第64号)に基づく道路交通振動に係る要請限度値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

## (2) 重機の稼働

### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、重機の稼働に伴う振動への影響を可能な限り低減するため、表10.3-2に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.3-2 重機の稼働に対する環境の保全及び創造のための措置

- ・重機等の使用に際しては点検・整備を十分に行う。
- ・低振動の建設機械の使用に努める。
- ・重機の稼働が一時的に集中しないよう、工程の平準化に努める。
- ・重機等の運転者へは、不要なアイドルングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。

### 2) 評価

#### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、重機の十分な点検・整備の実施、低振動型建設機械の使用、工事の平準化、重機のアイドルングストップ等の指導・教育等、振動の抑制が図られていることから、重機の稼働に伴う振動への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

#### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

重機の稼働に伴う振動レベルは、「振動規制法」に基づく特定建設作業に伴う振動の規制基準値及び「仙台市公害防止条例」に基づく指定建設作業に伴う振動の規制基準値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

### (3) 資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響

#### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事に伴う振動への影響を可能な限り低減するため、上記(1)及び(2)の環境保全措置を講ずることとする。

#### 2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、資材等の運搬に関しては、工事用車両の点検・整備、工事の平準化、車両等のアイドリングストップ等の指導・教育、交通誘導等、振動の抑制が図られている。また、重機の稼働に関しては、重機の十分な点検・整備の実施、低振動型建設機械の使用、工事の平準化、重機のアイドリングストップ等の指導・教育等、振動の抑制が図られている。

これらのことから、工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働に伴う複合的な振動への影響は、複数の環境影響要因を考慮した場合でも、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響に伴う振動レベルは、「振動規制法」（昭和51年6月10日法律第64号）に基づく道路交通振動に係る要請限度値、「振動規制法」に基づく特定建設作業に伴う振動の規制基準値及び「仙台市公害防止条例」に基づく指定建設作業に伴う振動の規制基準値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

## 10.3.2 供用による影響

### (1) 資材・製品・人等の運搬・輸送

#### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、施設関連車両の走行に伴う振動への影響を可能な限り低減するため、表10.3-3に示すの環境保全措置を講ずることとする。

表10.3-3 資材・製品・人等の運搬・輸送に対する環境の保全及び創造のための措置

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・対象事業計画地内に進出する事業所に対して、公共交通機関の利用等により、車両台数の抑制を図るよう要請する。</li><li>・対象事業計画地内の利用者に対して、駐車時におけるアイドリングや、急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の排出ガス低減への協力を要請する。</li><li>・交差点付近には、自転車歩行者専用道路を設け、自動車通行と分離する。</li><li>・南北の施設間の移動については、国道48号の交差点を横断することを想定しており、徒歩による移動を促すため、計画地内に国道48号交差点付近まで誘導する歩行者専用道路の設置を検討する。</li></ul> |
|---|

#### 2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

対象事業計画地内に進出する事業所に対する公共交通機関の利用等による車両台数の抑制の協力の要請、対象事業計画地内の利用者に対する駐車時におけるアイドリングや急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の協力の要請、歩行者専用道路の整備等、振動の抑制が図られていることから、施設関連車両の走行に伴う振動への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

本事業の施設関連車両の走行に伴う振動レベルは、「振動規制法」(昭和51年6月10日法律第64号)に基づく道路交通振動に係る要請限度値を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

## 10.4 水質（水の濁り）

### 10.4.1 工事による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、盛土・掘削等による水質への影響を可能な限り低減するため、表10.4-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.4-1 盛土・掘削等に対する環境の保全及び創造のための措置

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 工事中の濁水対策として、仮設沈砂池を設置し、濁水流出の防止を図る。</li><li>・ 仮設沈砂池に堆積した土砂は、3ヶ月に1回排砂する。</li><li>・ 長期間の裸地となることで土砂の流出の可能性が生じる箇所は、必要に応じてシート等で覆い濁水発生の抑制に努める。</li><li>・ 建設資材は、コンクリート二次製品の使用に努め、水質汚染の防止を図る。</li></ul> |
|---|

#### (2) 評価

##### ア. 回避・低減に係る評価

予測結果を踏まえ、本事業では、環境保全措置として、仮設沈砂池の整備及び堆積土砂の除去、土砂流出抑制対策の実施により濁水発生の抑制が図られていることから、盛土・掘削等に伴い発生する濁水による放流先への水質への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### イ. 基準や目標との整合性に係る評価

盛土・掘削等による水質への影響を予測した結果、対象事業計画地からの浮遊物質（SS）濃度は、仙台市公害防止条例の排水基準を下回ることから、基準と整合が図られているものと評価する。

## 10.5 水象（河川流）

### 10.5.1 存在による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、盛土・掘削等による地形の改変、工作物の出現による水象(河川流)への影響を可能な限り低減するため、表10.5-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.5-1 改変後の地形・工作物等の出現に対する環境の保全及び創造のための措置

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・事業予定区域内の水田が持つ保水機能を代替するため、当該区域内に2ヶ所（国道48号の北側、南側に1ヶ所ずつ）の調整池を整備する。</li><li>・雨水排水については、下流排水路の流下能力を踏まえて調整池から排出する水量の調整を行う。</li><li>・大規模な駐車場設置が想定されることから、駐車場の計画高を周辺より低くすることによる一時的な貯留構造や浸透舗装の採用を促す。</li><li>・集中豪雨時による浸水時やため池が決壊した場合の対応として、計画地内に出店する施設の2階や屋上に避難場を確保し、ハザードマップや避難誘導の情報の掲示、防災用のスピーカーの設置等を出店条件（公募要件）とし、実現化を図るものとする。</li><li>・公園は雨水の地下浸透が図られるよう、事業主となる市公園課と協議を行う。</li></ul> |
|--|

#### (2) 評価

##### 1). 回避・低減に係る評価

予測結果を踏まえ、本事業では、環境保全措置として、調整池の整備、雨水浸透施設の設置の検討により、雨水流出量及び地下浸透量の低減が図られていることから、地形の改変、工作物等の出現による水象(河川流)への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

## 10.6 地形・地質（現況地形）

### 10.6.1 存在による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

変更後の地形への影響を可能な限り低減するため、表10.6-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.6-1 変更後の地形に対する環境の保全及び創造のための措置

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・調整池の建設に伴う掘削土は、対象事業計画地内における盛土材として利用する。</li><li>・造成工事時に発生する水田表層部の軟弱な粘性土は、土質改良し道路路盤材や公園の盛土材として利用することを検討する。</li><li>・事業実施前後で水準測量を実施し地盤沈下による影響を確認する。</li></ul> |
|--|

#### (2) 評価

##### 1) 回避・低減に係る評価

予測結果を踏まえ、本事業では、環境保全措置として、調整池の建設に伴う掘削土は、対象事業計画地内における盛土材として利用すること、水準測量を実施し地盤沈下による影響を確認することから、変更後の地形に伴う地形・地質への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

## 10.7 植物

### 10.7.1 存在による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、改変後の地形及び工作物等の出現に伴う植物への影響を可能な限り低減するため、表10.7-1に示す措置を講ずることとする。

表10.7-1 改変後の地形及び工作物等の出現に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- ・事業予定区域周辺の水生植物・動物の生育・生息に配慮して、仮設沈砂池を早期に整備して、周辺排水路への濁水の流出防止を図る。
- ・対象事業計画地内で確認された注目すべき植物種であるエノキについては、在来種として植栽する種とすることを検討する。
- ・建築物や既存雨水排水路の周囲にできる限り緑化が図られるよう、地区計画を検討する。
- ・植物や動物の生育・生息環境が図れるよう、公園の植栽樹種を検討する。
- ・植栽に関しては、できる限り地域に由来する在来種を選定する計画とし、緑のネットワーク形成を検討する。
- ・建築物の周囲にできる限りの緑化が図られるよう、壁面後退等によるオープンスペースの確保や緑化部分の適切な配置について、地区計画等の検討を行う。
- ・周辺環境に対して電波障害、日照障害、風害等が生じないように、建築物の高さ制限を設けた地区計画を検討する。

#### (2) 評価

##### 1) 回避・低減に係る評価

予測の結果、改変後の地形及び工作物等の出現による植物相及び注目すべき種、植生及び注目すべき群落への影響は小さいと予測した。

また、環境保全措置として、仮設沈砂池の整備、在来種による植栽等の緑化計画により、植物への影響の低減が図られていることから、改変後の地形及び工作物等の出現による植物相及び注目すべき種、植生及び注目すべき群落への影響は、実行可能な範囲内で回避・低減が図られていると評価する。

##### 2) 基準や目標との整合性に係る評価

改変後の地形及び工作物等の出現による植物への影響は、文献に掲載される保全上重要な植物種の生育環境が保全されることから、影響は小さいと予測され、基準と整合が図られていると評価する。



## 10.8 動物

### 10.8.1 工事による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等に伴う動物への影響を可能な限り低減するため、表10.8-1に示す措置を講ずることとする。

表10.8-1 資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- ・事業予定区域周辺の水生植物・動物の生育・生息に配慮して、仮設沈砂池を早期に整備して、周辺排水路への濁水の流出防止を図る。
- ・動物への影響を低減させるため、工事の段階的な施工に努めるよう、工事工程を検討する。
- ・ロードキルを防止するため、動物注意の警告標識及び侵入防止柵等を工事区域に設置する。
- ・工事用車両及び重機等の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底し、大気汚染物質、騒音・振動による発生を抑制することにより動物の生息環境への影響の低減を図る。

#### (2) 評価

##### 1) 回避・低減に係る評価

予測の結果、資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等による動物相及び注目すべき種ならびに注目すべき種の生息環境への影響は小さいと予測した。

また、環境保全措置として、濁水対策、工事工程の検討、ロードキル防止対策により、動物への影響の低減が図られていることから、資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等による動物相及び注目すべき種ならびに注目すべき種の生息環境への影響は、実行可能な範囲内で回避・低減が図られていると評価する。

##### 2) 基準や目標との整合性に係る評価

資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等による動物相及び注目すべき種ならびに注目すべき種の生息環境への影響は、文献に掲載される保全上重要な動物種の生息環境が保全されることから、影響は小さいと予測され、基準と整合が図られていると評価する。

## 10.8.2 供用による影響

### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、改変後の地形及び工作物等の出現に伴う動物への影響を可能な限り低減するため、表10.8-2に示す措置を講ずることとする。

表10.8-2 改変後の地形、工作物等の出現に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- ・周辺との緑のネットワークの形成が図られるよう、可能な限り一体的な土地利用を図る。
- ・建築物や既存雨水排水路の周囲にできる限り緑化が図られるよう、地区計画を検討する。
- ・植物や動物の生育・生息環境が図れるよう、公園の植栽樹種を検討する。
- ・植栽に関しては、できる限り地域に由来する在来種を選定する計画とし、緑のネットワーク形成を検討する。
- ・建築物の周囲にできる限りの緑化が図られるよう、壁面後退等によるオープンスペースの確保や緑化部分の適切な配置について、地区計画等の検討を行う。
- ・対象事業計画地により、国道48号南側の水田が東西に分断されることから、斉勝川に沿って整備される河川管理用地の緑化や、付け替える農業用排水路を利用して東西をつなぐ緑地帯を形成する。
- ・調整池に接して整備する市道等の側溝には蓋を設置し、カエルの水路への落下を防止する。また、雨水排水路と接する公園の縁部を積極的に緑化することを検討する。

### (2) 評価

#### 1) 回避・低減に係る評価

予測の結果、改変後の地形及び工作物等の出現による動物相及び注目すべき種ならびに注目すべき種の生息環境への影響は小さいと予測した。

また、環境保全措置として、東西をつなぐ緑地帯の形成、在来種による植栽樹種並びに緑のネットワーク形成の検討により、動物への影響の低減が図られていることから、改変後の地形及び工作物等の出現による動物相及び注目すべき種ならびに注目すべき種の生息環境への影響は、実行可能な範囲内で回避・低減が図られていると評価する。

#### 2) 基準や目標との整合性に係る評価

改変後の地形及び工作物等の出現による動物への影響は、文献に掲載される保全上重要な動物種の生息環境が保全されることから、影響は小さいと予測され、基準と整合が図られていると評価する。

## 10.9 生態系

### 10.9.1 工事による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等に伴う生態系への影響を可能な限り低減するため、表10.9-1に示す措置を講ずることとする。

表 10.9-1 資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- ・事業予定区域周辺の水生植物・動物の生育・生息に配慮して、仮設沈砂池を早期に整備して、周辺排水路への濁水の流出防止を図る。
- ・動物への影響を低減させるため、工事の段階的な施工に努めるよう、工事工程を検討する。
- ・ロードキルを防止するため、動物注意の警告標識及び侵入防止柵等を工事区域に設置する。
- ・対象事業計画地内で確認された注目すべき植物種であるエノキについては、在来種として植栽する種とすることを検討する。
- ・工事用車両及び重機等の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底し、大気汚染物質、騒音・振動による発生を抑制することにより動物の生息環境への影響の低減を図る。

#### (2) 評価

##### 1) 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、濁水発生の抑制、工事工程の検討、ロードキル防止対策等により生態系への影響の抑制が図られていることから、資材等の運搬、重機の稼働、盛土・掘削等による地域を特徴づける生態系への影響は実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

## 10.9.2 供用による影響

### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、改変後の地形、工作物等の出現に伴う生態系への影響を可能な限り低減するため、表10.9-2に示す措置を講ずることとする。

表 10.9-2 改変後の地形、工作物等の出現に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- ・周辺との緑のネットワークの形成が図られるよう、可能な限り一体的な土地利用を図る。
- ・建築物や既存雨水排水路の周囲にできる限り緑化が図られるよう、地区計画を検討する。
- ・植物や動物の生育・生息環境が図れるよう、公園の植栽樹種を検討する。
- ・植栽に関しては、できる限り地域に由来する在来種を選定する計画とし、緑のネットワーク形成を検討する。
- ・建築物の周囲にできる限りの緑化が図られるよう、壁面後退等によるオープンスペースの確保や緑化部分の適切な配置について、地区計画等の検討を行う。
- ・周辺環境に対して電波障害、日照障害、風害等が生じないよう、建築物の高さ制限を設けた地区計画を検討する。

### (2) 評価

#### 1) 回避・低減に係る評価

環境保全措置として、在来種による植栽植樹並びに緑のネットワーク形成の検討、在来種の採用、建物計画への配慮等により生態系への影響の抑制が図られていることから、改変後の地形、工作物等の出現による地域を特徴づける生態系への影響は実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

## 10.10 景観

### 10.10.1 存在による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、景観への影響を可能な限り低減するため、表10.10-1に示す措置を講ずることとする。

表 10.10-1 改変後の地形、工作物等の出現に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- ・景観に配慮した統一感のある施設計画や、周辺との緑のネットワークの形成が図られるよう、可能な限り一体的な土地利用を図る。
- ・周辺環境に対して電波障害、日照障害、風害等が生じないように、建築物の高さ制限を設けた地区計画を検討する。
- ・調整池の配慮として、適度な緑地による目隠し修景等について検討するとともに、周囲の環境と調和する色・デザインの防護柵の採用を図る。
- ・対象事業計画地は、仙台市「杜の都景観計画」において、自然景観ゾーン（山並み緑地ゾーン）に大別されており、建物の色彩は、派手な色彩を避け、周辺の緑の環境に調和する色となっており、マンセル色相 5R～5Y の場合は彩度 4 以下、その他の場合は彩度 2 以下となっている。本事業に関連して策定する景観ガイドラインや地区計画は、上記の景観計画を踏まえた建物の色彩計画とする。

#### (2) 評価

##### 1) 回避・低減に係る評価

予測の結果、改変後の地形及び工作物等の出現に伴い、一部の主要な眺望地点で田園景観から人工的な景観へと変化すると予測した。また、周辺道路からの景観は、田園景観から人工的な景観へと変化すると予測した。

本事業では、環境保全措置として、色彩への配慮、建物高さへの配慮、緑化による目隠し修景等を実施することとしており、景観への影響が低減されていることから、眺望景観及び田園景観、自然的景観資源への影響は、実行可能な範囲内で最大限の回避・低減が図られているものと評価する。

##### 2) 基準や目標との整合性に係る評価

対象事業計画地は、「仙台市「杜の都」景観計画」に示される山並み緑地ゾーンに位置しており、景観形成の方針として、遠景を望む眺望ポイントとしての景観形成を図ること等が定められている。また、建築物等に対しては、緑や樹林帯との調和に配慮する工作物の形態・意匠、色彩、高さ等とすること等を方針としている。

本事業では、環境保全措置として、色彩への配慮や盛土及び建物高さへの配慮等を実施することにより、山並み緑地ゾーンに定められている景観形成の方針及び建築物等に対する方針を満足すると考えられることから、目標との整合が図られていると評価する。

## 10.11 廃棄物等（廃棄物・残土）

### 10.11.1 工事による影響

#### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、盛土・掘削等に伴う廃棄物及び残土の発生量を可能な限り低減するため、表10.11-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表10.11-1 盛土・掘削等に対する環境の保全及び創造のための措置

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・調整池の掘削土は地区内の盛土材として利用するなど、残土を発生させない。</li><li>・建設資材は、コンクリート二次製品の使用に努め、水質汚染の防止を図る。</li><li>・建設廃棄物の減量化に努め適正に処理を行う。</li><li>・工事現場で発生した一般廃棄物についても、分別収集し、リサイクル等再資源化に努める。</li></ul> |
|--|

#### (2) 評価

##### 1) 回避・低減に係る評価

本事業では、環境保全措置として、一般廃棄物の分別収集によるリサイクル等再資源化、使用する部材等の一部加工品により、廃棄物の抑制が図られていること、また、事業によって発生した切土は場内の盛土として利用することから、盛土・掘削等に伴う廃棄物及び残土の影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

##### 2) 基準や目標との整合性に係る評価

産業廃棄物の再資源率は99.4%であり、「建設リサイクル推進計画2014」における再資源化率の目標値を上回っていることから、盛土・掘削等に伴う廃棄物の発生について、基準や目標との整合が図られているものと評価する。

## 10.12 温室効果ガス等

### 10.12.1 工事による影響

#### (1) 資材等の運搬

##### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、工事用車両の走行に伴う温室効果ガスの影響を可能な限り低減するため、表10.12-1に示す環境保全措置を講ずることとする。

表 10.12-1 資材等の運搬に対する環境の保全及び創造のための措置

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・工事用車両は低排出ガス認定自動車の採用に努め、温室効果ガス排出の低減を図る。</li><li>・工事用車両の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。</li><li>・工事用車両の点検・整備を十分に行う。</li><li>・工事の段階的な施工に努め、工事用車両が集中しないように配慮する。</li></ul> |
|--|

##### 2) 評価

###### ア. 回避・低減に係る評価

工事の実施にあたっては、工事用車両の点検・整備、低排出ガス認定自動車の採用、アイドリングストップ等の指導・教育、工事用車両が集中しないように工事工程への配慮を実施することにより、温室効果ガスの排出量抑制が図られていることから、工事用車両の走行に伴う温室効果ガスの影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

## (2) 重機の稼働

### 1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施にあたっては、重機の稼働に伴う温室効果ガスの影響を可能な限り低減するため、表10.12-2に示す環境保全措置を講ずることとする。

表 10.12-2 重機の稼働に対する環境の保全及び創造のための措置

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 排出ガス対策型の建設機械の採用に努め、温室効果ガス排出の低減を図る。</li><li>・ 重機の運転者へは、不要なアイドリングや空ぶかし、過積載や急加速等の高負荷運転をしないよう、指導・教育を徹底する。</li><li>・ 重機の点検・整備を十分に行う。</li><li>・ 工事の段階的な施工に努め、重機が集中しないように配慮する。</li></ul> |
|---|

### 2) 評価

#### ア. 回避・低減に係る評価

工事の実施にあたっては、重機の点検・整備、低排出ガス対策型建設機械の採用、アイドリングストップ等の指導・教育、重機が集中しないように工事工程への配慮を実施することにより、温室効果ガスの排出量抑制が図られていることから、重機の稼働に伴う温室効果ガスの影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。



## 10.12.2 供用による影響

### (1) 環境の保全及び創造のための措置

本事業の実施に当たっては、施設関連車両の走行に伴う温室効果ガスの影響を可能な限り低減するため、表10.12-3に示す環境保全措置を講ずることとする。

表 10.12-3 資材・製品・人等の運搬・輸送に対する

#### 環境の保全及び創造のための措置

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・対象事業計画地内に進出する事業所に対して、公共交通機関の利用等により、車両台数の抑制を図るよう要請する。</li><li>・対象事業計画地内に進出する事業所に対して、駐車時におけるアイドリングや、急発進・急加速・空ぶかしをしない、エコドライブへの取組み等の排出ガス低減への協力を要請する。</li></ul> |
|---|

### (2) 評価

#### 1) 回避・低減に係る評価

本事業の実施にあたっては、駐車時におけるアイドリングストップ、エコドライブへの取組み、公共交通の利用等の排出ガス低減への協力を促すことなどにより、温室効果ガスの排出量抑制が図られていることから、施設関連車両の走行に伴う温室効果ガスの影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。



## **11 事後調査計画**



## 11 事後調査計画

### 11.1 事後調査の内容

本事業の実施に伴う環境影響は、事業計画に取り込んだ環境配慮とそれに加えて実施する実行可能な環境保全措置により回避又は低減できると評価されたが、予測には不確実性が伴うこと、また、環境保全措置の効果を確認する必要があることなどから、予測評価を行った項目はすべて事後調査を行う。

事後調査の内容は「環境影響評価項目の環境の状況」及び「事業の実施状況及び対象事業の負荷の状況」とし、各項目の調査内容は、表11.1-1～12に示すとおりである。

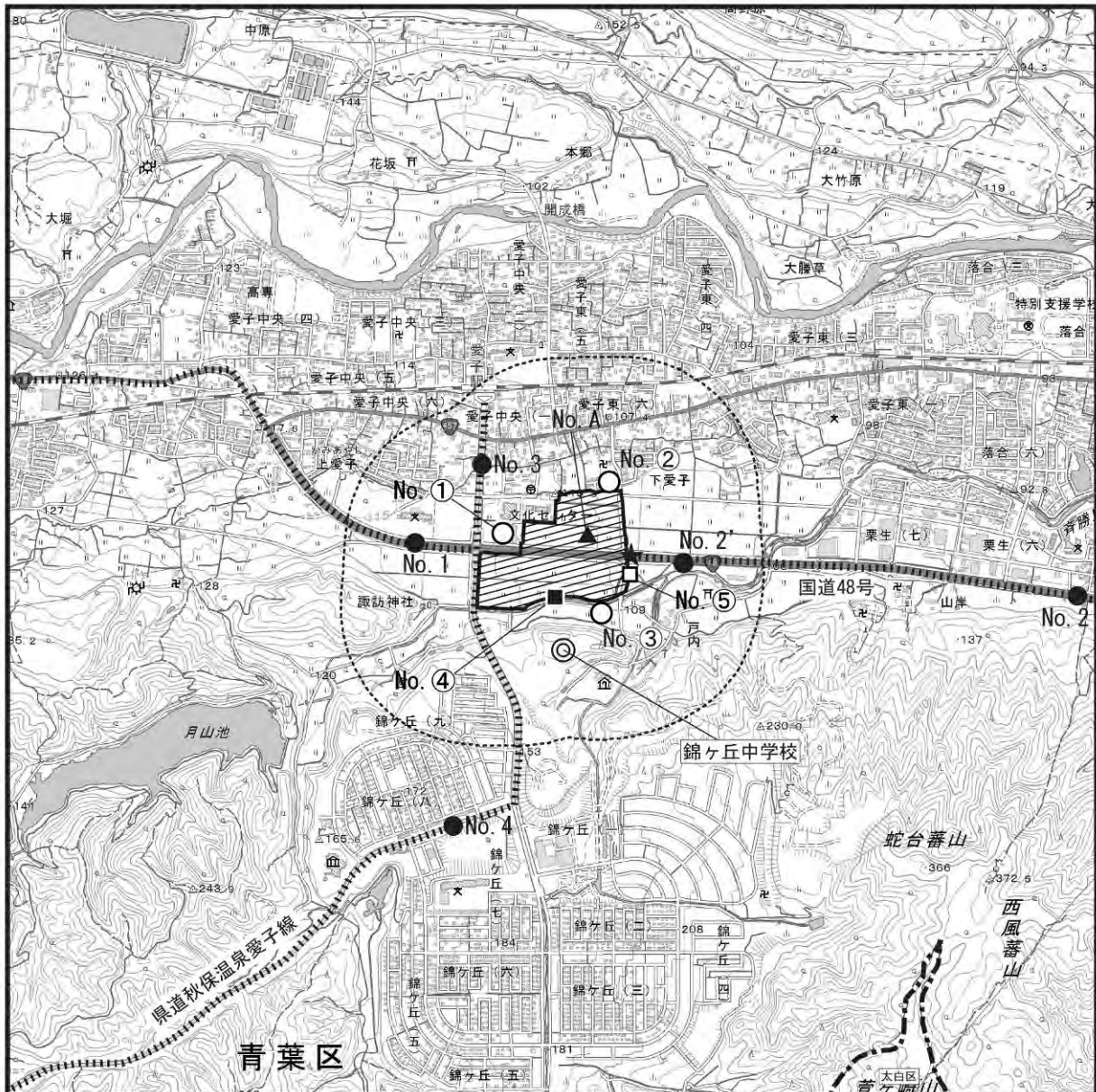
なお、調査期間については、現段階における想定時期であり、事業の進捗によって前後する可能性がある。

表11.1-1(1) 事後調査の内容（大気質）





区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	工事車両の走行	・二酸化窒素	現地調査の方法に準拠する。 (公定法及び簡易法) ・測定高さ 1.5m	対象事業計画地 1 地点及び工事用車両の走行ルート沿道 3 地点とする(図 11.1-1 参照)。 No. A: 公定法、簡易法 No. 2～No. 4: 簡易法	工事用車両の走行台数が最大となる工事着事後 3 ヶ月目(令和 4 年 6 月)とする。 ・1 回×7 日間連続
		・浮遊粒子状物質	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 3.0m	対象事業計画地 1 地点とする(図 11.1-1 参照)。 No. A: 公定法	
		・風向・風速	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 10m		
		・交通量	現地調査の方法に準拠する。	工事用車両の走行ルート沿道 3 地点とする(図 11.1-1 参照)。 No. 2～No. 4	工事用車両の走行台数が最大となる工事着事後 3 ヶ月目(令和 4 年 6 月)の平日 1 回(24 時間)とする。
		・工事車両台数 ・工事車両の走行経路	現地調査及び工事記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	工事車両出入口 1 地点とする(図 11.1-1 参照)。	
重機の稼働	重機の稼働	・二酸化窒素	現地調査の方法に準拠する。 (公定法及び簡易法) ・測定高さ 1.5m	対象事業計画地 1 地点、保全対象 3 地点及び最大着地濃度出現地点付近 1 地点とする(図 11.1-1 参照)。 No. A: 公定法、簡易法 No. ①～④: 簡易法	重機の稼働台数が最大となる時期とする。 No. A、No. ③及び No. ④は工事着事後 3 ヶ月目(令和 4 年 6 月)とする。No. ①～②は工事着事後 15 ヶ月目(令和 5 年 6 月)とする。 ・1 回×7 日間連続
		・浮遊粒子状物質	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 3.0m	対象事業計画地 1 地点とする(図 11.1-1 参照)。 No. A: 公定法	
		・風向・風速	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 10m		
		・重機の稼働台数	工事記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	

表11.1-1(2) 事後調査の内容（大気質）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	複合的な影響 工事による	・二酸化窒素 ・浮遊粒子状物質	現地調査の方法に準拠する。	保全対象 3 地点とする（図 11.1-1 参照）。 No. ①～③：簡易法	予測結果において重機の負荷が大きいことから、重機の稼働台数が最大となる No. ③が工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）、No. ①～②が工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。 ・1 回×7 日間連続
	盛土・掘削等	・粉じん	現地調査の方法に準拠する。	保全対象 3 地点及び最大着地濃度出現地点付近 1 地点とする（図 11.1-1 参照）。	重機の稼働台数が最大となる時期とする。 No. ③及び No. ⑤は工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）とする。No. ①～②は工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。 ・1 回×1 ヶ月間
		・風向・風速	広瀬測定局の風向・風速結果を整理する。		
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	予測結果において重機の負荷が大きいことから、重機の稼働台数が最大となる工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）及び工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。
供用による影響	施設関連車両の走行	・二酸化窒素	現地調査の方法に準拠する。 （公定法及び簡易法） ・測定高さ 1.5m	対象事業計画地 1 地点及び施設関連車両の走行ルート沿道 5 地点とする（図 11.1-1 参照）。 No. A：公定法 No. 1～No. 4, No. 2'：簡易法	想定される施設の事業活動が通常の稼働状態となる時期（組合解散前）の令和 7 年 5 月とする。 ・1 回×7 日間連続
		・浮遊粒子状物質	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 3.0m	対象事業計画地 1 地点とする （図 11.1-1 参照）。 No. A：公定法	
		・風向・風速	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 10m		
		・交通量	現地調査の方法に準拠する。	施設関連車両の走行ルート沿道 5 地点とする（図 11.1-1 参照）。 No. 1～No. 4, No. 2'	
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	想定される施設の事業活動が通常の稼働状態となる時期（組合解散前）の令和 7 年 5 月の 1 回とする。



凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 区界
-  : 事後調査地域（対象事業計画地境界から500mの範囲）
-  : 想定される主要な走行ルート

▲	—	No.A	対象事業計画地内
●	道路沿道	No.1	国道48号
		No.2	国道48号
		No.3	県道秋保温泉愛子線
		No.4	県道秋保温泉愛子線
		No.2'	国道48号
○	保全対象	No.①	宮城県社会福祉センター
		No.②	ハートピアエスト
		No.③	近傍民家
■	NO <sub>2</sub> ,SPM	No.④	最大着地濃度出現地点付近
□	粉じん	No.⑤	最大着地濃度出現地点付近
★	—	—	工事用車両出入口

注) 図中の番号は表11.1-1に対応する。

図11.1-1 事後調査地点の位置（大気質）



S=1:25,000

0 250 500 1000m

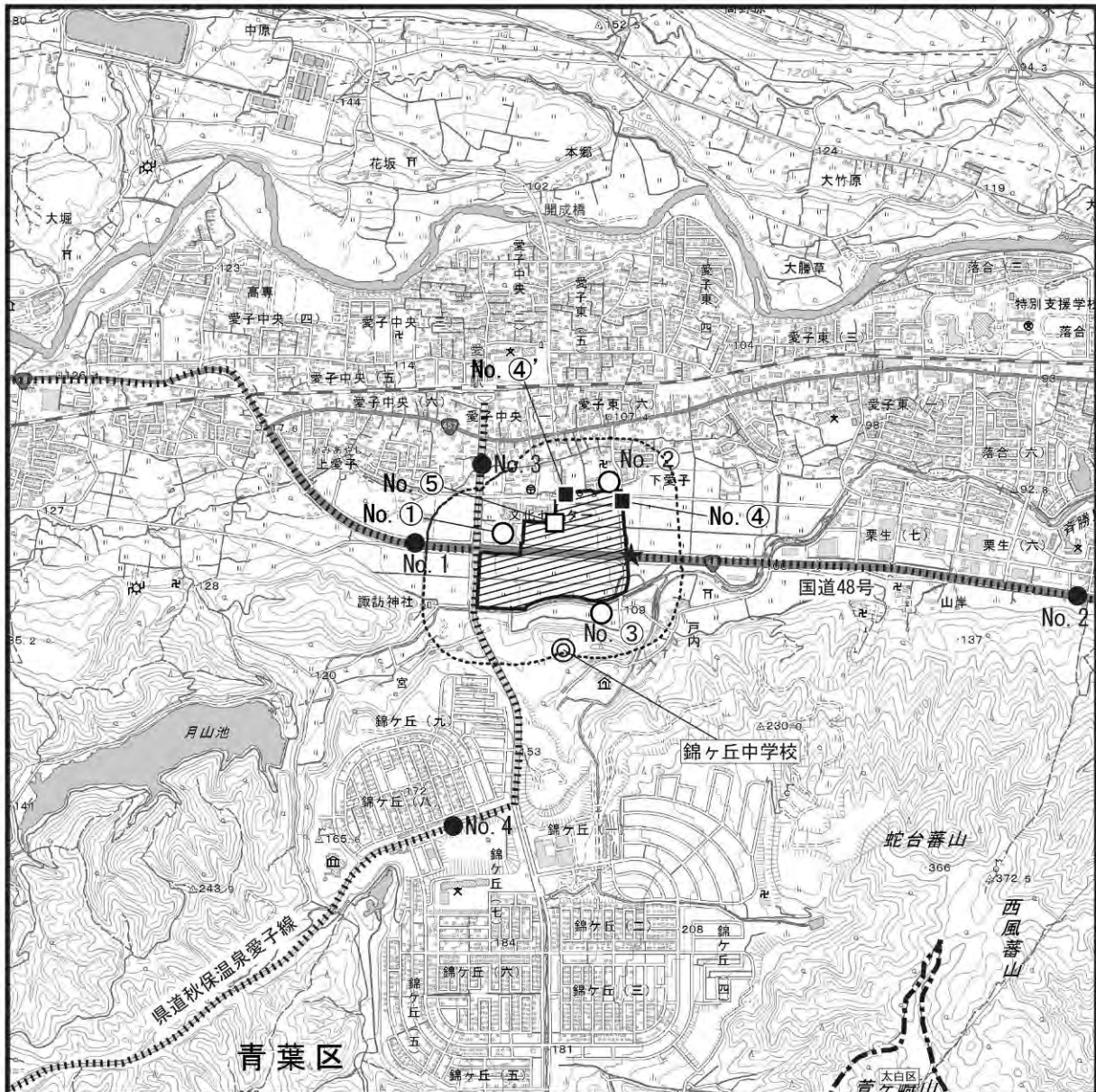
表11.1-2 事後調査の内容（騒音）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	工事車両の走行	・騒音レベル	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 1.2m	工事用車両の走行ルート沿道 3 地点とする（図 11.1-2 参照）。 No. 2～No. 4	工事用車両の走行台数が最大となる工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）とする。 ・平日 1 回（7 時～18 時）
		・交通量	現地調査の方法に準拠する。		
		・工事車両台数 ・工事車両の走行経路	現地調査及び工事記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	工事車両出入口 1 地点とする（図 11.1-2 参照）。	工事用車両の走行台数が最大となる工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）の 1 回とする。
	重機の稼働	・騒音レベル	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 1.2m No. ①～④ ・測定高さ 4.2m No. ④'	保全対象 3 地点及び最大騒音レベル出現地点付近 2 地点とする（図 11.1-2 参照）。 No. ①～④, ④'	重機の稼働台数が最大となる時期とする。 No. ③は工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）とする。No. ①～②及び No. ④, ④' は工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。 ・平日 1 回（7 時～18 時）
		・重機の稼働台数	工事記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	重機の稼働台数が最大となる工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）及び工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。
	複合的な影響	・騒音レベル	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 1.2m	保全対象 3 地点とする（図 11.1-2 参照）。 No. ①～③	予測結果において重機の負荷が大きいことから、重機の稼働台数が最大となる No. ③が工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）、No. ①～②が工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。 ・平日 1 回（7 時～18 時）
環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	予測結果において重機の負荷が大きいことから、重機の稼働台数が最大となる工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）及び工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。	
環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	予測結果において重機の負荷が大きいことから、重機の稼働台数が最大となる工事着手後 3 ヶ月目（令和 4 年 6 月）及び工事着手後 15 ヶ月目（令和 5 年 6 月）とする。	
供用による影響	施設関連車両の走行	・騒音レベル	現地調査の方法に準拠する。 ・測定高さ 1.2m	施設関連車両の走行ルート沿道 4 地点とする（図 11.1-2 参照）。 No. 1～No. 4 No. ①, ③	想定される施設の事業活動が定常の稼働状態となる時期（組合解散前）の令和 7 年 5 月とする。 ・休日 1 回（24 時間）
		・交通量	現地調査の方法に準拠する。		
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	想定される施設の事業活動が定常の稼働状態となる時期（組合解散前）の令和 7 年 5 月の 1 回とする。







表11.1-3 事後調査の内容（振動）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	工事車両の走行	・振動レベル	現地調査の方法に準拠する。	工事車両の走行ルート沿道3地点とする(図11.1-2参照)。No.2～No.4	工事車両の走行台数が最大となる工事着手後3ヶ月目(令和4年6月)とする。 ・平日1回(7時～18時)
		・交通量	現地調査の方法に準拠する。		
		・工事車両台数 ・工事車両の走行経路	現地調査及び工事記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	工事車両出入口1地点とする(図11.1-2参照)。	工事車両の走行台数が最大となる工事着手後3ヶ月目(令和4年6月)の1回とする。
	重機の稼働	・振動レベル	現地調査の方法に準拠する。	保全対象3地点及び最大振動レベル出現地点付近1地点とする(図11.1-2参照)。No.①～③,⑤	重機の稼働台数が最大となる時期とする。 No.③は工事着手後3ヶ月目(令和4年6月)とする。No.①～②, No.⑤は工事着手後15ヶ月目(令和5年6月)とする。 ・平日1回(7時～18時)
		・重機の稼働台数	工事記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	重機の稼働台数が最大となる工事着手後3ヶ月目(令和4年6月)及び工事着手後15ヶ月目(令和5年6月)とする。
	複合的な影響	・振動レベル	現地調査の方法に準拠する。	保全対象3地点とする(図11.1-2参照)。No.①～③	予測結果において重機の負荷が大きいため、重機の稼働台数が最大となるNo.③が工事着手後3ヶ月目(令和4年6月)、No.①～②が工事着手後15ヶ月目(令和5年6月)とする。 ・平日1回(7時～18時)
環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	予測結果において重機の負荷が大きいため、重機の稼働台数が最大となる工事着手後3ヶ月目(令和4年6月)及び工事着手後15ヶ月目(令和5年6月)とする。	
供用による影響	施設関連車両の走行	・振動レベル	現地調査の方法に準拠する。	施設関連車両の走行ルート沿道4地点とする(図11.1-2参照)。No.1～No.4	想定される施設の事業活動が定常の稼働状態となる時期(組合解散前)の令和7年5月とする。 ・休日1回(24時間)
		・交通量	現地調査の方法に準拠する。	No.①,③	
	環境保全措置の実施状況	現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	想定される施設の事業活動が定常の稼働状態となる時期(組合解散前)の令和7年5月の1回とする。	



凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 区界
-  : 事後調査地域 (対象事業計画地境界から200mの範囲)
-  : 想定される主要な走行ルート

●	道路沿道	No.1	国道48号
		No.2	国道48号
		No.3	県道秋保温泉愛子線
		No.4	県道秋保温泉愛子線
○	保全対象	No.①	宮城県社会福祉センター
		No.②	ハートピアエスト
		No.③	近傍民家
■	—	No.④	最大騒音レベル出現地点付近 (測定高さ1.2m)
		No.④'	最大騒音レベル出現地点付近 (測定高さ4.2m)
□	—	No.⑤	最大振動レベル出現地点付近
★	—	—	工事用車両出入口

注) 図中の番号は表11.1-2に対応する。

図11.1-2 事後調査地点の位置  
(騒音、振動)



S=1:25,000

0 250 500 1000m

表11.1-4 事後調査の内容（水質）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	盛土・掘削等	・水の濁り (浮遊物質質量(SS))	現地調査の方法に準拠する。	仮設沈砂池から排水が流入する既設の水路 2 地点とする(図 11.1-3 参照)。 No. 3: 齊勝川 No. 4: 上愛子第 1 号雨水幹線	造成面積が最大となると想定される時期とし、No. 3(齊勝川)が工事着手後 3 ヶ月目(令和 4 年 6 月)、No. 4(上愛子第 1 号雨水幹線)が工事着手後 15 ヶ月目(令和 5 年 6 月)とする ・晴天時 1 回 ・降雨時 1 回
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地内とする。	造成面積が最大となると想定される時期とし、No. 3(齊勝川)が工事着手後 3 ヶ月目(令和 4 年 6 月)、No. 4(上愛子第 1 号雨水幹線)が工事着手後 15 ヶ月目(令和 5 年 6 月)とする

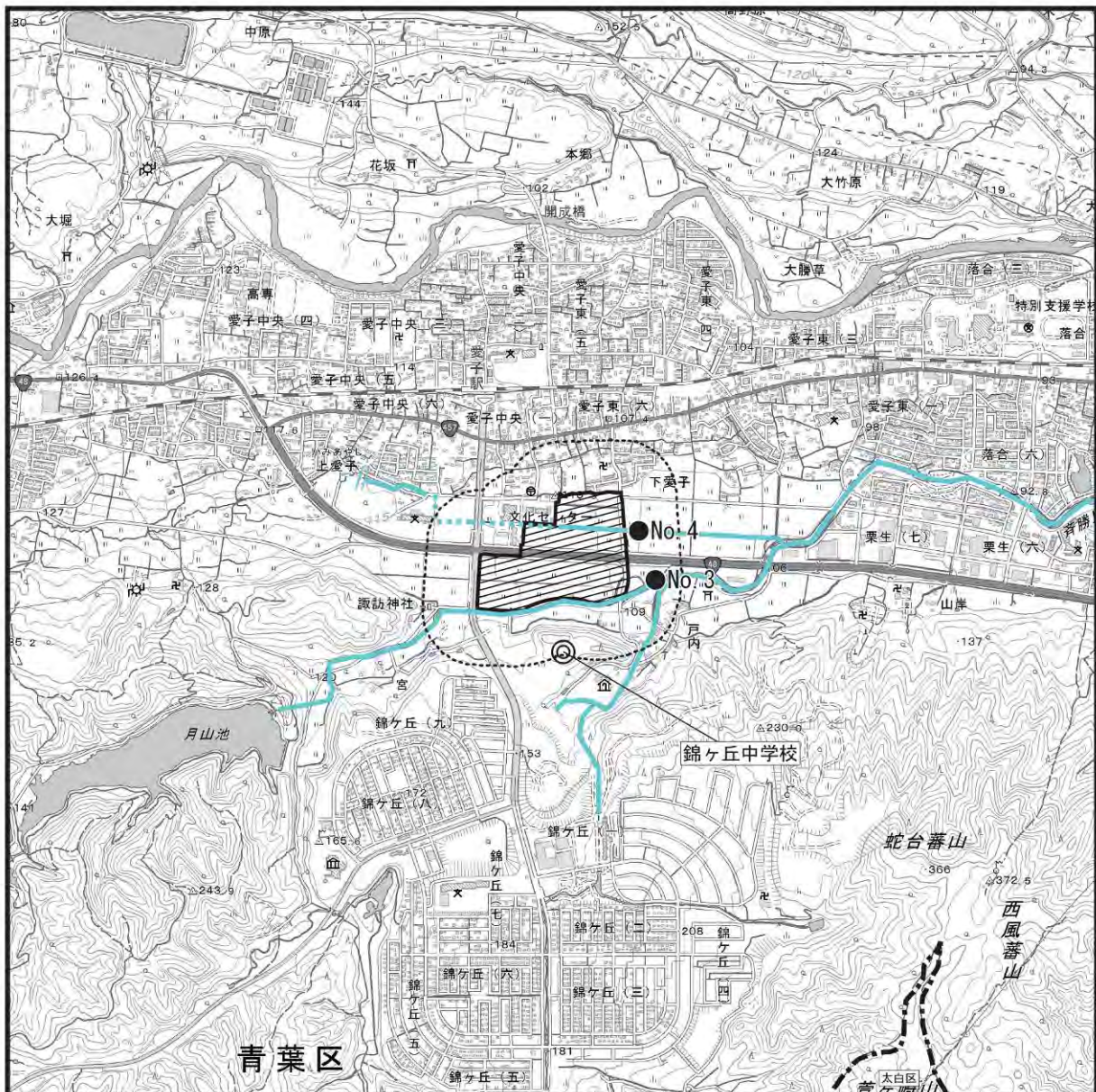
表11.1-5 事後調査の内容（水象）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
存在による影響	変更後の地形及び 工作物等の出現	・雨水流出量 ・地下浸透量	設計図書等により土地利用別面積から平均流出係数を求める。	対象事業計画地内とする。	想定される施設の事業活動が定常の稼働状態となる時期(組合解散前)の令和 7 年 5 月とする。
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。		






表11.1-6 事後調査の内容（地形・地質）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
存在による影響	変更後の地形	・地盤沈下	水準測量及び設計図書等を整理する。	対象事業計画地を囲むように隣接する擁壁などの構造物を対象とする。	工事開始前の令和 4 年 3 月及び工事完了後の令和 6 年 5 月とする。
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録の確認等を行う。		





凡例

-  : 対象事業計画地
-  : 区界
-  : 調査地域 (対象事業計画地境界から200mの範囲)
-  : 調査地点
-  : 河川・水路

注) 図中の番号は表11.1-3に対応する。

図11.1-3 事後調査地点の位置 (水質)



S=1:25,000

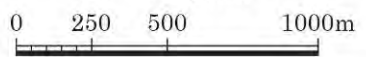


表11.1-7 事後調査の内容（植物）

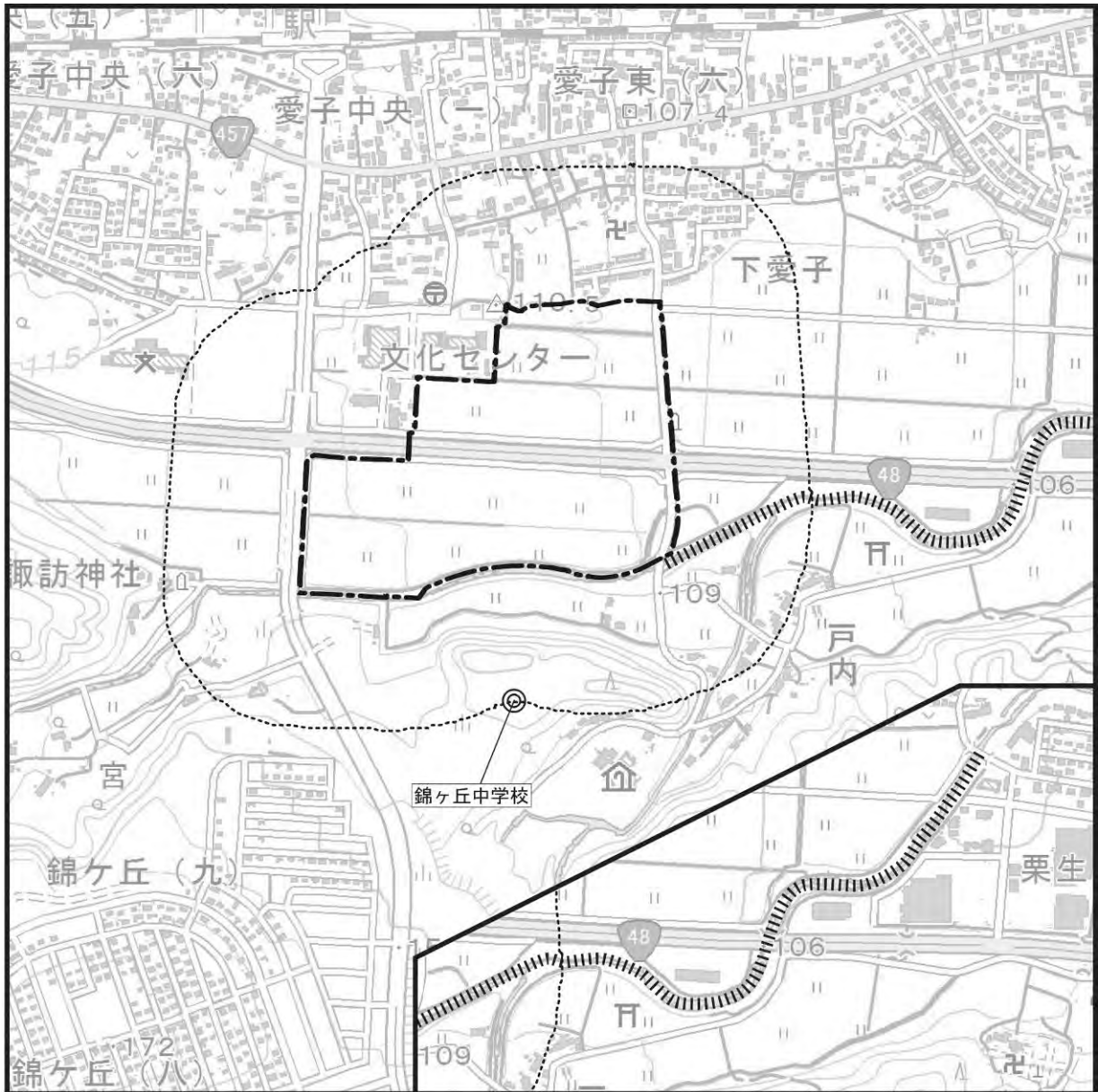
区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
存在による影響	改変後の地形及び工 作物等の出現	・植物相及び注目 すべき種	現地調査の方法に準拠 する。	対象事業計画地及び周辺200m、 斉勝川下流とする（図 11.1-4 参照）。	工事完了後（組合解散前） の4季（早春季、春季、夏 季、秋季）とする。
		・植生及び注目す べき群落			工事完了後（組合解散前） の夏季とする。
	環境保全措置の実施状況		現地調査及び実施記録 の確認等を行う。	対象事業計画地とする。	工事完了後（組合解散前） とする。

表11.1-8 事後調査の内容（動物）




区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	資材等の運搬、重機 稼働及び盛土・掘削等	・動物相及び注目 すべき種並びに 注目すべき生息 地	現地調査の方法に準拠 する。	対象事業計画地及び周辺200m、 斉勝川下流とする（図 11.1-4 参照）。	重機の稼働が多く、盛土 造成中である工事着手後 11ヶ月～22ヶ月目（令和 4年2月～令和5年1月） の4季（春季、夏季、秋季、 冬季）とする。
	環境保全措置の実施状況				現地調査及び実施記録 の確認等を行う。
存在による影響	改変後の地形及び 作物等の出現	・動物相及び注目 すべき種並びに 注目すべき生息 地	現地調査の方法に準拠 する。	対象事業計画地及び周辺200m、 斉勝川下流とする（図 11.1-4 参照）。	工事完了後（組合解散前） の4季（春季、夏季、秋季、 冬季）とする。
	環境保全措置の実施状況				

表11.1-9 事後調査の内容（生態系）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等	
工事による影響	資材等の運搬、重機の稼働及び盛土・掘削等	・地域を特徴づける生態系	現地調査の方法に準拠する。	対象事業計画地及び周辺200m、斉勝川下流とする（図 11.1-4 参照）。	重機の稼働が多く、盛土造成中である工事着手後11ヶ月～22ヶ月目（令和4年2月～令和5年1月）の4季（春季、夏季、秋季、冬季）とする。
	環境保全措置の実施状況	現地調査及び実施記録の確認等を行う。	対象事業計画地とする。	工事期間全体（令和4年4月～令和6年4月）とする。	
存在による影響	改変後の地形及び工作物等の出現	・地域を特徴づける生態系	現地調査の方法に準拠する。	対象事業計画地及び周辺200m、斉勝川下流とする（図 11.1-4 参照）。	工事完了後（組合解散前）の4季（春季、夏季、秋季、冬季）とする。
	環境保全措置の実施状況	現地調査及び実施記録の確認等を行う。	対象事業計画地とする。	工事完了後（組合解散前）とする。	



凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 調査地域 (対象事業計画地境界から200mの範囲)
-  : 齊勝川流域下流調査範囲

注) 図中の番号は表11.1-4に対応する。

図11.1-4 事後調査地域の位置  
(植物、動物、生態系)



S=1:10,000

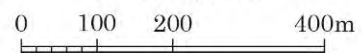


表11.1-10 事後調査の内容（景観）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等
存在による影響	変更後の地形及び 工作物等の出現	・主要な眺望景観 現地調査の方法に準拠する。	予測地点と同一の7地点とする(図11.1-5参照)。 No.1~7	工事完了後(組合解散前)の落葉期及び展葉期とする。 ・落葉期： 令和6年12月 ・展葉期： 令和7年8月
	環境保全措置の実施状況	現地調査及び実施記録の確認等を行う。	対象事業計画地とする。	

表11.1-11 事後調査の内容（廃棄物等）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等
工事による影響	盛土・掘削等	・廃棄物の発生量 ・残土の発生量 ・廃棄物削減状況 工事記録の確認を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地とする。	工事期間全体(令和4年4月~令和6年4月)のとする。
	環境保全措置の実施状況	工事記録の確認を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。		






表11.1-12 事後調査の内容（温室効果ガス等）

区分	調査項目	調査方法	調査地域等	調査期間・頻度等
工事による影響	重機等の稼働、 資材等の運搬、	・二酸化炭素 ・メタン ・一酸化二窒素 工事記録により、軽油・ガソリン等の液体燃料使用量を確認し、二酸化炭素、メタン及び一酸化二窒素の排出量を推定する。	対象事業計画地から資材等の搬入出場所まで及び対象事業計画地とする。	工事期間全体(令和4年4月~令和6年4月)のとする。
	環境保全措置の実施状況	現地調査及び実施記録の確認等を行う。		
存在による影響	品・施設の稼働、 人等の運搬・資材・輸送 製の	・二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素(施設等の立地状況) 商業施設及び業務施設の立地状況について現地調査を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。	対象事業計画地とする。	想定される施設の事業活動が定常稼働状態となる時期(組合解散前)の令和7年5月とする。
	環境保全措置の実施状況	現地調査及び実施記録の確認等を行う。また、必要に応じてヒアリング調査を行う。		





凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区界
-  : 調査・予測地点
-  : 対象事業計画地境界から500mの範囲
-  : 対象事業計画地境界から1,500mの範囲

注) 図中の番号は表11.1-10に対応する。

図11.1-5 事後調査地点の位置 (景観)



S=1:25,000

0 250 500 1000m

## 11.2 事後調査のスケジュール

事後調査のスケジュールは、表11.2-1に示すとおり、事業工程及び工事工程から計画した。事後調査の実施にあたっては、工事及び存在・供用により生じる環境への影響を早期の段階から可能な限り回避又は低減するため、事後調査を最大限活用するものとし、事業着手後に必要に応じて事後調査計画を見直すこととする。



### 11.3 事後調査報告書の提出時期

事後調査報告書の提出時期は、表11.3-1に示すとおり、工事中2回、工事完了後1回とする。

なお、事後調査により環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合には、関係機関と連携を図り、必要な措置を講ずるものとする。

表11.3-1 事後調査報告書の提出時期

回数	提出時期	調査項目	報告対象となる調査時期・期間
第1回 (工事中)	令和5年5月頃	大気質 騒音 振動 水質	工事着手後3ヶ月目(令和4年6月※) ※1工区(南工区)ピーク時
		地形・地質	工事開始前(令和4年3月)
		廃棄物等 温室効果ガス	工事期間全体のうち、 令和4年4月～令和4年11月
第2回 (工事中)	令和6年10月頃	大気質 騒音 振動 水質	工事着手後15ヶ月目(令和5年6月※) ※2工区(北工区)ピーク時
		動物 生態系	工事着手後11ヶ月～22ヶ月目 (令和5年2月～令和6年1月)
		廃棄物等 温室効果ガス	工事期間全体のうち、 令和4年12月～令和6年4月
第3回 (工事完了後)	令和8年3月頃	大気質 騒音 振動 水象 温室効果ガス	想定される施設の事業活動が定常の稼働 状態となる時期(組合解散前)の令和7年5 月
		地形・地質	工事完了後(令和6年5月)
		植物 動物 生態系	工事完了後(組合解散前) (令和6年8月～令和7年5月)
		景観	工事完了後の令和6年12月及び令和7年8 月

### 11.4 苦情等への対応方針

本事業に係る苦情等は下記の連絡先で受け付け、できる限り早期の対応を行う。苦情の内容によっては関係機関の助言を仰ぎ対応する。

(連絡先)

仙台市愛子土地区画整理組合設立準備委員会



**12 環境影響評価の委託を受けた者の  
名称、代表者の氏名及び  
主たる事務所の所在地**



12 環境影響評価の委託を受けた者の名称、

代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

受託者の名称：昭和株式会社 東日本事業部 東北支社

代表者の氏名：支社長 岩間 正昭

主たる事務所の所在地：宮城県仙台市宮城野区榴岡4丁目6番1号





# 資 料 編



1. 測定項目ごとの調査結果

1.1 大気質

(1) 窒素酸化物（一酸化窒素、二酸化窒素、窒素酸化物）（公定法）

表1.1-1(1) 一酸化窒素の測定結果（公定法）【詳細】（夏季）

測定期間：夏季 令和元年8月29日（木）～9月4日（水）

調査地点：No. A

単位：ppm

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000	0.000
3	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
4	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000	0.000
5	0.000	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.002	0.000	0.000	0.002
6	0.002	0.004	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.004	0.000	0.001	0.008
7	0.002	0.003	0.002	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.000	0.001	0.010
8	0.002	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	7	0.002	0.000	0.001	0.006
9	0.001	0.002	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	7	0.002	0.000	0.001	0.005
10	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.005
11	0.001	0.002	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001	0.006
12	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	7	0.001	0.000	0.000	0.003
13	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.000	0.003
14	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.000	0.003
15	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.000	0.003
16	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.002	0.000	0.001	0.005
17	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001	0.004
18	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.004
19	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
20	0.002	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001	0.005
21	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.004
22	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
23	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.004
24	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.002	0.004	0.002	0.000	0.001	0.001	0.001		0.004			
最低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000		
平均	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001		0.001	0.000	0.001	
合計	0.019	0.027	0.004	0.000	0.007	0.015	0.013					0.085
	*	*				*	*					

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未満は、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-1(2) 一酸化窒素の測定結果（公定法）【詳細】（冬季）

測定期間：冬季 令和2年2月2日（日）～2月8日（土）

調査地点：No. A

単位：ppm

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000	0.000
2	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
3	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
4	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.000	0.003
5	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.003	0.001	7	0.003	0.000	0.001	0.005
6	0.000	0.002	0.001	0.002	0.000	0.003	0.001	7	0.003	0.000	0.001	0.009
7	0.000	0.003	0.000	0.004	0.000	0.007	0.003	7	0.007	0.000	0.002	0.017
8	0.003	0.002	0.000	0.011	0.000	0.013	0.003	7	0.013	0.000	0.005	0.032
9	0.004	0.003	0.001	0.004	0.001	0.007	0.001	7	0.007	0.001	0.003	0.021
10	0.000	0.002	0.001	0.001	0.001	0.005	0.000	7	0.005	0.000	0.001	0.010
11	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001	0.005
12	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.006
13	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.005
14	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.001	0.005
15	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001	0.004
16	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.000	0.000	0.003
17	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001	0.004
18	0.000	0.000	0.002	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.000	0.003
19	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.002
20	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.001	0.004
21	0.001	0.000	0.002	0.000	0.000	0.001	0.000	7	0.002	0.000	0.001	0.004
22	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
23	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.003
24	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	7	0.001	0.000	0.000	0.001
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.004	0.003	0.002	0.011	0.001	0.013	0.003		0.013			
最低	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000		
平均	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.002	0.001		0.002	0.000	0.001	
合計	0.010	0.020	0.017	0.030	0.007	0.051	0.014					0.149
						*						

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未満は、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-2(1) 二酸化窒素の測定結果（公定法）【詳細】（夏季）

測定期間：夏季 令和元年8月29日（木）～9月4日（水）  
 調査地点：No. A

単位：ppm

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.001	0.001	0.010
2	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001	0.010
3	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001	0.009
4	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.001	0.001	0.008
5	0.003	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	7	0.003	0.001	0.002	0.014
6	0.005	0.002	0.002	0.001	0.003	0.005	0.002	7	0.005	0.001	0.003	0.020
7	0.004	0.003	0.003	0.001	0.005	0.004	0.006	7	0.006	0.001	0.004	0.026
8	0.003	0.003	0.002	0.002	0.005	0.004	0.005	7	0.005	0.002	0.003	0.024
9	0.002	0.004	0.002	0.002	0.005	0.003	0.003	7	0.005	0.002	0.003	0.021
10	0.003	0.003	0.002	0.001	0.004	0.004	0.004	7	0.004	0.001	0.003	0.021
11	0.003	0.004	0.002	0.001	0.005	0.004	0.004	7	0.005	0.001	0.003	0.023
12	0.002	0.003	0.003	0.001	0.003	0.003	0.004	7	0.004	0.001	0.003	0.019
13	0.002	0.003	0.002	0.001	0.002	0.004	0.004	7	0.004	0.001	0.003	0.018
14	0.003	0.004	0.002	0.001	0.002	0.004	0.004	7	0.004	0.001	0.003	0.020
15	0.004	0.003	0.001	0.001	0.001	0.003	0.004	7	0.004	0.001	0.002	0.017
16	0.008	0.006	0.002	0.002	0.003	0.003	0.005	7	0.008	0.002	0.004	0.029
17	0.007	0.008	0.002	0.002	0.005	0.004	0.004	7	0.008	0.002	0.005	0.032
18	0.006	0.007	0.004	0.003	0.003	0.004	0.004	7	0.007	0.003	0.004	0.031
19	0.006	0.006	0.006	0.002	0.005	0.005	0.004	7	0.006	0.002	0.005	0.034
20	0.007	0.006	0.004	0.002	0.004	0.002	0.004	7	0.007	0.002	0.004	0.029
21	0.004	0.005	0.003	0.002	0.003	0.003	0.004	7	0.005	0.002	0.003	0.024
22	0.003	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002	0.003	7	0.004	0.002	0.003	0.019
23	0.002	0.003	0.001	0.001	0.002	0.001	0.005	7	0.005	0.001	0.002	0.015
24	0.002	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	7	0.003	0.001	0.002	0.012
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.008	0.008	0.006	0.003	0.005	0.005	0.006		0.008			
最低	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			0.001		
平均	0.004	0.004	0.002	0.001	0.003	0.003	0.003		0.004	0.001	0.003	
合計	0.085	0.088	0.056	0.034	0.069	0.071	0.082					0.485
	*	*										

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未满是、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-2(2) 二酸化窒素の測定結果（公定法）【詳細】（冬季）

測定期間：冬季 令和2年2月2日（日）～2月8日（土）  
 調査地点：No. A

単位：ppm

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.002	0.001	0.001	0.006	0.001	0.005	0.002	7	0.006	0.001	0.003	0.018
2	0.003	0.002	0.001	0.006	0.001	0.004	0.002	7	0.006	0.001	0.003	0.019
3	0.002	0.003	0.001	0.005	0.001	0.006	0.004	7	0.006	0.001	0.003	0.022
4	0.002	0.001	0.001	0.008	0.001	0.008	0.005	7	0.008	0.001	0.004	0.026
5	0.006	0.003	0.002	0.007	0.001	0.012	0.008	7	0.012	0.001	0.006	0.039
6	0.005	0.005	0.003	0.011	0.001	0.015	0.006	7	0.015	0.001	0.007	0.046
7	0.007	0.007	0.004	0.009	0.003	0.016	0.012	7	0.016	0.003	0.008	0.058
8	0.012	0.006	0.003	0.025	0.003	0.017	0.007	7	0.025	0.003	0.010	0.073
9	0.010	0.008	0.003	0.012	0.003	0.011	0.005	7	0.012	0.003	0.007	0.052
10	0.002	0.005	0.003	0.007	0.003	0.008	0.003	7	0.008	0.002	0.004	0.031
11	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.002	0.003	7	0.003	0.002	0.002	0.017
12	0.001	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	7	0.003	0.001	0.002	0.016
13	0.002	0.004	0.001	0.003	0.002	0.002	0.002	7	0.004	0.001	0.002	0.016
14	0.001	0.004	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	7	0.004	0.001	0.002	0.016
15	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	7	0.003	0.002	0.002	0.016
16	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.004	7	0.004	0.002	0.003	0.019
17	0.006	0.005	0.004	0.002	0.002	0.005	0.003	7	0.006	0.002	0.004	0.027
18	0.007	0.005	0.009	0.002	0.003	0.008	0.005	7	0.009	0.002	0.006	0.039
19	0.006	0.008	0.008	0.003	0.002	0.009	0.003	7	0.009	0.002	0.006	0.039
20	0.009	0.006	0.011	0.005	0.005	0.010	0.003	7	0.011	0.003	0.007	0.049
21	0.009	0.005	0.010	0.003	0.008	0.008	0.003	7	0.010	0.003	0.007	0.046
22	0.008	0.002	0.007	0.001	0.005	0.005	0.002	7	0.008	0.001	0.004	0.030
23	0.003	0.002	0.008	0.001	0.004	0.007	0.001	7	0.008	0.001	0.004	0.026
24	0.002	0.002	0.005	0.001	0.005	0.005	0.001	7	0.005	0.001	0.003	0.021
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.012	0.008	0.011	0.025	0.008	0.017	0.012		0.025			
最低	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001			0.001		
平均	0.005	0.004	0.004	0.006	0.003	0.007	0.004		0.007	0.003	0.005	
合計	0.111	0.096	0.095	0.132	0.064	0.173	0.090					0.761
						*						

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未满是、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-3(1) 窒素酸化物の測定結果（公定法）【詳細】（夏季）

測定期間：夏季 令和元年8月29日（木）～9月4日（水）

調査地点：No. A

単位：ppm

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.003	0.001	7	0.003	0.001	0.002	0.011
2	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.001	0.001	0.010
3	0.001	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.003	0.001	0.001	0.010
4	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	7	0.002	0.001	0.001	0.008
5	0.003	0.004	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	7	0.004	0.001	0.002	0.016
6	0.007	0.006	0.003	0.001	0.003	0.006	0.002	7	0.007	0.001	0.004	0.028
7	0.006	0.006	0.005	0.001	0.006	0.005	0.007	7	0.007	0.001	0.005	0.036
8	0.005	0.004	0.003	0.002	0.006	0.004	0.006	7	0.006	0.002	0.004	0.030
9	0.003	0.006	0.002	0.002	0.006	0.003	0.004	7	0.006	0.002	0.004	0.026
10	0.004	0.004	0.002	0.001	0.005	0.005	0.005	7	0.005	0.001	0.004	0.026
11	0.004	0.006	0.002	0.001	0.006	0.005	0.005	7	0.006	0.001	0.004	0.029
12	0.003	0.004	0.003	0.001	0.003	0.003	0.005	7	0.005	0.001	0.003	0.022
13	0.002	0.004	0.002	0.001	0.002	0.005	0.005	7	0.005	0.001	0.003	0.021
14	0.003	0.005	0.002	0.001	0.002	0.005	0.005	7	0.005	0.001	0.003	0.023
15	0.004	0.004	0.001	0.001	0.001	0.004	0.005	7	0.005	0.001	0.003	0.020
16	0.010	0.007	0.002	0.002	0.003	0.004	0.006	7	0.010	0.002	0.005	0.034
17	0.009	0.009	0.002	0.002	0.005	0.005	0.004	7	0.009	0.002	0.005	0.036
18	0.007	0.008	0.004	0.003	0.003	0.005	0.005	7	0.008	0.003	0.005	0.035
19	0.007	0.006	0.006	0.002	0.005	0.005	0.004	7	0.007	0.002	0.005	0.035
20	0.009	0.007	0.004	0.002	0.005	0.003	0.004	7	0.009	0.002	0.005	0.034
21	0.005	0.006	0.003	0.002	0.003	0.004	0.005	7	0.006	0.002	0.004	0.028
22	0.003	0.004	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	7	0.004	0.002	0.003	0.020
23	0.002	0.004	0.001	0.001	0.003	0.002	0.006	7	0.006	0.001	0.003	0.019
24	0.002	0.004	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	7	0.004	0.001	0.002	0.013
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.010	0.009	0.006	0.003	0.006	0.006	0.007		0.010			
最低	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			0.001		
平均	0.004	0.005	0.003	0.001	0.003	0.004	0.004		0.005	0.001	0.003	
合計	0.104	0.115	0.060	0.034	0.076	0.086	0.095					0.570
		*										

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未满是、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-3(2) 窒素酸化物の測定結果（公定法）【詳細】（冬季）

測定期間：冬季 令和2年2月2日（日）～2月8日（土）

調査地点：No. A

単位：ppm

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.002	0.001	0.001	0.006	0.001	0.005	0.002	7	0.006	0.001	0.003	0.018
2	0.003	0.002	0.001	0.007	0.001	0.004	0.002	7	0.007	0.001	0.003	0.020
3	0.002	0.004	0.001	0.005	0.001	0.006	0.004	7	0.006	0.001	0.003	0.023
4	0.002	0.001	0.001	0.009	0.001	0.009	0.006	7	0.009	0.001	0.004	0.029
5	0.006	0.004	0.002	0.007	0.001	0.015	0.009	7	0.015	0.001	0.006	0.044
6	0.005	0.007	0.004	0.013	0.001	0.018	0.007	7	0.018	0.001	0.008	0.055
7	0.007	0.010	0.004	0.013	0.003	0.023	0.015	7	0.023	0.003	0.011	0.075
8	0.015	0.008	0.003	0.036	0.003	0.030	0.010	7	0.036	0.003	0.015	0.105
9	0.014	0.011	0.004	0.016	0.004	0.018	0.006	7	0.018	0.004	0.010	0.073
10	0.002	0.007	0.004	0.008	0.004	0.013	0.003	7	0.013	0.002	0.006	0.041
11	0.002	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	7	0.004	0.002	0.003	0.022
12	0.001	0.004	0.003	0.004	0.003	0.004	0.003	7	0.004	0.001	0.003	0.022
13	0.002	0.005	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	7	0.005	0.002	0.003	0.021
14	0.001	0.005	0.003	0.004	0.002	0.003	0.003	7	0.005	0.001	0.003	0.021
15	0.002	0.004	0.003	0.004	0.002	0.003	0.002	7	0.004	0.002	0.003	0.020
16	0.002	0.003	0.002	0.004	0.002	0.004	0.005	7	0.005	0.002	0.003	0.022
17	0.007	0.006	0.005	0.002	0.002	0.006	0.003	7	0.007	0.002	0.004	0.031
18	0.007	0.005	0.011	0.002	0.003	0.009	0.005	7	0.011	0.002	0.006	0.042
19	0.006	0.008	0.009	0.003	0.002	0.010	0.003	7	0.010	0.002	0.006	0.041
20	0.010	0.006	0.012	0.006	0.005	0.011	0.003	7	0.012	0.003	0.008	0.053
21	0.010	0.005	0.012	0.003	0.008	0.009	0.003	7	0.012	0.003	0.007	0.050
22	0.008	0.002	0.008	0.001	0.005	0.005	0.002	7	0.008	0.001	0.004	0.031
23	0.003	0.002	0.009	0.001	0.005	0.008	0.001	7	0.009	0.001	0.004	0.029
24	0.002	0.002	0.005	0.001	0.006	0.005	0.001	7	0.006	0.001	0.003	0.022
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.015	0.011	0.012	0.036	0.008	0.030	0.015		0.036			
最低	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.001			0.001		
平均	0.005	0.005	0.005	0.007	0.003	0.009	0.004		0.009	0.003	0.005	
合計	0.121	0.116	0.112	0.162	0.071	0.224	0.104					0.910
						*						

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未满是、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-4(1) 窒素酸化物の風向別平均濃度（夏季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (ppm)		
			一酸化窒素	二酸化窒素	窒素酸化物
N	1	0.6	0.000	0.002	0.002
NNE	1	0.6	0.000	0.002	0.002
NE	3	1.8	0.000	0.003	0.003
ENE	5	3.0	0.000	0.003	0.003
E	4	2.4	0.001	0.003	0.004
ESE	8	4.8	0.001	0.004	0.005
SE	5	3.0	0.001	0.005	0.006
SSE	4	2.4	0.001	0.006	0.006
S	4	2.4	0.001	0.004	0.004
SSW	17	10.1	0.000	0.003	0.003
SW	53	31.5	0.000	0.002	0.003
WSW	35	20.8	0.001	0.003	0.004
W	10	6.0	0.000	0.002	0.002
WNW	7	4.2	0.000	0.003	0.003
NW	4	2.4	0.000	0.002	0.002
NNW	0	0.0	0.000	0.000	0.000
Ca1m	7	4.2	0.001	0.003	0.004
合計値・平均値	168	100.0	0.001	0.003	0.003

表1.1-4(2) 窒素酸化物の風向別平均濃度（冬季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (ppm)		
			一酸化窒素	二酸化窒素	窒素酸化物
N	2	1.2	0.006	0.014	0.019
NNE	0	0.0	0.000	0.000	0.000
NE	2	1.2	0.000	0.005	0.005
ENE	2	1.2	0.003	0.006	0.008
E	4	2.4	0.002	0.008	0.009
ESE	0	0.0	0.000	0.000	0.000
SE	1	0.6	0.001	0.004	0.005
SSE	3	1.8	0.001	0.007	0.008
S	5	3.0	0.004	0.007	0.011
SSW	14	8.3	0.001	0.005	0.006
SW	31	18.5	0.001	0.005	0.006
WSW	32	19.0	0.001	0.005	0.005
W	42	25.0	0.000	0.003	0.003
WNW	14	8.3	0.000	0.003	0.003
NW	7	4.2	0.000	0.003	0.003
NNW	0	0.0	0.000	0.000	0.000
Ca1m	9	5.4	0.001	0.007	0.009
合計値・平均値	168	100.0	0.001	0.005	0.005

表1.1-5(1) 窒素酸化物の風速階級別平均濃度（夏季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (ppm)		
			一酸化窒素	二酸化窒素	窒素酸化物
0.0~0.4	7	4.2	0.001	0.003	0.004
0.5~0.9	32	19.0	0.001	0.004	0.004
1.0~1.9	90	53.6	0.001	0.003	0.003
2.0~2.9	32	19.0	0.000	0.003	0.003
3.0~3.9	6	3.6	0.000	0.002	0.002
4.0~5.9	1	0.6	0.000	0.002	0.002
6.0以上	0	0.0	0.000	0.000	0.000
合計値・平均値	168	100.0	0.001	0.003	0.003
最大値	-	-	0.001	0.004	0.004

表1.1-5(2) 窒素酸化物の風速階級別平均濃度（冬季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度(ppm)		
			一酸化窒素	二酸化窒素	窒素酸化物
0.0~0.4	9	5.4	0.001	0.007	0.009
0.5~0.9	18	10.7	0.002	0.009	0.011
1.0~1.9	42	25.0	0.001	0.006	0.007
2.0~2.9	37	22.0	0.001	0.004	0.004
3.0~3.9	34	20.2	0.001	0.003	0.003
4.0~5.9	26	15.5	0.001	0.002	0.003
6.0以上	2	1.2	0.001	0.003	0.003
合計値・平均値	168	100.0	0.001	0.005	0.005
最大値	-	-	0.002	0.009	0.011

(2) 二酸化窒素（簡易法）

表1.1-6(1) 二酸化窒素濃度の測定結果（簡易法）【詳細】（夏季）

単位：ppm

調査日		No. A	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 2'
1日目	8/28 12時~8/29 12時	0.001	0.005	0.007	0.006	0.002	0.006
2日目	8/29 12時~8/30 12時	0.004	0.004	0.007	0.005	0.002	0.004
3日目	8/30 12時~8/31 12時	0.003	0.005	0.006	0.005	0.003	0.004
4日目	8/31 12時~9/1 12時	0.002	0.003	0.004	0.004	0.002	0.002
5日目	9/1 12時~9/2 12時	0.002	0.004	0.005	0.005	0.002	0.003
6日目	9/2 12時~9/3 12時	0.003	0.006	0.008	0.006	0.003	0.005
7日目	9/3 12時~9/4 12時	0.003	0.005	0.006	0.005	0.002	0.003
8日目	9/4 12時~9/5 12時	0.004	0.005	0.005	0.005	0.002	0.003
平均値		0.003	0.005	0.006	0.005	0.002	0.004
最高値		0.004	0.006	0.008	0.006	0.003	0.006
最低値		0.001	0.003	0.004	0.004	0.002	0.002

表1.1-6(2) 二酸化窒素濃度の測定結果（簡易法）【詳細】（冬季）

単位：ppm

調査日		No. A	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 2'
1日目	2/1 12時~2/2 12時	0.008	0.006	0.009	0.009	0.006	0.006
2日目	2/2 12時~2/3 12時	0.007	0.007	0.014	0.011	0.006	0.009
3日目	2/3 12時~2/4 12時	0.004	0.006	0.008	0.007	0.004	0.005
4日目	2/4 12時~2/5 12時	0.009	0.010	0.017	0.012	0.006	0.012
5日目	2/5 12時~2/6 12時	0.004	0.004	0.007	0.006	0.004	0.009
6日目	2/6 12時~2/7 12時	0.010	0.011	0.015	0.012	0.006	0.013
7日目	2/7 12時~2/8 12時	0.007	0.009	0.016	0.010	0.006	0.010
8日目	2/8 12時~2/9 12時	0.003	0.003	0.005	0.005	0.003	0.004
平均値		0.007	0.007	0.011	0.009	0.005	0.009
最高値		0.010	0.011	0.017	0.012	0.006	0.013
最低値		0.003	0.003	0.005	0.005	0.003	0.004



(3) 浮遊粒子状物質

表1.1-7(1) 浮遊粒子状物質濃度の測定結果【詳細】(夏季)

測定期間：夏季 令和元年8月29日(木)～9月4日(水)

調査地点：No. A

単位：mg/m<sup>3</sup>

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.025	0.019	0.018	0.014	0.013	0.011	0.016	7	0.025	0.011	0.016	0.115
2	0.018	0.012	0.015	0.019	0.017	0.011	0.015	7	0.019	0.011	0.015	0.107
3	0.019	0.010	0.013	0.016	0.013	0.008	0.010	7	0.019	0.008	0.013	0.090
4	0.011	0.019	0.024	0.016	0.012	0.011	0.010	7	0.024	0.010	0.015	0.102
5	0.012	0.014	0.017	0.022	0.010	0.014	0.009	7	0.022	0.009	0.014	0.097
6	0.017	0.015	0.016	0.015	0.015	0.014	0.009	7	0.017	0.009	0.015	0.102
7	0.015	0.014	0.011	0.023	0.018	0.011	0.008	7	0.023	0.008	0.014	0.101
8	0.012	0.019	0.008	0.012	0.016	0.007	0.013	7	0.019	0.007	0.012	0.087
9	0.007	0.023	0.012	0.015	0.023	0.008	0.007	7	0.023	0.007	0.013	0.094
10	0.006	0.022	0.017	0.016	0.016	0.005	0.008	7	0.022	0.005	0.013	0.089
11	0.012	0.017	0.011	0.013	0.021	0.008	0.007	7	0.021	0.007	0.013	0.090
12	0.014	0.014	0.014	0.019	0.011	0.013	0.018	7	0.019	0.011	0.015	0.104
13	0.010	0.015	0.012	0.013	0.012	0.018	0.017	7	0.018	0.010	0.014	0.096
14	0.008	0.007	0.020	0.013	0.027	0.012	0.017	7	0.027	0.007	0.015	0.105
15	0.015	0.011	0.021	0.018	0.009	0.020	0.023	7	0.023	0.009	0.017	0.117
16	0.020	0.020	0.016	0.029	0.019	0.011	0.025	7	0.029	0.011	0.020	0.139
17	0.029	0.022	0.016	0.015	0.017	0.012	0.022	7	0.029	0.012	0.019	0.132
18	0.023	0.011	0.058	0.023	0.011	0.017	0.020	7	0.058	0.011	0.023	0.163
19	0.005	0.025	0.019	0.017	0.011	0.017	0.016	7	0.025	0.005	0.016	0.110
20	0.012	0.020	0.022	0.020	0.013	0.010	0.018	7	0.022	0.010	0.016	0.114
21	0.023	0.031	0.022	0.018	0.017	0.016	0.014	7	0.031	0.014	0.020	0.141
22	0.012	0.021	0.014	0.016	0.011	0.008	0.021	7	0.021	0.008	0.015	0.102
23	0.020	0.013	0.024	0.018	0.013	0.011	0.013	7	0.024	0.011	0.016	0.110
24	0.015	0.020	0.016	0.016	0.012	0.012	0.017	7	0.020	0.012	0.015	0.106
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.029	0.031	0.058	0.029	0.027	0.020	0.025		0.058			
最低	0.005	0.007	0.008	0.012	0.009	0.005	0.007			0.005		
平均	0.015	0.017	0.018	0.017	0.015	0.012	0.015		0.018	0.012	0.016	
合計	0.359	0.413	0.437	0.413	0.354	0.284	0.352					2.612
			*									

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未满是、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-7(2) 浮遊粒子状物質濃度の測定結果【詳細】(冬季)

測定期間：冬季 令和2年2月2日(日)～2月8日(土)

調査地点：No. A

単位：mg/m<sup>3</sup>

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.004	0.004	0.003	0.008	0.015	0.005	0.014	7	0.015	0.003	0.008	0.053
2	0.006	0.005	0.008	0.008	0.007	0.011	0.010	7	0.011	0.005	0.008	0.055
3	0.003	0.008	0.006	0.008	0.002	0.011	0.010	7	0.011	0.002	0.007	0.048
4	0.003	0.010	0.004	0.009	0.007	0.011	0.009	7	0.011	0.003	0.008	0.053
5	0.003	0.004	0.011	0.007	0.004	0.008	0.006	7	0.011	0.003	0.006	0.043
6	0.004	0.006	0.007	0.005	0.004	0.008	0.004	7	0.008	0.004	0.005	0.038
7	0.009	0.010	0.006	0.005	0.005	0.006	0.003	7	0.010	0.003	0.006	0.044
8	0.006	0.007	0.006	0.004	0.003	0.005	0.008	7	0.008	0.003	0.006	0.039
9	0.005	0.009	0.003	0.012	0.008	0.003	0.005	7	0.012	0.003	0.006	0.045
10	0.010	0.004	0.008	0.009	0.010	0.012	0.007	7	0.012	0.004	0.009	0.060
11	0.004	0.016	0.008	0.014	0.010	0.006	0.013	7	0.016	0.004	0.010	0.071
12	0.003	0.008	0.010	0.004	0.005	0.010	0.008	7	0.010	0.003	0.007	0.048
13	0.011	0.006	0.007	0.005	0.009	0.004	0.004	7	0.011	0.004	0.007	0.046
14	0.008	0.007	0.009	0.005	0.012	0.008	0.010	7	0.012	0.005	0.008	0.059
15	0.009	0.007	0.012	0.010	0.007	0.005	0.008	7	0.012	0.005	0.008	0.058
16	0.004	0.013	0.006	0.009	0.012	0.005	0.008	7	0.013	0.004	0.008	0.057
17	0.006	0.013	0.007	0.005	0.006	0.011	0.007	7	0.013	0.005	0.008	0.055
18	0.005	0.009	0.006	0.005	0.010	0.009	0.006	7	0.010	0.005	0.007	0.050
19	0.006	0.006	0.003	0.008	0.006	0.001	0.009	7	0.009	0.001	0.006	0.039
20	0.006	0.009	0.004	0.007	0.010	0.001	0.008	7	0.010	0.001	0.006	0.045
21	0.008	0.009	0.015	0.005	0.005	0.003	0.005	7	0.015	0.003	0.007	0.050
22	0.010	0.007	0.005	0.008	0.005	0.003	0.009	7	0.010	0.003	0.007	0.047
23	0.012	0.009	0.012	0.004	0.005	0.004	0.008	7	0.012	0.004	0.008	0.054
24	0.009	0.009	0.006	0.007	0.006	0.003	0.006	7	0.009	0.003	0.007	0.046
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	0.012	0.016	0.015	0.014	0.015	0.012	0.014		0.016			
最低	0.003	0.004	0.003	0.004	0.002	0.001	0.003			0.001		
平均	0.006	0.008	0.007	0.007	0.007	0.006	0.008		0.008	0.006	0.007	
合計	0.154	0.195	0.172	0.171	0.173	0.153	0.185					1.203
		*					*					

\*印：日平均値の最高値

※定量下限値未满是、「0.000」と表示し、集計値の算出においては0として計算した。

表1.1-8(1) 浮遊粒子状物質の風向別平均濃度（夏季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
N	1	0.6	0.027
NNE	1	0.6	0.012
NE	3	1.8	0.026
ENE	5	3.0	0.011
E	4	2.4	0.011
ESE	8	4.8	0.017
SE	5	3.0	0.018
SSE	4	2.4	0.015
S	4	2.4	0.013
SSW	17	10.1	0.016
SW	53	31.5	0.014
WSW	35	20.8	0.016
W	10	6.0	0.015
WNW	7	4.2	0.016
NW	4	2.4	0.021
NNW	0	0.0	0.000
Calm	7	4.2	0.018
合計値・平均値	168	100.0	0.016

表1.1-8(2) 浮遊粒子状物質の風向別平均濃度（冬季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
N	2	1.2	0.005
NNE	0	0.0	0.000
NE	2	1.2	0.006
ENE	2	1.2	0.010
E	4	2.4	0.010
ESE	0	0.0	0.000
SE	1	0.6	0.007
SSE	3	1.8	0.004
S	5	3.0	0.008
SSW	14	8.3	0.008
SW	31	18.5	0.007
WSW	32	19.0	0.007
W	42	25.0	0.007
WNW	14	8.3	0.008
NW	7	4.2	0.007
NNW	0	0.0	0.000
Calm	9	5.4	0.007
合計値・平均値	168	100.0	0.007

表1.1-9(1) 浮遊粒子状物質の風速階級別平均濃度（夏季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
0.0~0.4	7	4.2	0.018
0.5~0.9	32	19.0	0.017
1.0~1.9	90	53.6	0.015
2.0~2.9	32	19.0	0.014
3.0~3.9	6	3.6	0.017
4.0~5.9	1	0.6	0.016
6.0以上	0	0.0	0.000
合計値・平均値	168	100.0	0.016
最大値	-	-	0.018

表1.1-9(2) 浮遊粒子状物質の風速階級別平均濃度（冬季）

風向	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
0.0~0.4	9	5.4	0.007
0.5~0.9	18	10.7	0.006
1.0~1.9	42	25.0	0.007
2.0~2.9	37	22.0	0.007
3.0~3.9	34	20.2	0.007
4.0~5.9	26	15.5	0.008
6.0以上	2	1.2	0.011
合計値・平均値	168	100.0	0.007
最大値	-	-	0.011

(4) 気象

表1.1-10(1) 風向の測定結果【詳細】(夏季)

測定期間：夏季 令和元年8月29日(木)～9月4日(水)  
調査地点：No. A

時	日(曜)	29日(木)	30日(金)	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	測定数	最多風向	風向	頻度	比率(%)
1		SSW	SW	SW	SW	SSW	SW	SW	7	SW	N	1	0.6
2		SW	SW	SW	SW	SW	S	SW	7	SW	NNE	1	0.6
3		W	SW	SSW	SW	WSW	WSW	SW	7	SW	NE	3	1.8
4		Calm	SW	NW	WSW	SW	WSW	SW	7	SW	ENE	5	3.0
5		SW	SW	WSW	SW	SW	SW	SW	7	SW	E	4	2.4
6		WSW	SW	WSW	SW	W	SW	SSW	7	SW	ESE	8	4.8
7		SSW	WSW	WSW	WSW	SW	SW	SW	7	SW	SE	5	3.0
8		WSW	WSW	Calm	ENE	WSW	SW	SW	7	WSW	SSE	4	2.4
9		SE	WSW	ENE	ESE	WNW	SW	WSW	7	WSW	S	4	2.4
10		E	Calm	ENE	W	WSW	SSE	ENE	7	ENE	SSW	17	10.1
11		W	Calm	WSW	WNW	WSW	ENE	ESE	7	WSW	SW	53	31.5
12		WSW	E	WNW	WSW	NE	SW	ESE	7	WSW	WSW	35	20.8
13		SW	SW	WSW	W	NNE	SSW	SSE	7	SW	W	10	6.0
14		W	WNW	NW	WNW	N	SW	ESE	7	WNW	WNW	7	4.2
15		WSW	E	NW	WNW	NE	SSW	SE	7	NW	NW	4	2.4
16		SE	SW	W	SSW	Calm	SSW	ESE	7	SSW	NNW	0	0.0
17		WSW	SSE	SW	SSW	Calm	S	ESE	7	SW	Calm	7	4.2
18		SE	S	NE	WSW	WSW	SW	NW	7	WSW	合計	168	100.0
19		WSW	WSW	SSE	SW	SSW	SSW	WSW	7	WSW			
20		ESE	SE	WNW	SW	WSW	SW	WSW	7	WSW			
21		SSW	Calm	WSW	WSW	S	SW	SW	7	SW			
22		WSW	ESE	SSW	SW	W	SW	SW	7	SW			
23		W	E	SW	SW	SW	SW	WSW	7	SW			
24		SW	W	SW	WSW	SSW	SSW	SSW	7	SSW			
測定数		24	24	24	24	24	24	24	168				
最多風向		WSW	SW	WSW	SW	WSW	SW	SW					

注) 最多風向は、「地上気象観測指針」に準拠した。  
静穏 (Calm) : 風速0.4m/s以下

表1.1-10(2) 風向の測定結果【詳細】(冬季)

測定期間：冬季 令和2年2月2日(日)～2月8日(土)  
調査地点：No. A

時	日(曜)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	測定数	最多風向	風向	頻度	比率(%)
1		WSW	SW	W	Calm	W	SW	SW	7	SW	N	2	1.2
2		WSW	SSW	WSW	SSW	WSW	W	SW	7	WSW	NNE	0	0.0
3		SW	SW	SW	Calm	W	SW	WSW	7	SW	NE	2	1.2
4		SSW	SSW	SW	WSW	W	E	E	7	SSW	ENE	2	1.2
5		NW	SW	SW	NE	WSW	SSW	SW	7	SW	E	4	2.4
6		Calm	SW	W	SW	W	SW	Calm	7	SW	ESE	0	0.0
7		Calm	SW	W	S	WNW	WSW	SW	7	SW	SE	1	0.6
8		Calm	SSW	W	N	WNW	S	SW	7	SSW	SSE	3	1.8
9		SW	SW	W	E	W	Calm	W	7	W	S	5	3.0
10		W	SSW	WNW	SW	W	ENE	W	7	W	SSW	14	8.3
11		W	S	W	SSW	W	WNW	WNW	7	W	SW	31	18.5
12		NW	S	SW	WSW	W	W	W	7	W	WSW	32	19.0
13		W	SSE	SW	WSW	WNW	W	W	7	W	W	42	25.0
14		NW	SSW	W	WSW	WNW	WSW	WNW	7	WNW	WNW	14	8.3
15		WNW	SW	WSW	W	W	W	WSW	7	W	NW	7	4.2
16		WNW	WSW	WSW	NW	WNW	WSW	W	7	WSW	NNW	0	0.0
17		W	WSW	SE	N	W	WSW	WSW	7	WSW	Calm	9	5.4
18		WSW	WNW	WSW	NE	NW	W	WNW	7	WNW	合計	168	100.0
19		Calm	W	WSW	ENE	NW	SSE	SW	7	WSW			
20		SSW	E	WSW	WNW	SSW	W	W	7	W			
21		WSW	WSW	WSW	W	SSE	WSW	SW	7	WSW			
22		SW	W	SSW	W	SW	SW	W	7	SW			
23		SSW	W	Calm	WSW	SW	W	W	7	W			
24		SW	NW	S	WSW	SSW	WSW	WSW	7	WSW			
測定数		24	24	24	24	24	24	24	168				
最多風向		WSW	SW	WSW	WSW	W	W	W					

注) 最多風向は、「地上気象観測指針」に準拠した。  
静穏 (Calm) : 風速0.4m/s以下

表1.1-11(1) 風速の測定結果【詳細】(夏季)

測定期間：夏季 令和元年8月29日(木)～9月4日(水)  
 調査地点：No. A

単位:m/s

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	1.1	1.0	1.3	2.5	1.3	0.9	1.8	7	2.5	0.9	1.4	9.9
2	1.9	0.7	1.3	1.6	1.7	0.5	2.0	7	2.0	0.5	1.4	9.7
3	1.1	1.3	0.5	2.0	1.5	1.0	2.0	7	2.0	0.5	1.3	9.4
4	0.3	0.9	0.5	1.4	1.7	1.0	2.6	7	2.6	0.3	1.2	8.4
5	2.0	1.1	1.6	2.2	2.0	2.4	1.9	7	2.4	1.1	1.9	13.2
6	0.9	1.4	1.3	1.3	2.2	2.4	2.4	7	2.4	0.9	1.7	11.9
7	2.4	1.0	1.1	0.5	1.5	1.1	1.8	7	2.4	0.5	1.3	9.4
8	1.4	1.0	0.4	0.9	0.9	1.8	1.3	7	1.8	0.4	1.1	7.7
9	1.3	1.4	1.2	1.9	0.7	1.6	0.5	7	1.9	0.5	1.2	8.6
10	0.9	0.3	0.6	2.4	0.6	0.9	1.1	7	2.4	0.3	1.0	6.8
11	1.9	0.4	1.5	2.0	0.7	1.3	1.1	7	2.0	0.4	1.3	8.9
12	1.4	0.6	2.8	3.0	1.7	1.4	1.9	7	3.0	0.6	1.8	12.8
13	1.8	0.8	2.6	3.2	1.5	2.1	1.3	7	3.2	0.8	1.9	13.3
14	1.8	0.9	3.1	3.4	1.3	2.4	3.8	7	3.8	0.9	2.4	16.7
15	1.1	1.6	3.5	2.4	2.1	2.2	2.8	7	3.5	1.1	2.2	15.7
16	0.6	0.7	4.0	1.1	0.3	2.8	2.4	7	4.0	0.3	1.7	11.9
17	1.1	1.7	1.7	1.7	0.4	2.2	1.9	7	2.2	0.4	1.5	10.7
18	0.8	1.3	0.9	1.3	1.2	2.0	1.2	7	2.0	0.8	1.2	8.7
19	0.8	1.9	1.3	1.5	2.2	2.2	0.7	7	2.2	0.7	1.5	10.6
20	1.4	0.6	1.1	1.8	1.9	1.8	1.0	7	1.9	0.6	1.4	9.6
21	1.1	0.2	1.0	1.7	1.3	1.3	1.5	7	1.7	0.2	1.2	8.1
22	1.7	0.6	1.3	1.8	1.1	2.1	0.9	7	2.1	0.6	1.4	9.5
23	1.9	0.5	1.4	1.6	1.6	1.9	1.1	7	1.9	0.5	1.4	10.0
24	1.0	1.5	1.4	2.4	0.7	2.4	0.5	7	2.4	0.5	1.4	9.9
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	2.4	1.9	4.0	3.4	2.2	2.8	3.8		4.0			
最低	0.3	0.2	0.4	0.5	0.3	0.5	0.5			0.2		
平均	1.3	1.0	1.6	1.9	1.3	1.7	1.6		1.9	1.0	1.5	
合計	31.7	23.4	37.4	45.6	32.1	41.7	39.5					251.4

\*印:日平均値の最高値

表1.1-11(2) 風速の測定結果【詳細】(冬季)

測定期間：冬季 令和2年2月2日(日)～2月8日(土)  
 調査地点：No. A

単位:m/s

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	1.4	2.9	2.1	0.3	2.8	0.8	4.4	7	4.4	0.3	2.1	14.7
2	1.2	0.8	2.1	1.6	3.7	1.0	4.3	7	4.3	0.8	2.1	14.7
3	1.8	2.3	3.9	0.3	4.7	0.5	0.8	7	4.7	0.3	2.0	14.3
4	1.5	2.2	3.1	1.2	3.8	0.8	1.9	7	3.8	0.8	2.1	14.5
5	0.8	3.0	3.7	1.3	3.4	0.5	2.0	7	3.7	0.5	2.1	14.7
6	0.4	2.6	2.3	2.5	3.3	1.0	0.4	7	3.3	0.4	1.8	12.5
7	0.2	2.2	2.6	1.1	2.3	1.3	3.1	7	3.1	0.2	1.8	12.8
8	0.3	2.0	3.4	0.9	3.5	0.8	1.6	7	3.5	0.3	1.8	12.5
9	0.9	0.8	3.5	1.1	5.4	0.2	4.0	7	5.4	0.2	2.3	15.9
10	3.9	4.4	2.8	3.5	5.8	1.6	2.8	7	5.8	1.6	3.5	24.8
11	2.7	4.8	5.2	3.4	5.3	1.6	4.6	7	5.3	1.6	3.9	27.6
12	4.0	4.2	3.3	2.9	5.0	3.7	4.0	7	5.0	2.9	3.9	27.1
13	2.8	3.6	4.4	1.8	6.3	5.2	3.9	7	6.3	1.8	4.0	28.0
14	3.9	4.4	2.3	3.5	4.3	3.6	3.0	7	4.4	2.3	3.6	25.0
15	2.6	5.5	2.3	5.9	4.5	3.4	3.2	7	5.9	2.3	3.9	27.4
16	2.6	7.1	2.6	3.6	5.0	2.4	3.4	7	7.1	2.4	3.8	26.7
17	1.1	3.1	2.1	2.2	3.0	1.9	2.8	7	3.1	1.1	2.3	16.2
18	2.6	1.4	1.7	1.1	1.0	2.4	2.6	7	2.6	1.0	1.8	12.8
19	0.3	1.4	1.4	1.8	1.4	2.2	1.3	7	2.2	0.3	1.4	9.8
20	0.9	0.7	0.8	1.4	0.5	0.5	1.6	7	1.6	0.5	0.9	6.4
21	2.2	3.1	1.0	5.2	0.5	1.1	2.0	7	5.2	0.5	2.2	15.1
22	1.5	3.6	0.6	4.5	1.3	1.7	3.0	7	4.5	0.6	2.3	16.2
23	1.1	1.9	0.2	3.8	1.6	1.8	2.6	7	3.8	0.2	1.9	13.0
24	1.3	2.6	1.0	4.6	1.3	3.0	2.6	7	4.6	1.0	2.3	16.4
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	4.0	7.1	5.2	5.9	6.3	5.2	4.6		7.1			
最低	0.2	0.7	0.2	0.3	0.5	0.2	0.4			0.2		
平均	1.8	2.9	2.4	2.5	3.3	1.8	2.7		3.3	1.8	2.5	
合計	42.0	70.6	58.4	59.5	79.7	43.0	65.9					419.1

\*印:日平均値の最高値

表1.1-12(1) 気温の測定結果【詳細】(夏季)

測定期間：夏季 令和元年8月29日(木)～9月4日(水)  
 調査地点：No. A

単位:℃

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	22.0	22.3	22.0	19.7	21.5	20.0	19.0	7	22.3	19.0	20.9	146.5
2	21.7	21.8	21.7	19.6	20.9	20.0	18.8	7	21.8	18.8	20.6	144.5
3	21.6	21.1	21.7	18.8	20.7	19.9	18.7	7	21.7	18.7	20.4	142.5
4	22.6	21.1	21.6	18.4	20.7	19.9	18.2	7	22.6	18.2	20.4	142.5
5	21.5	20.9	21.0	18.3	19.9	19.8	18.1	7	21.5	18.1	19.9	139.5
6	21.8	22.0	21.3	18.9	20.2	19.8	18.1	7	22.0	18.1	20.3	142.1
7	22.0	23.2	22.4	21.0	20.4	20.9	18.7	7	23.2	18.7	21.2	148.6
8	23.5	23.7	24.5	24.8	20.7	21.4	20.2	7	24.8	20.2	22.7	158.8
9	25.2	23.7	27.3	26.1	21.4	22.0	21.6	7	27.3	21.4	23.9	167.3
10	26.8	24.3	28.8	27.6	22.1	23.6	23.0	7	28.8	22.1	25.2	176.2
11	29.1	24.3	29.9	28.2	22.9	23.2	24.1	7	29.9	22.9	26.0	181.7
12	29.5	24.4	30.5	27.7	22.7	23.6	25.6	7	30.5	22.7	26.3	184.0
13	28.9	24.2	30.7	29.5	23.0	23.1	26.3	7	30.7	23.0	26.5	185.7
14	28.5	24.9	28.6	30.2	21.6	23.2	26.1	7	30.2	21.6	26.2	183.1
15	27.0	24.6	29.7	29.0	20.9	23.4	25.6	7	29.7	20.9	25.7	180.2
16	25.4	25.2	28.6	27.4	20.6	23.1	24.6	7	28.6	20.6	25.0	174.9
17	25.4	24.5	27.8	26.5	20.4	23.0	23.3	7	27.8	20.4	24.4	170.9
18	24.6	24.0	23.7	24.1	20.4	22.0	22.1	7	24.6	20.4	23.0	160.9
19	23.9	23.1	22.6	23.2	20.4	21.5	21.3	7	23.9	20.4	22.3	156.0
20	23.1	23.0	22.0	22.8	20.2	20.5	21.0	7	23.1	20.2	21.8	152.6
21	22.9	22.8	21.2	22.2	20.5	20.0	20.3	7	22.9	20.0	21.4	149.9
22	22.6	22.1	20.6	21.7	20.2	19.3	20.3	7	22.6	19.3	21.0	146.8
23	22.3	21.8	20.4	21.2	20.0	19.0	19.9	7	22.3	19.0	20.7	144.6
24	22.3	21.9	20.1	21.0	20.0	19.3	19.9	7	22.3	19.3	20.6	144.5
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	29.5	25.2	30.7	30.2	23.0	23.6	26.3		30.7			
最低	21.5	20.9	20.1	18.3	19.9	19.0	18.1			18.1		
平均	24.3	23.1	24.5	23.7	20.9	21.3	21.5		24.5	20.9	22.8	
合計	584.2	554.9	588.7	567.9	502.3	511.5	514.8					3824.3

\*印:日平均値の最高値      \*\*印:日平均値の最低値

表1.1-12(2) 気温の測定結果【詳細】(冬季)

測定期間：冬季 令和2年2月2日(日)～2月8日(土)  
 調査地点：No. A

単位:℃

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	0.5	-1.7	1.4	-1.1	-2.5	-6.7	-1.2	7	1.4	-6.7	-1.6	-11.3
2	0.1	-1.9	1.0	-0.8	-2.8	-6.7	-1.7	7	1.0	-6.7	-1.8	-12.8
3	0.8	-1.7	1.0	-1.4	-2.8	-7.3	-1.7	7	1.0	-7.3	-1.9	-13.1
4	1.0	-1.7	0.6	-1.5	-3.2	-7.8	-3.1	7	1.0	-7.8	-2.2	-15.7
5	1.4	-2.3	0.4	-1.7	-4.0	-7.8	-1.6	7	1.4	-7.8	-2.2	-15.6
6	0.7	-1.9	1.0	0.4	-4.0	-7.6	-3.3	7	1.0	-7.6	-2.1	-14.7
7	1.1	-1.2	1.1	1.2	-4.5	-7.2	1.0	7	1.2	-7.2	-1.2	-8.5
8	3.2	-0.5	1.0	3.6	-4.1	-4.9	1.9	7	3.6	-4.9	0.0	0.2
9	4.7	2.7	1.8	6.0	-3.5	-0.6	3.3	7	6.0	-3.5	2.1	14.4
10	5.4	5.9	3.1	5.9	-3.5	2.2	4.9	7	5.9	-3.5	3.4	23.9
11	6.2	8.2	3.2	5.7	-2.5	3.6	3.8	7	8.2	-2.5	4.0	28.2
12	5.4	8.9	5.4	4.8	-2.9	4.4	4.7	7	8.9	-2.9	4.4	30.7
13	6.5	10.7	5.1	4.1	-1.2	4.1	3.9	7	10.7	-1.2	4.7	33.2
14	6.5	11.6	4.5	3.3	-2.2	4.3	3.2	7	11.6	-2.2	4.5	31.2
15	5.5	11.1	5.7	2.8	-1.7	4.5	1.3	7	11.1	-1.7	4.2	29.2
16	5.2	7.4	5.4	1.7	-1.1	5.0	1.5	7	7.4	-1.1	3.6	25.1
17	4.1	6.6	4.5	0.5	-2.1	2.8	0.2	7	6.6	-2.1	2.4	16.6
18	3.6	5.7	1.5	-0.6	-2.9	2.5	0.4	7	5.7	-2.9	1.5	10.2
19	1.1	5.2	-0.2	-0.9	-2.9	1.3	-0.4	7	5.2	-2.9	0.5	3.2
20	0.3	4.3	-0.5	-1.0	-3.3	-0.6	-0.9	7	4.3	-3.3	-0.2	-1.7
21	-0.4	4.6	-1.1	-1.1	-4.7	-1.5	-1.8	7	4.6	-4.7	-0.9	-6.0
22	-1.2	3.5	-1.5	-1.7	-5.2	-2.1	-1.4	7	3.5	-5.2	-1.4	-9.6
23	-1.7	2.3	-1.1	-2.0	-5.9	-2.6	-1.9	7	2.3	-5.9	-1.8	-12.9
24	-1.9	1.9	-1.4	-2.1	-6.3	-1.0	-2.0	7	1.9	-6.3	-1.8	-12.8
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	6.5	11.6	5.7	6.0	-1.1	5.0	4.9		11.6			
最低	-1.9	-2.3	-1.5	-2.1	-6.3	-7.8	-3.3			-7.8		
平均	2.4	3.7	1.7	1.0	-3.3	-1.2	0.4		3.7	-3.3	0.7	
合計	58.1	87.7	41.9	24.1	-79.8	-29.7	9.1					111.4

\*印:日平均値の最高値      \*\*印:日平均値の最低値

表1.1-13(1) 相対湿度の測定結果【詳細】(夏季)

測定期間：夏季 令和元年8月29日(木)～9月4日(水)  
 調査地点：No. A

単位：%

日(曜) 時	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	96	91	94	86	83	97	91	7	97	83	91	638
2	97	94	93	87	89	97	91	7	97	87	93	648
3	96	96	92	91	91	96	90	7	96	90	93	652
4	90	96	91	92	88	95	92	7	96	88	92	644
5	96	96	94	92	94	96	93	7	96	92	94	661
6	96	92	92	90	95	92	94	7	96	90	93	651
7	96	88	89	85	94	88	94	7	96	85	91	634
8	91	91	77	71	94	80	87	7	94	71	84	591
9	86	93	66	64	93	81	82	7	93	64	81	565
10	82	92	58	54	87	76	81	7	92	54	76	530
11	69	87	49	54	84	84	80	7	87	49	72	507
12	60	91	50	53	90	84	65	7	91	50	70	493
13	66	91	48	48	90	87	68	7	91	48	71	498
14	67	86	58	46	89	87	71	7	89	46	72	504
15	79	91	54	54	92	86	70	7	92	54	75	526
16	91	85	54	68	95	81	74	7	95	54	78	548
17	90	86	62	71	93	84	78	7	93	62	81	564
18	91	90	86	83	96	90	84	7	96	83	89	620
19	92	93	87	86	94	91	88	7	94	86	90	631
20	94	94	81	86	95	95	90	7	95	81	91	635
21	94	96	83	83	94	89	94	7	96	83	90	633
22	94	96	89	88	96	91	95	7	96	88	93	649
23	93	97	88	89	96	92	95	7	97	88	93	650
24	92	96	85	90	96	87	94	7	96	85	91	640
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	97	97	94	92	96	97	95		97			
最低	60	85	48	46	83	76	65			46		
平均	87	92	76	75	92	89	85		92	75	85	
合計	2,098	2,208	1,820	1,811	2,208	2,126	2,041					14,312

\*印：日平均値の最高値      \*\*印：日平均値の最低値

表1.1-13(2) 相対湿度の測定結果【詳細】(冬季)

測定期間：冬季 令和2年2月2日(日)～2月8日(土)  
 調査地点：No. A

単位：%

日(曜) 時	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	測定数	最高	最低	平均	合計
1	84	84	65	84	64	80	66	7	84	64	75	527
2	88	84	65	84	62	77	69	7	88	62	76	529
3	85	86	65	86	56	79	73	7	86	56	76	530
4	84	85	70	88	59	81	77	7	88	59	78	544
5	84	86	70	85	73	82	77	7	86	70	80	557
6	88	84	69	81	68	82	82	7	88	68	79	554
7	88	83	62	75	78	83	73	7	88	62	77	542
8	79	80	63	74	70	76	72	7	80	63	73	514
9	59	70	60	60	58	61	62	7	70	58	61	430
10	55	60	53	63	65	50	54	7	65	50	57	400
11	53	55	49	72	71	41	57	7	72	41	57	398
12	62	56	46	82	70	43	52	7	82	43	59	411
13	52	52	42	82	52	40	59	7	82	40	54	379
14	50	44	42	72	46	41	58	7	72	41	50	353
15	60	38	38	67	49	43	67	7	67	38	52	362
16	62	66	36	59	43	41	53	7	66	36	51	360
17	63	73	47	68	48	50	57	7	73	47	58	406
18	57	82	64	85	50	54	58	7	85	50	64	450
19	73	84	73	93	50	61	70	7	93	50	72	504
20	72	89	72	90	53	70	78	7	90	53	75	524
21	79	75	78	60	61	74	81	7	81	60	73	508
22	82	74	82	64	68	78	71	7	82	64	74	519
23	84	75	83	66	72	79	74	7	84	66	76	533
24	84	68	84	62	73	71	70	7	84	62	73	512
測定数	24	24	24	24	24	24	24	168				
最高	88	89	84	93	78	83	82		93			
最低	50	38	36	59	43	40	52			36		
平均	72	72	62	75	61	64	67		75	61	68	
合計	1,727	1,733	1,478	1,802	1,459	1,537	1,610					11,346

\*印：日平均値の最高値      \*\*印：日平均値の最低値

## 1.2 騒音

### (1) 時間別騒音測定結果

表1.2-1(1) 時間別騒音レベル (休日 : No.A)

測定日 : 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日)12時

測定場所 : No. A

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	12	53.4	57	56	52	48	46	74	55
	13	54.5	58	57	53	49	48	71	
	14	54.1	58	57	53	49	47	68	
	15	55.3	59	58	54	50	48	69	
	16	56.3	60	59	55	51	50	71	
	17	56.3	60	59	56	51	50	63	
	18	55.9	59	59	55	51	50	63	
	19	55.8	59	59	55	50	49	65	
	20	54.2	58	57	53	48	47	65	
夜間	21	53.5	57	57	52	47	45	62	45
	22	52.9	57	56	51	45	43	62	
	23	51.3	56	55	49	42	41	64	
	0	51.3	57	55	48	41	40	67	
	1	49.1	54	52	45	38	36	69	
	2	46.6	53	50	40	32	32	64	
	3	46.1	52	50	41	35	34	60	
昼間	4	48.0	53	52	43	36	34	60	55
	5	52.3	58	56	49	41	39	64	
	6	52.7	57	56	51	45	43	66	
	7	53.8	58	57	52	47	46	69	
	8	54.8	59	58	54	49	47	68	
夜間	9	55.2	59	58	54	50	49	73	55
	10	57.2	61	60	55	51	50	77	
	11	57.5	61	59	55	52	51	80	
昼間	平均	55	59	58	54	49	48	69	/
	最高	58	61	60	56	52	51	80	
	最低	53	57	56	51	45	43	62	
夜間	平均	50	55	53	46	39	37	64	
	最高	53	58	56	51	45	43	69	
	最低	46	52	50	40	32	32	60	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「騒音に係る環境基準 (B類型)」を当てはめた。

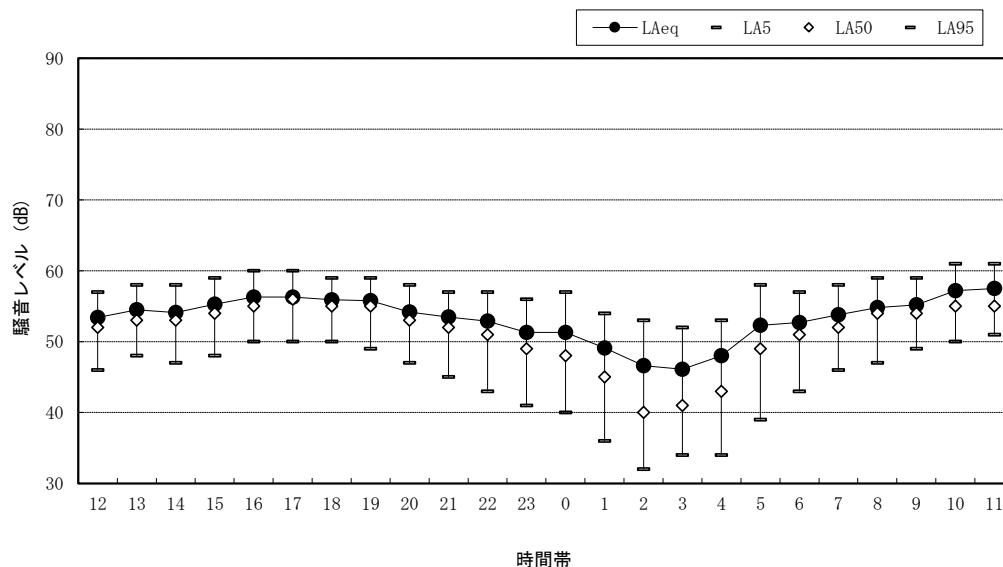


図1.2-1(1) 時間別騒音レベル (休日 : No.A)



表1.2-1(2) 時間別騒音レベル (休日: No.1)

測定日: 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日)12時

測定場所: No.1

単位: dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	12	61.8	66	65	60	55	53	78	70
	13	61.5	66	64	60	53	51	80	
	14	61.1	65	64	60	53	51	77	
	15	62.5	67	66	61	53	50	76	
	16	62.2	67	65	61	51	47	76	
	17	62.0	66	65	61	51	47	74	
	18	61.3	66	65	59	47	46	82	
	19	60.1	65	64	57	48	46	73	
夜間	20	59.1	65	63	56	45	44	74	65
	21	57.6	63	62	53	43	42	71	
	22	57.0	63	62	50	41	39	74	
	23	54.6	61	59	46	38	36	71	
	0	53.7	61	58	43	37	35	73	
	1	54.0	60	57	41	33	32	81	
	2	51.8	59	54	36	<30	<30	74	
	3	51.6	58	54	40	32	32	70	
昼間	4	52.6	60	55	39	31	30	72	70
	5	55.7	62	60	46	36	34	73	
	6	58.4	65	63	52	42	41	73	
	7	66.9	68	66	58	48	46	97	
	8	61.1	66	65	59	49	47	75	
	9	61.8	66	65	60	53	50	79	
昼間	10	62.2	66	65	61	55	53	81	70
	11	62.0	66	65	61	55	52	78	
	平均	62	66	65	59	50	48	78	
夜間	最高	67	68	66	61	55	53	97	70
	最低	58	63	62	52	42	41	71	
	平均	54	61	57	43	34	33	73	
夜間	最高	57	63	62	50	41	39	81	65
	最低	52	58	54	36	<30	<30	70	
	平均	54	61	57	43	34	33	73	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値: 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

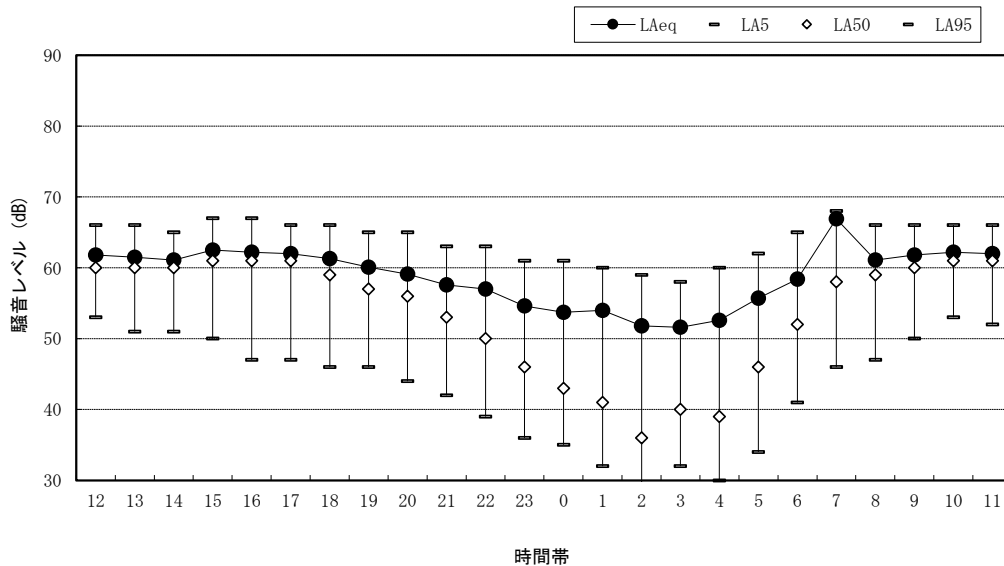


図1.2-1(2) 時間別騒音レベル (休日: No.1)

表1.2-1(3) 時間別騒音レベル (休日: No.2)

測定日: 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日)12時  
 測定場所: No. 2

単位: dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル						基準値	
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$		$L_{Amax}$
昼間	12	66.4	70	69	65	58	55	86	70
	13	66.2	70	69	65	59	57	84	
	14	64.4	68	67	63	58	56	81	
	15	65.5	70	69	64	59	57	78	
	16	63.0	67	66	61	56	55	80	
	17	65.6	69	68	65	59	56	80	
	18	65.7	70	69	65	57	54	80	
	19	64.6	69	68	63	53	51	76	
夜間	20	64.4	69	68	62	52	49	77	65
	21	62.9	68	67	60	48	46	79	
	22	62.4	68	67	58	46	44	79	
	23	60.9	67	65	55	44	42	78	
	0	60.0	66	65	53	42	40	78	
	1	58.7	66	63	50	40	38	76	
	2	60.4	66	63	47	37	35	87	
	3	57.2	64	61	47	40	39	75	
昼間	4	58.4	65	62	48	39	37	75	70
	5	60.5	67	65	53	43	41	77	
	6	63.7	69	68	60	49	47	77	
	7	65.5	71	69	63	52	50	82	
	8	66.7	71	70	65	58	56	84	
	9	66.4	71	70	65	58	56	79	
昼間	10	66.1	70	69	65	60	58	81	70
	11	67.9	71	70	66	60	58	103	
	平均	66	70	68	64	56	54	82	
昼間	最高	68	71	70	66	60	58	103	
	最低	63	67	66	60	48	46	76	
	平均	60	66	64	51	41	40	78	
夜間	最高	62	68	67	58	46	44	87	
	最低	57	64	61	47	37	35	75	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値: 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

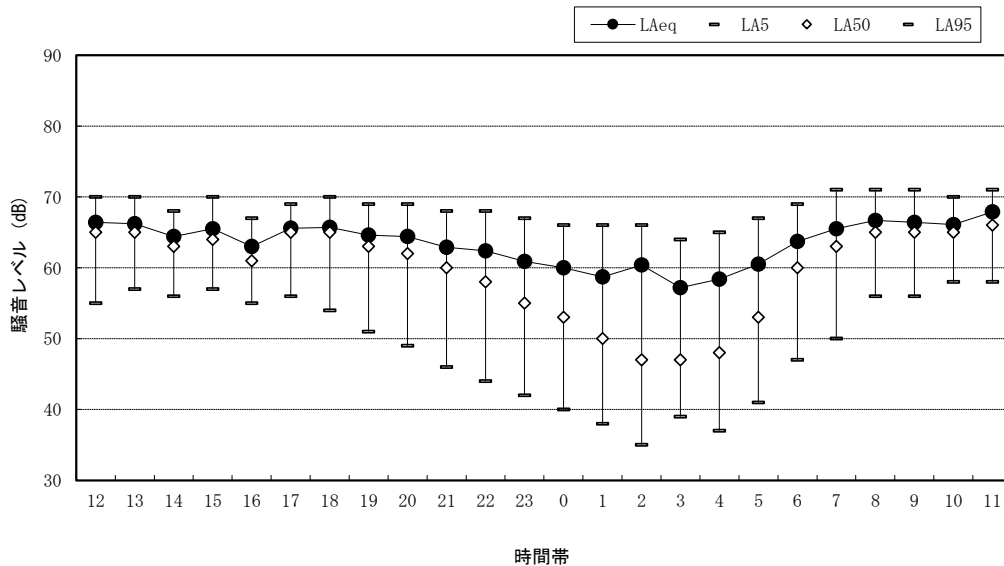


図1.2-1(3) 時間別騒音レベル (休日: No.2)

表1.2-1(4) 時間別騒音レベル (休日: No.3)

測定日: 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日)12時  
 測定場所: No.3

単位: dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	12	62.9	67	66	59	50	48	79	70
	13	62.8	66	64	57	49	48	96	
	14	59.8	65	64	56	49	48	82	
	15	60.0	66	64	56	49	48	77	
	16	59.7	65	64	56	49	48	77	
	17	59.0	64	63	56	49	48	75	
	18	59.4	64	63	56	49	48	79	
	19	58.2	64	62	54	49	48	72	
20	57.6	63	62	52	46	45	86		
	21	57.0	63	61	51	45	45	78	
夜間	22	55.0	61	59	48	43	42	77	65
	23	52.5	58	54	45	41	40	79	
	0	53.4	59	55	45	41	40	76	
	1	52.3	55	51	43	40	40	80	
	2	46.0	49	45	40	38	38	70	
	3	49.2	52	48	42	39	39	73	
	4	49.3	52	49	42	39	39	73	
	5	54.8	60	55	46	42	41	77	
昼間	6	57.7	64	61	50	45	44	76	70
	7	58.3	65	62	52	47	46	77	
	8	58.8	65	63	54	49	48	75	
	9	60.8	66	64	56	50	49	85	
	10	60.8	66	65	58	52	50	80	
	11	60.5	65	64	58	51	50	79	
昼間	平均	60	65	63	55	49	48	79	/
	最高	63	67	66	59	52	50	96	
	最低	57	63	61	50	45	44	72	
夜間	平均	52	56	52	44	40	40	76	
	最高	55	61	59	48	43	42	80	
	最低	46	49	45	40	38	38	70	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値: 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

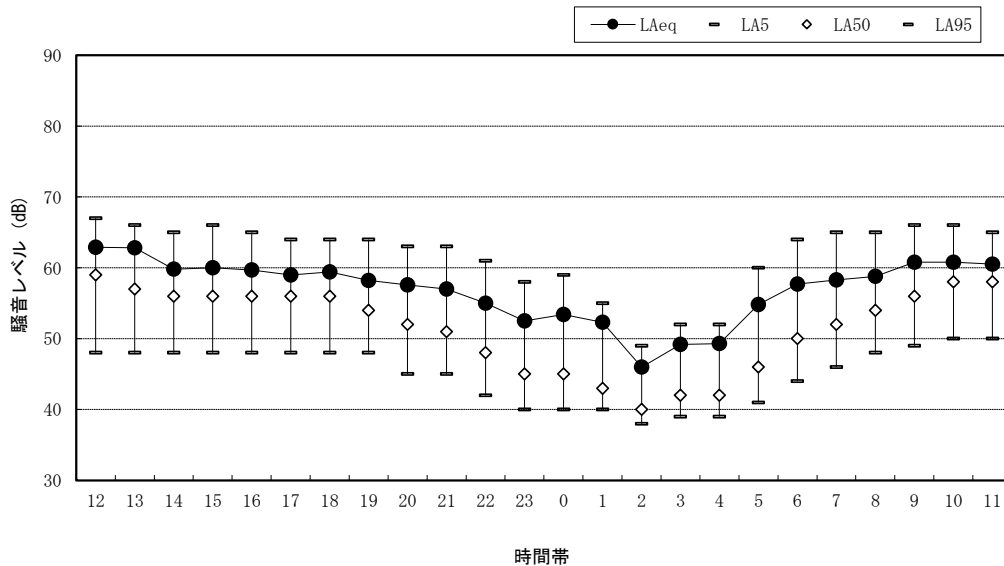


図1.2-1(4) 時間別騒音レベル (休日: No.3)

表1.2-1(5) 時間別騒音レベル (休日: No.4)

測定日: 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日)12時

測定場所: No. 4

単位: dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	12	64.5	69	68	60	49	46	90	70
	13	64.1	69	68	61	49	47	85	
	14	64.3	69	68	62	51	48	84	
	15	64.4	69	68	62	52	49	82	
	16	64.8	70	69	62	50	48	82	
	17	64.9	70	68	62	52	49	81	
	18	64.0	69	68	61	49	46	79	
	19	63.3	69	68	59	47	45	79	
	20	62.9	69	67	57	45	44	81	
21	62.4	69	67	54	42	40	85		
夜間	22	61.4	69	66	51	39	38	78	65
	23	59.1	66	63	45	36	35	78	
	0	58.2	64	59	40	34	33	79	
	1	58.3	64	58	42	37	36	82	
	2	53.7	56	48	36	33	33	78	
	3	52.9	54	48	39	35	34	76	
	4	57.2	61	53	36	32	32	79	
5	60.0	66	61	40	33	33	81		
昼間	6	62.7	70	67	51	40	39	80	70
	7	64.7	71	69	58	47	45	85	
	8	65.1	71	69	60	48	46	85	
	9	64.5	70	68	61	50	48	86	
	10	65.0	70	69	62	53	50	82	
	11	66.5	70	68	62	52	50	95	
昼間	平均	64	70	68	60	49	46	84	/
	最高	67	71	69	62	53	50	95	
	最低	62	69	67	51	40	39	79	
夜間	平均	58	62	57	41	35	34	79	
	最高	61	69	66	51	39	38	82	
	最低	53	54	48	36	32	32	76	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値: 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

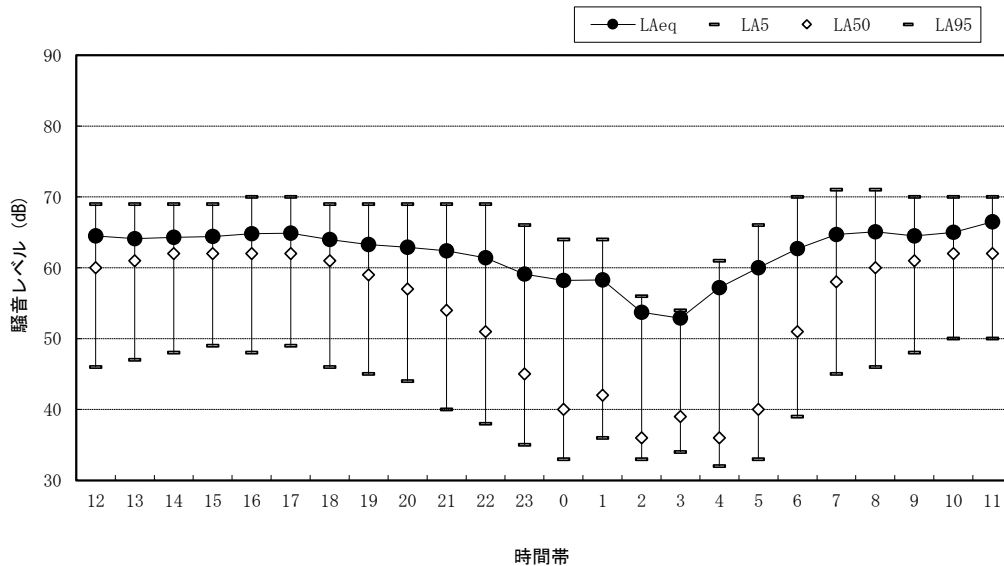


図1.2-1(5) 時間別騒音レベル (休日: No.4)

表1.2-2(1) 時間別騒音レベル (平日 : No.A)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時

測定場所 : No. A

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	15	55.5	59	58	54	50	49	71	55
	16	55.2	59	58	55	49	48	67	
	17	55.5	59	58	54	50	49	74	
	18	55.9	59	57	53	49	48	78	
	19	54.0	58	57	53	48	46	76	
	20	53.9	58	57	52	46	45	64	
夜間	21	53.4	58	57	51	45	44	65	45
	22	51.9	57	55	50	44	43	69	
	23	51.1	56	54	49	42	40	63	
	0	49.9	56	54	46	38	36	65	
	1	48.0	53	51	43	35	34	68	
	2	48.5	54	52	43	33	32	63	
	3	51.9	57	54	45	36	34	74	
	4	50.0	56	54	47	39	38	63	
昼間	5	54.0	59	57	52	45	43	65	55
	6	57.7	62	61	56	51	51	67	
	7	56.1	60	59	55	50	49	65	
	8	54.9	59	58	54	50	49	68	
	9	54.8	58	57	54	49	48	66	
	10	56.4	60	59	55	51	49	74	
	11	57.2	61	60	55	51	49	76	
	12	56.0	60	58	54	50	49	75	
昼間	13	54.2	58	57	53	48	47	72	55
	14	53.4	57	56	52	47	46	71	
	平均	55	59	58	54	49	48	71	
夜間	最高	58	62	61	56	51	51	78	45
	最低	53	57	56	51	45	44	64	
	平均	51	56	54	47	39	38	66	
夜間	最高	54	59	57	52	45	43	74	45
	最低	48	53	51	43	33	32	63	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「騒音に係る環境基準 (B類型)」を当てはめた。

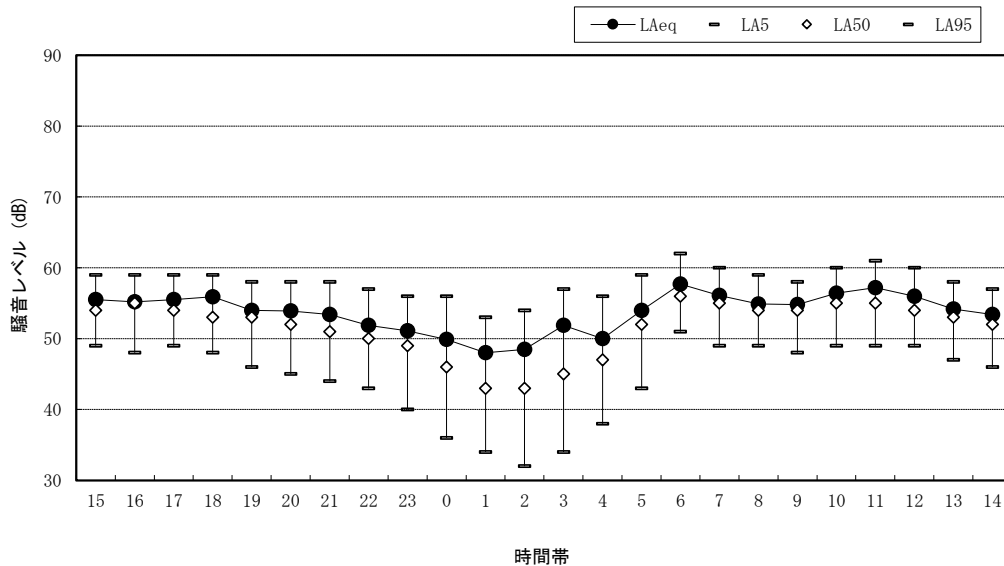


図1.2-2(1) 時間別騒音レベル (平日 : No.A)

表1.2-2(2) 時間別騒音レベル (平日 : No.1)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時

測定場所 : No.1

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	15	62.3	67	66	61	53	51	80	70
	16	61.9	66	65	60	53	51	78	
	17	61.8	66	65	61	52	49	75	
	18	62.0	67	66	60	50	48	75	
	19	60.8	66	65	58	48	46	74	
	20	59.5	66	64	56	45	44	71	
	21	58.3	64	63	53	44	43	74	
夜間	22	57.2	63	62	50	42	41	77	65
	23	55.1	62	59	46	37	35	71	
	0	54.6	61	58	43	32	31	73	
	1	55.7	61	58	41	31	<30	81	
	2	53.6	60	57	38	<30	<30	71	
	3	54.3	62	58	39	30	<30	71	
	4	56.3	64	61	44	37	36	73	
昼間	5	59.3	65	64	52	40	38	74	70
	6	63.2	69	67	61	49	47	74	
	7	63.4	68	66	62	54	51	76	
	8	62.5	67	66	61	54	52	77	
	9	62.0	67	65	61	53	51	72	
	10	64.3	68	67	62	56	54	82	
	11	62.3	67	66	61	55	54	74	
	12	61.5	66	65	60	54	52	75	
昼間	13	64.3	69	67	62	57	56	81	70
	14	61.6	66	65	60	53	51	76	
	平均	62	67	65	60	52	50	76	
夜間	最高	64	69	67	62	57	56	82	70
	最低	58	64	63	53	44	43	71	
	平均	56	62	60	44	35	33	74	
夜間	最高	59	65	64	52	42	41	81	65
	最低	54	60	57	38	<30	<30	71	
	平均	56	62	60	44	35	33	74	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

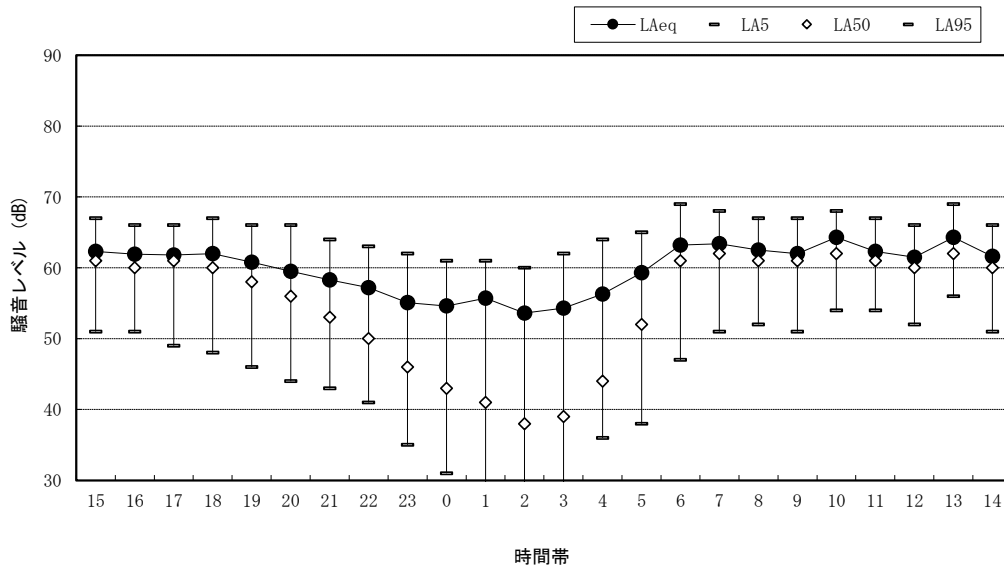


図1.2-2(2) 時間別騒音レベル (平日 : No.1)

表1.2-2(3) 時間別騒音レベル (平日 : No.2)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時  
 測定場所 : No. 2

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	15	67.0	71	70	66	59	57	83	70
	16	66.2	70	69	65	60	58	79	
	17	66.4	70	69	66	59	57	83	
	18	66.1	70	69	65	58	56	80	
	19	65.3	70	69	64	55	53	78	
	20	64.4	69	68	62	52	49	81	
夜間	21	63.6	69	67	60	49	47	89	65
	22	63.0	69	67	58	45	43	82	
	23	60.3	67	65	53	43	42	78	
	0	59.8	66	64	51	40	39	79	
	1	59.3	66	64	50	39	38	76	
	2	58.3	65	62	47	37	36	77	
昼間	3	61.0	66	64	49	39	37	91	70
	4	62.2	68	66	53	43	41	79	
	5	65.3	71	70	61	48	45	82	
	6	67.6	72	71	66	57	55	83	
	7	62.2	66	65	61	57	56	77	
	8	65.6	69	68	64	58	56	77	
	9	67.6	72	71	67	60	58	83	
	10	67.5	72	71	66	60	58	82	
昼間	11	67.3	72	70	66	60	57	82	70
	12	66.5	71	70	65	58	55	79	
	13	66.7	71	70	65	58	56	80	
	14	66.3	71	70	65	58	55	81	
昼間	平均	66	70	69	65	57	55	81	70
	最高	68	72	71	67	60	58	89	
	最低	62	66	65	60	49	47	77	
夜間	平均	62	67	65	53	42	40	80	65
	最高	65	71	70	61	48	45	91	
	最低	58	65	62	47	37	36	76	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

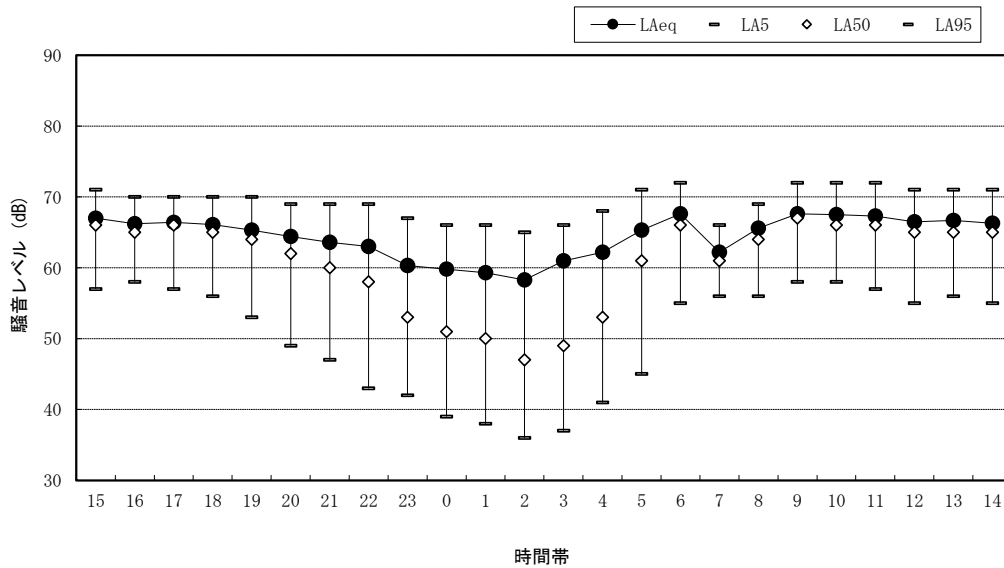


図1.2-2(3) 時間別騒音レベル (平日 : No.2)

表1.2-2(4) 時間別騒音レベル (平日 : No.3)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時

測定場所 : No. 3

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$	
昼間	15	60.5	66	64	57	51	50	77	70
	16	60.8	66	64	57	51	50	81	
	17	60.4	66	64	57	51	50	85	
	18	60.5	66	64	58	50	49	78	
	19	59.6	65	63	56	49	48	78	
	20	58.2	64	62	53	47	46	74	
	21	58.0	64	62	53	47	46	76	
夜間	22	55.9	63	60	48	43	42	74	65
	23	51.3	58	54	45	40	39	70	
	0	52.3	58	54	44	39	38	73	
	1	48.6	52	48	41	36	35	71	
	2	49.4	52	48	42	38	38	74	
	3	62.1	53	49	40	37	37	93	
	4	53.3	57	53	43	40	39	77	
	5	54.8	60	57	46	42	41	75	
昼間	6	61.7	68	65	54	49	48	79	70
	7	64.7	71	69	59	51	51	80	
	8	62.0	68	66	57	50	49	81	
	9	61.2	66	65	57	50	49	82	
	10	60.3	66	64	57	50	49	76	
	11	61.0	66	64	57	51	50	84	
	12	62.0	66	64	59	54	53	81	
	13	60.2	65	63	57	51	50	78	
	14	60.2	65	63	56	49	48	82	
昼間	平均	61	66	64	57	50	49	79	
	最高	65	71	69	59	54	53	85	
	最低	58	64	62	53	47	46	74	
夜間	平均	56	57	53	44	39	39	76	
	最高	62	63	60	48	43	42	93	
	最低	49	52	48	40	36	35	70	

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

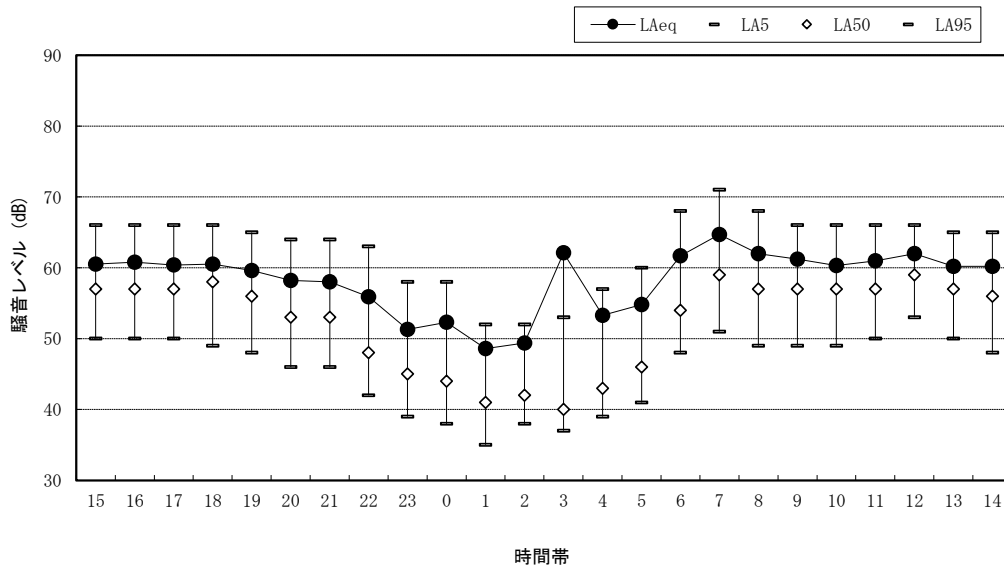


図1.2-2(4) 時間別騒音レベル (平日 : No.3)



表1.2-2(5) 時間別騒音レベル (平日 : No.4)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時  
 測定場所 : No. 4

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	騒音レベル							基準値		
		$L_{Aeq}$	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$	$L_{Amax}$			
昼間	15	65.3	70	69	62	50	48	82	70		
	16	65.1	70	68	61	50	48	93			
	17	64.5	69	68	61	51	49	88			
	18	64.1	69	68	61	50	47	85			
	19	62.6	69	67	57	44	42	78			
	20	61.8	68	67	55	42	41	76			
21	61.4	68	66	53	42	40	79	65			
夜間	22	59.7	66	63	47	38	37		80		
	23	58.6	66	61	41	35	34		78		
	0	56.4	61	56	37	33	33		76		
	1	54.7	58	51	37	32	31		82		
	2	51.6	53	45	34	32	32		77		
	3	53.3	51	43	34	32	31	81			
昼間	4	58.5	61	54	38	34	34	82	70		
	5	62.8	70	65	43	35	35	84			
	6	67.0	73	71	61	48	45	84			
	7	67.1	72	71	65	53	50	80			
	8	65.2	70	69	62	52	50	81			
	9	64.6	70	68	60	50	47	84			
	10	64.4	70	68	60	48	46	81			
	11	63.8	69	68	59	48	46	81			
昼間	12	63.4	69	68	59	46	44	80	70		
	13	64.1	70	68	60	46	44	83			
	14	63.7	69	68	59	46	44	81			
	昼間	平均	65	70	68	60	48	46		82	70
		最高	67	73	71	65	53	50		93	
		最低	61	68	66	53	42	40		76	
	夜間	平均	58	61	55	39	34	33		80	65
最高		63	70	65	47	38	37	84			
最低		52	51	43	34	32	31	76			

※平均値 $L_{Aeq}$ は「パワー平均」、平均値 $L_{Ax}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「幹線交通を担う道路に近接する空間の騒音に係る環境基準」。

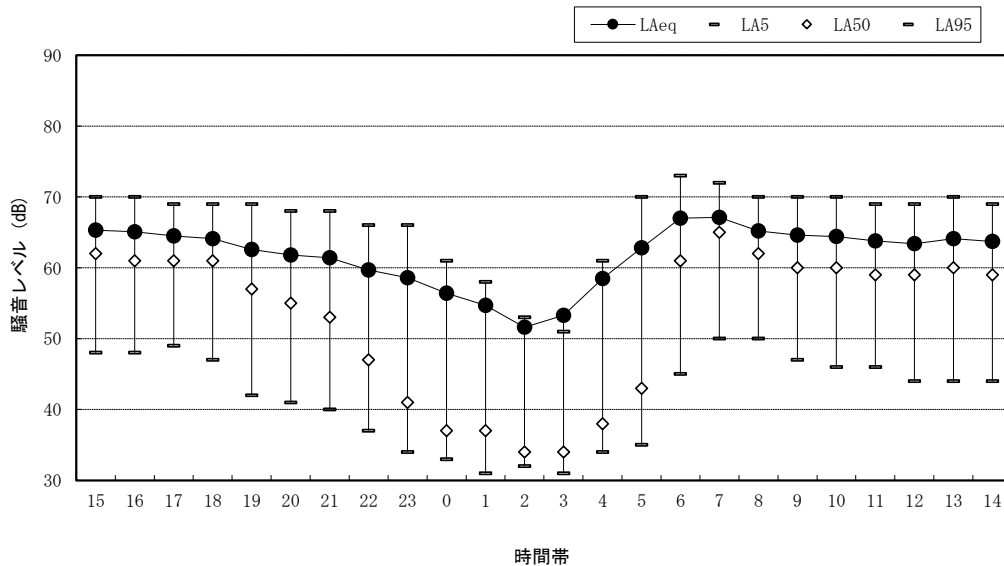


図1.2-2(5) 時間別騒音レベル (平日 : No.4)

## (2) 交通量調査結果詳細

表1.2-3(1) 交通量調査結果詳細 (休日: No.1)

測定日時: 令和元年11月16日(土)12時~11月17日(日)12時

地点名: No.1

単位: 台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
12時	30	9	12	578	17	646	58	7	8	588	1	646	88	16	20	1,166	18	1,308
13時	18	32	11	659	4	724	38	19	14	567	2	724	56	51	25	1,226	6	1,364
14時	31	27	12	706	7	783	28	31	11	578	4	783	59	58	23	1,284	11	1,435
15時	37	6	5	727	8	783	10	26	23	652	4	783	47	32	28	1,379	12	1,498
16時	24	5	14	566	1	610	35	16	11	563	0	610	59	21	25	1,129	1	1,235
17時	18	16	13	671	4	722	32	8	14	463	2	722	50	24	27	1,134	6	1,241
18時	5	7	2	392	3	409	10	23	12	521	3	409	15	30	14	913	6	978
19時	8	0	1	286	0	295	10	11	4	367	2	295	18	11	5	653	2	689
20時	7	3	2	194	2	208	15	1	2	283	1	208	22	4	4	477	3	510
21時	0	6	0	142	2	150	12	3	1	236	3	150	12	9	1	378	5	405
22時	2	6	1	123	0	132	5	4	3	167	0	132	7	10	4	290	0	311
23時	1	4	0	64	0	69	0	13	0	99	1	69	1	17	0	163	1	182
0時	5	0	0	37	0	42	10	1	1	59	0	42	15	1	1	96	0	113
1時	3	0	1	26	0	30	18	0	1	53	0	30	21	0	2	79	0	102
2時	2	3	1	22	0	28	4	3	0	33	0	28	6	6	1	55	0	68
3時	1	6	0	28	0	35	2	6	0	23	0	35	3	12	0	51	0	66
4時	7	2	0	33	0	42	3	1	0	34	2	42	10	3	0	67	2	82
5時	7	3	1	56	0	67	10	4	2	74	0	67	17	7	3	130	0	157
6時	8	7	5	117	0	137	3	6	4	209	0	137	11	13	9	326	0	359
7時	17	1	4	217	3	242	7	11	3	339	5	242	24	12	7	556	8	607
8時	8	9	12	362	2	393	5	2	5	308	5	393	13	11	17	670	7	718
9時	8	17	12	625	2	664	14	10	7	597	9	664	22	27	19	1,222	11	1,301
10時	11	11	6	772	9	809	9	11	0	617	4	809	20	22	6	1,389	13	1,450
11時	15	2	4	780	9	810	4	8	9	609	6	810	19	10	13	1,389	15	1,446
合計	273	182	119	8,183	73	8,830	342	225	135	8,039	54	8,830	615	407	254	16,222	127	17,625

表1.2-3(2) 交通量調査結果詳細 (休日: No.2)

測定日時: 令和元年11月16日(土)12時~11月17日(日)12時

地点名: No.2

単位: 台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
12時	27	31	85	1,162	17	1,322	53	51	7	1,172	5	1,288	80	82	92	2,334	22	2,610
13時	35	31	68	1,176	10	1,320	31	35	180	1,169	10	1,425	66	66	248	2,345	20	2,745
14時	39	28	26	1,323	14	1,430	31	28	49	1,225	9	1,342	70	56	75	2,548	23	2,772
15時	44	25	18	1,327	9	1,423	23	18	41	1,233	9	1,324	67	43	59	2,560	18	2,747
16時	27	21	107	1,192	7	1,354	29	24	15	1,167	6	1,241	56	45	122	2,359	13	2,595
17時	21	14	48	1,272	12	1,367	23	23	90	1,144	12	1,292	44	37	138	2,416	24	2,659
18時	13	7	7	859	6	892	22	11	48	1,139	2	1,222	35	18	55	1,998	8	2,114
19時	18	2	2	553	3	578	13	16	12	837	5	883	31	18	14	1,390	8	1,461
20時	5	10	23	551	3	592	17	0	1	643	2	663	22	10	24	1,194	5	1,255
21時	7	3	7	377	1	395	9	25	22	492	6	554	16	28	29	869	7	949
22時	7	4	2	312	3	328	10	5	7	383	0	405	17	9	9	695	3	733
23時	5	0	1	176	0	182	11	2	2	222	2	239	16	2	3	398	2	421
0時	5	0	0	109	1	115	11	2	1	177	1	192	16	2	1	286	2	307
1時	2	2	7	68	0	79	8	10	5	111	0	134	10	12	12	179	0	213
2時	4	1	3	51	0	59	6	1	2	84	0	93	10	2	5	135	0	152
3時	4	5	0	48	0	57	11	1	0	76	1	89	15	6	0	124	1	146
4時	12	2	0	58	2	74	7	0	1	79	1	88	19	2	1	137	3	162
5時	4	11	10	105	0	130	11	8	8	122	1	150	15	19	18	227	1	280
6時	7	10	12	300	3	332	11	5	12	347	2	377	18	15	24	647	5	709
7時	21	12	8	514	4	559	12	12	34	551	10	619	33	24	42	1,065	14	1,178
8時	11	21	61	809	10	912	16	4	8	824	18	870	27	25	69	1,633	28	1,782
9時	21	14	20	1,072	4	1,131	13	26	49	1,144	12	1,244	34	40	69	2,216	16	2,375
10時	21	18	10	1,365	15	1,429	17	19	18	1,399	12	1,465	38	37	28	2,764	27	2,894
11時	10	17	10	1,279	9	1,325	19	13	19	1,221	14	1,286	29	30	29	2,500	23	2,611
合計	370	289	535	16,058	133	17,385	414	339	631	16,961	140	18,485	784	628	1,166	33,019	273	35,870

表1.2-3(3) 交通量調査結果詳細（休日：No.3）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No.3

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
12時	3	6	6	259	3	277	4	8	2	338	1	353	7	14	8	597	4	630
13時	3	1	6	265	3	278	4	6	7	346	0	363	7	7	13	611	3	641
14時	4	8	0	266	2	280	4	10	2	290	4	310	8	18	2	556	6	590
15時	4	5	5	329	2	345	4	4	7	250	1	266	8	9	12	579	3	611
16時	2	4	6	268	0	280	3	4	11	348	1	367	5	8	17	616	1	647
17時	4	4	1	269	1	279	2	4	3	321	3	333	6	8	4	590	4	612
18時	5	1	1	270	2	279	5	1	1	293	1	301	10	2	2	563	3	580
19時	3	0	0	157	0	160	2	0	0	236	0	238	5	0	0	393	0	398
20時	2	1	0	119	3	125	2	0	0	144	4	150	4	1	0	263	7	275
21時	1	0	0	102	0	103	0	0	0	145	0	145	1	0	0	247	0	248
22時	0	1	0	73	0	74	0	1	0	77	0	78	0	2	0	150	0	152
23時	1	0	0	26	1	28	0	1	0	47	0	48	1	1	0	73	1	76
0時	0	1	0	36	0	37	0	1	0	31	1	33	0	2	0	67	1	70
1時	0	0	0	7	0	7	0	1	0	17	0	18	0	1	0	24	0	25
2時	0	1	0	3	1	5	0	1	0	4	0	5	0	2	0	7	1	10
3時	0	0	0	5	0	5	0	0	0	4	0	4	0	0	0	9	0	9
4時	0	0	0	6	0	6	0	1	0	8	1	10	0	1	0	14	1	16
5時	1	0	0	26	0	27	0	0	0	15	0	15	1	0	0	41	0	42
6時	0	2	0	59	1	62	1	0	0	30	1	32	1	2	0	89	2	94
7時	1	1	1	98	1	102	2	0	0	79	0	81	3	1	1	177	1	183
8時	3	2	2	154	0	161	2	4	2	126	1	135	5	6	4	280	1	296
9時	7	3	4	217	2	233	5	3	1	147	1	157	12	6	5	364	3	390
10時	4	7	0	291	0	302	4	6	2	257	4	273	8	13	2	548	4	575
11時	4	3	4	275	3	289	2	5	2	277	2	288	6	8	6	552	5	577
合計	52	51	36	3,580	25	3,744	46	61	40	3,830	26	4,003	98	112	76	7,410	51	7,747

表1.2-3(4) 交通量調査結果詳細（休日：No.4）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No.4

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
12時	8	7	9	357	4	385	5	4	7	319	4	339	13	11	16	676	8	724
13時	10	9	5	375	4	403	15	8	13	410	4	450	25	17	18	785	8	853
14時	4	11	9	493	5	522	5	16	2	463	4	490	9	27	11	956	9	1,012
15時	9	7	10	486	6	518	7	5	10	263	3	288	16	12	20	749	9	806
16時	20	9	6	437	2	474	13	2	7	414	5	441	33	11	13	851	7	915
17時	11	7	5	411	6	440	5	3	2	381	2	393	16	10	7	792	8	833
18時	6	1	3	268	2	280	3	0	3	283	2	291	9	1	6	551	4	571
19時	3	1	0	276	2	282	6	1	2	203	1	213	9	2	2	479	3	495
20時	2	1	1	160	1	165	2	1	2	187	2	194	4	2	3	347	3	359
21時	1	3	1	119	3	127	1	1	0	156	0	158	2	4	1	275	3	285
22時	1	0	2	134	3	140	0	1	1	129	1	132	1	1	3	263	4	272
23時	0	0	0	40	0	40	0	0	0	37	2	39	0	0	0	77	2	79
0時	0	0	0	40	0	40	0	0	0	37	2	39	0	0	0	77	2	79
1時	0	2	0	32	0	34	0	2	1	26	0	29	0	4	1	58	0	63
2時	0	0	0	10	1	11	0	1	0	13	1	15	0	1	0	23	2	26
3時	0	0	0	10	1	11	0	0	0	5	0	5	0	0	0	15	1	16
4時	2	0	0	18	0	20	1	0	0	14	0	15	3	0	0	32	0	35
5時	0	0	0	33	0	33	2	0	0	22	0	24	2	0	0	55	0	57
6時	2	1	2	115	0	120	0	1	2	68	2	73	2	2	4	183	2	193
7時	7	1	3	178	5	194	6	2	3	145	3	159	13	3	6	323	8	353
8時	3	7	3	359	15	387	6	7	0	238	4	255	9	14	3	597	19	642
9時	3	3	6	231	5	248	5	11	6	326	5	353	8	14	12	557	10	601
10時	6	6	4	390	6	412	8	5	1	329	9	352	14	11	5	719	15	764
11時	6	6	3	477	6	498	2	1	4	418	4	429	8	7	7	895	10	927
合計	104	82	72	5,449	77	5,784	92	72	66	4,886	60	5,176	196	154	138	10,335	137	10,960

表1.2-3(5) 交通量調査結果詳細 (休日 : No.2')

測定日時 : 令和元年11月16日 (土) 12時~11月17日 (日) 12時

地点名 : No.2'

単位 : 台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
12時	26	34	16	1,218	24	1,318	16	55	17	1,247	5	1,340	42	89	33	2,465	29	2,658
13時	32	40	21	1,178	8	1,279	32	42	14	1,028	8	1,124	64	82	35	2,206	16	2,403
14時	40	23	20	1,321	11	1,415	34	33	28	1,229	10	1,334	74	56	48	2,550	21	2,749
15時	25	30	24	1,341	15	1,435	22	19	17	1,181	11	1,250	47	49	41	2,522	26	2,685
16時	25	18	24	1,273	8	1,348	15	24	30	1,235	4	1,308	40	42	54	2,508	12	2,656
17時	24	19	30	1,251	8	1,332	24	22	10	1,051	9	1,116	48	41	40	2,302	17	2,448
18時	14	4	5	845	6	874	18	18	19	1,152	4	1,211	32	22	24	1,997	10	2,085
19時	12	6	4	580	3	605	11	11	10	711	3	746	23	17	14	1,291	6	1,351
20時	6	11	3	502	2	524	13	4	0	634	2	653	19	15	3	1,136	4	1,177
21時	2	8	1	300	1	312	8	11	0	500	6	525	10	19	1	800	7	837
22時	2	8	1	249	3	263	9	2	2	371	1	385	11	10	3	620	4	648
23時	4	10	0	214	3	231	4	1	0	137	0	142	8	11	0	351	3	373
0時	2	1	0	81	0	84	8	2	2	153	0	165	10	3	2	234	0	249
1時	1	2	4	59	0	66	8	11	1	12	0	32	9	13	5	71	0	98
2時	2	4	1	37	0	44	5	2	0	65	1	73	7	6	1	102	1	117
3時	2	6	0	37	1	46	3	8	0	50	2	63	5	14	0	87	3	109
4時	3	8	1	54	2	68	2	5	0	53	2	62	5	13	1	107	4	130
5時	3	8	0	93	0	104	9	11	0	108	1	129	12	19	0	201	1	233
6時	7	12	3	259	5	286	4	8	6	316	1	335	11	20	9	575	6	621
7時	8	16	10	449	3	486	4	11	3	409	4	431	12	27	13	858	7	917
8時	11	21	10	761	8	811	5	17	14	848	18	902	16	38	24	1,609	26	1,713
9時	14	24	16	1,137	2	1,193	12	24	8	1,074	9	1,127	26	48	24	2,211	11	2,320
10時	16	15	8	1,425	11	1,475	18	20	4	1,357	14	1,413	34	35	12	2,782	25	2,888
11時	10	18	12	1,362	9	1,411	8	23	5	1,339	11	1,386	18	41	17	2,701	20	2,797
合計	291	346	214	16,026	133	17,010	292	384	190	16,260	126	17,252	583	730	404	32,286	259	34,262

表1.2-4(1) 交通量調査結果詳細（平日：No.1）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No.1

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
15時	33	42	25	589	0	689	31	61	18	484	0	594	64	103	43	1,073	0	1,283
16時	50	11	22	512	0	595	25	33	28	513	2	601	75	44	50	1,025	2	1,196
17時	16	26	10	618	2	672	45	18	20	596	2	681	61	44	30	1,214	4	1,353
18時	15	16	2	510	1	544	21	18	13	472	2	526	36	34	15	982	3	1,070
19時	11	7	5	335	0	358	14	16	8	355	4	397	25	23	13	690	4	755
20時	18	4	2	180	1	205	22	11	3	253	1	290	40	15	5	433	2	495
21時	12	11	0	129	2	154	19	3	1	138	0	161	31	14	1	267	2	315
22時	6	8	0	114	0	128	5	23	0	145	1	174	11	31	0	259	1	302
23時	2	6	0	37	1	46	10	12	1	92	1	116	12	18	1	129	2	162
0時	5	3	1	29	0	38	11	8	1	54	2	76	16	11	2	83	2	114
1時	9	0	0	19	0	28	30	1	0	36	1	68	39	1	0	55	1	96
2時	5	9	3	20	0	37	13	16	1	34	0	64	18	25	4	54	0	101
3時	3	13	1	20	0	37	19	11	0	32	0	62	22	24	1	52	0	99
4時	18	16	2	30	1	67	15	27	1	40	0	83	33	43	3	70	1	150
5時	42	11	7	81	0	141	69	16	3	96	1	185	111	27	10	177	1	326
6時	44	42	18	335	2	441	50	55	8	346	0	459	94	97	26	681	2	900
7時	26	41	32	523	4	626	42	31	13	478	1	565	68	72	45	1,001	5	1,191
8時	45	36	23	460	1	565	40	25	7	471	2	545	85	61	30	931	3	1,110
9時	59	55	16	416	6	552	89	24	32	431	1	577	148	79	48	847	7	1,129
10時	64	48	13	486	1	612	69	74	9	459	3	614	133	122	22	945	4	1,226
11時	48	38	18	359	6	469	47	44	18	424	1	534	95	82	36	783	7	1,003
12時	68	21	19	325	1	434	34	37	18	385	4	478	102	58	37	710	5	912
13時	41	90	11	421	2	565	45	20	16	372	6	459	86	110	27	793	8	1,024
14時	40	49	11	426	0	526	27	71	17	418	4	537	67	120	28	844	4	1,063
合計	680	603	241	6,974	31	8,529	792	655	236	7,124	39	8,846	1,472	1,258	477	14,098	70	17,375

表1.2-4(2) 交通量調査結果詳細（平日：No.2）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No.2

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
15時	42	68	190	935	2	1,237	35	73	48	1,073	4	1,233	77	141	238	2,008	6	2,470
16時	51	14	69	1,143	3	1,280	24	50	161	886	7	1,128	75	64	230	2,029	10	2,408
17時	42	18	29	1,122	2	1,213	44	19	46	1,302	10	1,421	86	37	75	2,424	12	2,634
18時	27	17	24	1,030	5	1,103	26	23	19	1,283	12	1,363	53	40	43	2,313	17	2,466
19時	11	13	49	623	1	697	15	23	11	917	8	974	26	36	60	1,540	9	1,671
20時	16	8	10	451	2	487	22	15	44	697	9	787	38	23	54	1,148	11	1,274
21時	17	7	1	293	3	321	19	3	6	490	4	522	36	10	7	783	7	843
22時	5	12	1	218	5	241	19	10	2	319	4	354	24	22	3	537	9	595
23時	5	4	7	114	0	130	9	13	2	205	3	232	14	17	9	319	3	362
0時	9	2	5	71	0	87	11	12	11	122	2	158	20	14	16	193	2	245
1時	8	7	3	68	0	86	27	6	3	100	1	137	35	13	6	168	1	223
2時	11	3	2	34	0	50	24	5	3	65	0	97	35	8	5	99	0	147
3時	5	14	5	47	0	71	22	14	1	52	1	90	27	28	6	99	1	161
4時	14	21	13	65	2	115	19	27	11	66	0	123	33	48	24	131	2	238
5時	6	12	25	206	1	250	65	16	13	156	2	252	71	28	38	362	3	502
6時	42	36	26	835	8	947	68	49	18	494	3	632	110	85	44	1,329	11	1,579
7時	27	50	48	1,320	31	1,476	37	48	33	1,006	2	1,126	64	98	81	2,326	33	2,602
8時	35	85	121	959	17	1,217	50	38	67	872	6	1,033	85	123	188	1,831	23	2,250
9時	78	30	110	929	6	1,153	68	55	52	887	2	1,064	146	85	162	1,816	8	2,217
10時	75	56	36	808	5	980	74	57	39	1,007	2	1,179	149	113	75	1,815	7	2,159
11時	61	64	170	785	4	1,084	53	60	42	841	2	998	114	124	212	1,626	6	2,082
12時	63	29	79	848	8	1,027	43	76	105	813	8	1,045	106	105	184	1,661	16	2,072
13時	63	60	89	881	2	1,095	61	31	86	858	8	1,044	124	91	175	1,739	10	2,139
14時	45	57	41	988	6	1,137	47	38	84	996	5	1,170	92	95	125	1,984	11	2,307
合計	758	687	1,153	14,773	113	17,484	882	761	907	15,507	105	18,162	1,640	1,448	2,060	30,280	218	35,646



表1.2-4(3) 交通量調査結果詳細（平日：No.3）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No.3

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
15時	5	15	6	206	1	233	4	14	5	260	2	285	9	29	11	466	3	518
16時	3	10	7	235	1	256	1	12	7	307	2	329	4	22	14	542	3	585
17時	6	7	5	243	3	264	4	1	8	278	0	291	10	8	13	521	3	555
18時	5	3	0	292	3	303	5	3	1	328	1	338	10	6	1	620	4	641
19時	0	7	3	203	1	214	0	5	2	224	2	233	0	12	5	427	3	447
20時	2	0	0	201	1	204	2	0	0	213	1	216	4	0	0	414	2	420
21時	1	0	0	90	2	93	2	1	2	88	2	95	3	1	2	178	4	188
22時	2	1	0	65	3	71	1	2	0	54	1	58	3	3	0	119	4	129
23時	0	0	0	23	0	23	0	0	0	19	1	20	0	0	0	42	1	43
0時	0	0	0	21	0	21	3	0	1	23	1	28	3	0	1	44	1	49
1時	1	0	0	5	0	6	0	1	0	7	0	8	1	1	0	12	0	14
2時	0	3	0	2	0	5	0	4	0	3	0	7	0	7	0	5	0	12
3時	2	0	0	5	0	7	1	1	0	3	1	6	3	1	0	8	1	13
4時	0	2	0	7	0	9	0	1	0	6	0	7	0	3	0	13	0	16
5時	0	0	1	24	0	25	1	0	0	25	1	27	1	0	1	49	1	52
6時	3	4	2	153	1	163	2	5	1	141	4	153	5	9	3	294	5	316
7時	11	9	5	311	1	337	3	17	6	335	4	365	14	26	11	646	5	702
8時	8	3	0	294	0	305	5	3	2	315	1	326	13	6	2	609	1	631
9時	9	20	10	189	1	229	8	16	1	146	1	172	17	36	11	335	2	401
10時	2	10	5	210	1	228	4	14	4	185	0	207	6	24	9	395	1	435
11時	13	9	3	206	5	236	18	4	5	194	2	223	31	13	8	400	7	459
12時	2	7	9	216	2	236	2	7	4	220	1	234	4	14	13	436	3	470
13時	3	9	9	198	3	222	5	10	5	211	0	231	8	19	14	409	3	453
14時	12	8	6	193	3	222	13	9	5	197	3	227	25	17	11	390	6	449
合計	90	127	71	3,592	32	3,912	84	130	59	3,782	31	4,086	174	257	130	7,374	63	7,998

表1.2-4(4) 交通量調査結果詳細（平日：No.4）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No.4

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
15時	13	12	8	313	1	347	18	16	14	318	2	368	31	28	22	631	3	715
16時	9	17	8	339	1	374	14	15	4	310	1	344	23	32	12	649	2	718
17時	12	9	5	473	5	504	5	14	9	350	2	380	17	23	14	823	7	884
18時	7	1	5	368	4	385	6	3	6	283	1	299	13	4	11	651	5	684
19時	4	0	0	264	3	271	6	0	1	205	0	212	10	0	1	469	3	483
20時	3	0	2	131	4	140	2	0	0	105	0	107	5	0	2	236	4	247
21時	1	0	0	133	6	140	3	0	0	105	0	108	4	0	0	238	6	248
22時	2	0	0	102	2	106	1	0	0	50	0	51	3	0	0	152	2	157
23時	1	0	0	65	2	68	0	0	0	49	0	49	1	0	0	114	2	117
0時	0	0	0	36	0	36	0	1	0	20	1	22	0	1	0	56	1	58
1時	0	1	0	14	0	15	0	2	1	14	0	17	0	3	1	28	0	32
2時	1	0	0	9	0	10	1	0	0	10	0	11	2	0	0	19	0	21
3時	1	0	0	4	2	7	3	0	0	9	1	13	4	0	0	13	3	20
4時	5	0	0	10	0	15	2	0	2	15	1	20	7	0	2	25	1	35
5時	2	1	1	22	0	26	5	1	0	46	0	52	7	2	1	68	0	78
6時	10	1	4	186	0	201	5	7	6	233	7	258	15	8	10	419	7	459
7時	12	5	10	484	7	518	18	14	13	535	1	581	30	19	23	1,019	8	1,099
8時	9	28	5	362	0	404	9	14	7	415	7	452	18	42	12	777	7	856
9時	18	3	14	330	0	365	16	7	8	394	0	425	34	10	22	724	0	790
10時	12	9	9	267	3	300	21	13	5	294	1	334	33	22	14	561	4	634
11時	14	14	3	211	3	245	7	15	7	255	3	287	21	29	10	466	6	532
12時	8	7	8	380	6	409	12	8	13	327	2	362	20	15	21	707	8	771
13時	12	19	10	291	2	334	17	11	8	290	3	329	29	30	18	581	5	663
14時	9	11	10	305	2	337	4	26	6	301	3	340	13	37	16	606	5	677
合計	165	138	102	5,099	53	5,557	175	167	110	4,933	36	5,421	340	305	212	10,032	89	10,978

表1.2-4(5) 交通量調査結果詳細（平日：No.2'）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No.2'

単位：台

調査 時間帯	上り方向						下り方向						測定断面					
	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計	大型車	中型車	小型 貨物車	乗用車	二輪車	計
15時	37	56	53	1,011	3	1,160	33	71	24	951	2	1,081	70	127	77	1,962	5	2,241
16時	44	43	25	997	4	1,113	25	47	24	827	4	927	69	90	49	1,824	8	2,040
17時	18	21	24	1,080	1	1,144	34	44	20	948	9	1,055	52	65	44	2,028	10	2,199
18時	22	16	6	888	2	934	22	21	18	1,111	10	1,182	44	37	24	1,999	12	2,116
19時	12	7	8	559	0	586	28	9	2	786	7	832	40	16	10	1,345	7	1,418
20時	11	15	4	329	1	360	25	7	9	554	8	603	36	22	13	883	9	963
21時	9	8	1	230	2	250	11	10	0	409	6	436	20	18	1	639	8	686
22時	9	7	1	181	1	199	17	9	0	303	4	333	26	16	1	484	5	532
23時	5	3	0	71	0	79	9	10	1	189	1	210	14	13	1	260	1	289
0時	6	4	2	54	0	66	15	8	4	105	2	134	21	12	6	159	2	200
1時	7	5	0	44	0	56	13	18	0	77	0	108	20	23	0	121	0	164
2時	9	6	3	28	0	46	15	11	3	52	1	82	24	17	6	80	1	128
3時	4	7	5	36	3	55	11	14	1	34	2	62	15	21	6	70	5	117
4時	17	18	0	58	4	97	30	17	1	51	0	99	47	35	1	109	4	196
5時	32	26	5	214	1	278	56	38	3	167	1	265	88	64	8	381	2	543
6時	37	42	31	743	7	860	60	57	10	433	3	563	97	99	41	1,176	10	1,423
7時	45	42	41	935	6	1,069	35	68	25	1,185	22	1,335	80	110	66	2,120	28	2,404
8時	45	61	25	953	13	1,097	53	58	11	913	3	1,038	98	119	36	1,866	16	2,135
9時	13	53	28	1,026	7	1,127	69	70	27	707	1	874	82	123	55	1,733	8	2,001
10時	63	46	44	811	5	969	63	71	19	857	3	1,013	126	117	63	1,668	8	1,982
11時	76	74	30	1,009	6	1,195	69	55	38	735	4	901	145	129	68	1,744	10	2,096
12時	51	53	30	742	8	884	60	67	9	836	8	980	111	120	39	1,578	16	1,864
13時	51	79	36	847	2	1,015	51	68	27	799	6	951	102	147	63	1,646	8	1,966
14時	48	71	38	813	2	972	40	66	35	953	3	1,097	88	137	73	1,766	5	2,069
合計	671	763	440	13,659	78	15,611	844	914	311	13,982	110	16,161	1,515	1,677	751	27,641	188	31,772

(3) 平均走行速度調査結果

表1.2-5(1) 平均走行速度調査結果（休日：No.1）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No. 1

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
12時	56.8	56.7	61.5	63.4	64.5	-
13時	54.3	50.1	69.4	59.9	60.1	67.0
14時	55.8	61.3	66.9	65.3	64.4	60.3
15時	48.2	47.8	49.1	62.6	68.5	63.2
16時	54.6	58.9	61.6	67.1	68.0	61.8
17時	44.6	47.1	-	63.5	64.4	64.6
18時	49.7	57.6	69.0	60.2	68.4	61.2
19時	50.3	55.2	-	64.1	67.4	60.7
20時	55.9	57.6	63.9	64.8	66.7	63.1
21時	46.1	50.8	41.5	61.3	70.8	69.5
22時	54.1	59.0	-	67.1	70.5	-
23時	48.7	51.2	-	65.8	65.9	62.4
0時	52.1	54.8	-	64.2	72.1	-
1時	46.5	51.0	-	60.8	70.9	-
2時	52.6	58.8	-	67.3	74.6	-
3時	51.5	50.6	-	66.1	72.0	-
4時	50.3	59.3	-	68.8	70.0	65.0
5時	47.5	52.6	-	64.2	70.4	-
6時	45.0	58.0	-	63.7	67.2	-
7時	51.1	58.0	58.6	64.3	61.2	60.1
8時	49.9	56.5	56.5	65.5	64.5	60.5
9時	52.1	61.2	63.2	67.9	63.2	62.6
10時	46.6	57.9	50.6	64.1	64.2	59.9
11時	49.1	50.9	61.4	64.4	66.4	58.6
平均	50.6	55.1	59.5	64.4	67.3	62.5

表1.2-5(2) 平均走行速度調査結果（休日：No.2）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No. 2

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
12時	39.6	39.3	39.9	64.4	67.6	70.3
13時	39.3	37.2	44.4	63.3	65.3	61.2
14時	35.9	35.4	38.6	58.2	66.8	67.9
15時	41.1	45.3	40.0	60.0	64.1	66.2
16時	34.9	38.7	46.2	57.7	71.2	70.3
17時	30.8	40.5	50.8	57.0	63.7	55.1
18時	43.7	36.0	45.7	53.1	72.7	68.9
19時	40.4	45.4	44.7	62.1	70.0	61.9
20時	42.9	45.1	45.6	55.0	74.3	71.1
21時	46.2	41.0	58.9	62.4	70.9	58.5
22時	45.2	41.4	43.2	60.8	72.2	-
23時	45.5	47.1	-	62.8	67.4	64.9
0時	44.1	44.2	-	67.2	66.1	64.1
1時	44.4	51.5	-	60.4	75.5	-
2時	44.8	45.9	-	64.9	69.8	-
3時	44.0	53.3	-	67.1	67.4	64.4
4時	44.5	44.6	34.2	63.2	67.6	74.5
5時	46.7	43.7	-	66.4	66.0	66.0
6時	43.8	42.0	51.9	60.9	70.2	59.3
7時	44.6	45.1	47.1	60.7	63.6	68.9
8時	44.6	48.3	50.8	61.9	70.7	67.0
9時	45.5	43.8	61.2	61.2	65.5	65.7
10時	32.7	35.3	40.9	62.8	70.6	62.2
11時	42.8	46.8	49.1	62.2	68.1	65.7
平均	42.0	43.2	46.3	61.5	68.6	65.4

表1.2-5(3) 平均走行速度調査結果（休日：No.3）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No. 3

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
12時	26.5	26.8	30.1	38.5	43.9	40.4
13時	33.4	34.8	33.3	39.5	38.2	-
14時	28.7	30.7	34.9	32.4	41.4	41.9
15時	29.0	29.0	-	38.2	45.8	50.8
16時	32.0	30.9	-	40.0	42.3	33.6
17時	29.6	29.1	39.0	34.2	35.1	34.0
18時	29.7	25.7	43.3	35.9	40.1	-
19時	24.9	33.9	51.9	31.6	45.1	-
20時	30.6	30.9	-	-	41.5	34.2
21時	29.7	28.9	-	-	41.1	-
22時	37.8	32.4	-	-	38.2	-
23時	-	31.3	30.6	26.6	38.2	-
0時	30.0	32.4	-	49.6	48.1	40.3
1時	-	32.6	-	39.9	34.9	-
2時	29.7	33.9	31.2	29.4	35.5	-
3時	-	31.6	-	-	41.2	-
4時	-	32.9	49.5	30.6	41.7	-
5時	24.6	34.1	-	-	36.2	-
6時	23.8	30.2	34.2	23.5	49.0	56.4
7時	28.6	31.6	32.8	39.7	51.2	-
8時	31.2	37.8	-	43.9	51.0	50.1
9時	32.0	28.6	25.3	34.9	41.3	49.1
10時	28.6	35.9	-	38.0	40.8	50.5
11時	28.8	29.0	32.4	37.6	35.8	36.8
平均	29.5	31.5	36.0	36.0	41.6	43.2

表1.2-5(4) 平均走行速度調査結果（休日：No.4）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No. 4

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
12時	39.1	46.0	47.6	56.4	63.1	55.8
13時	33.0	33.9	36.0	51.3	52.2	59.6
14時	35.4	39.6	34.5	50.6	58.4	57.3
15時	41.5	43.5	44.3	49.1	48.3	54.5
16時	33.9	34.5	32.4	48.6	51.6	50.0
17時	33.1	34.2	37.5	54.5	55.6	59.3
18時	39.6	43.1	-	56.1	54.8	57.0
19時	29.1	32.7	-	50.0	53.0	56.6
20時	34.4	43.0	-	51.4	60.6	59.0
21時	35.5	46.5	37.2	52.5	62.8	-
22時	30.8	35.8	-	-	55.4	42.0
23時	34.7	37.3	38.9	57.6	55.4	57.4
0時	-	44.0	-	-	60.6	59.8
1時	34.4	39.3	-	51.1	66.2	-
2時	-	48.5	38.3	66.2	62.6	62.1
3時	-	48.2	51.7	-	56.5	-
4時	44.1	35.3	-	61.9	56.3	-
5時	-	39.9	-	57.8	52.6	-
6時	35.5	43.4	-	-	59.2	55.3
7時	32.9	36.4	39.6	50.7	58.1	63.0
8時	35.1	36.3	42.9	51.3	55.6	58.4
9時	44.1	41.3	52.4	58.3	60.5	57.1
10時	32.9	34.2	35.5	52.7	59.4	53.7
11時	34.5	35.8	34.1	51.6	53.7	55.4
平均	35.7	39.7	40.2	54.0	57.2	56.5

表1.2-5(5) 平均走行速度調査結果（休日：No.2'）

測定日時：令和元年11月16日（土）12時～11月17日（日）12時

地点名：No.2'

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
12時	48.8	50.7	52.5	50.6	67.3	62.6
13時	49.4	49.5	47.9	46.1	60.5	61.4
14時	44.4	54.2	52.9	48.6	57.2	53.6
15時	43.2	35.0	48.9	44.4	56.8	54.4
16時	46.8	44.6	45.2	44.1	54.0	60.1
17時	45.4	53.7	51.9	40.3	47.9	70.7
18時	40.7	42.9	46.1	48.1	56.9	50.8
19時	42.6	38.1	42.3	54.6	61.8	-
20時	52.2	53.5	65.1	53.1	63.3	59.1
21時	51.7	46.9	67.7	50.5	62.6	64.7
22時	41.0	42.8	43.8	48.3	66.8	50.3
23時	52.8	45.5	-	50.8	57.2	69.8
0時	46.9	53.8	-	48.5	71.1	-
1時	44.8	49.6	-	49.2	66.4	-
2時	44.9	46.7	-	60.6	77.6	-
3時	47.1	47.0	-	58.7	65.8	48.0
4時	48.1	51.0	52.1	53.4	67.9	56.0
5時	47.3	44.6	-	51.9	64.2	59.0
6時	43.5	44.4	53.5	54.9	55.9	36.5
7時	41.7	46.1	45.8	52.6	66.6	57.4
8時	46.4	54.6	62.2	52.0	62.6	57.3
9時	44.4	48.0	59.9	52.0	63.2	47.3
10時	44.5	45.9	44.3	44.3	46.3	51.0
11時	41.9	36.8	41.5	50.7	53.4	50.3
平均	45.9	46.9	51.3	50.3	61.4	56.0

表1.2-6(1) 平均走行速度調査結果（平日：No.1）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No.1

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
15時	39.1	36.4	-	59.4	71.2	-
16時	44.1	44.2	-	62.0	63.6	65.5
17時	46.9	47.4	-	67.9	68.7	60.1
18時	47.1	49.4	56.4	68.8	65.3	61.2
19時	35.7	42.3	-	60.1	67.8	69.5
20時	48.9	50.6	60.6	69.7	64.8	53.7
21時	53.6	52.8	51.6	61.9	66.3	-
22時	55.3	49.3	-	70.3	64.5	71.6
23時	42.4	45.5	-	60.3	67.0	-
0時	47.6	52.3	-	60.6	74.2	64.1
1時	48.3	50.5	-	68.5	69.9	72.0
2時	55.1	52.8	-	57.2	64.7	-
3時	46.0	45.9	-	67.1	63.1	-
4時	43.4	50.4	43.2	61.8	67.5	-
5時	50.2	55.6	-	55.7	67.4	71.2
6時	47.2	50.8	53.3	61.4	71.0	-
7時	38.9	41.4	44.3	57.2	69.4	63.1
8時	48.7	54.4	36.6	59.1	60.1	54.4
9時	47.6	47.1	60.1	58.4	67.0	63.8
10時	54.9	52.1	66.8	61.8	66.1	59.5
11時	41.9	41.9	48.8	61.3	69.3	44.3
12時	54.8	51.2	40.3	61.6	65.8	58.8
13時	50.3	54.3	54.4	59.2	58.7	54.1
14時	57.3	50.9	-	58.5	62.1	63.9
平均	47.7	48.7	51.4	62.1	66.5	61.8

表1.2-6(2) 平均走行速度調査結果（平日：No.2）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No. 2

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
15時	45.6	46.7	62.2	57.9	70.5	78.1
16時	37.6	43.7	53.9	62.1	68.0	57.7
17時	40.3	39.8	56.9	65.2	70.7	67.6
18時	46.6	46.8	56.3	60.2	69.1	72.4
19時	43.8	49.1	-	64.4	72.0	65.5
20時	47.5	51.5	63.2	59.7	66.0	70.6
21時	44.1	45.0	54.6	60.4	71.0	66.1
22時	46.5	49.1	50.4	59.7	67.5	70.7
23時	46.1	51.9	-	59.4	70.0	63.8
0時	49.6	43.8	-	66.8	68.9	67.6
1時	47.7	45.3	-	67.5	68.9	75.6
2時	55.0	57.4	-	63.7	73.5	-
3時	46.1	47.5	-	61.6	73.9	71.4
4時	48.5	47.6	59.8	63.1	71.2	-
5時	50.8	44.1	70.7	63.2	71.9	75.5
6時	46.6	51.3	49.2	63.4	73.4	70.0
7時	32.0	35.3	49.0	58.3	71.9	57.9
8時	30.1	37.1	46.6	59.4	68.6	52.9
9時	41.6	40.0	49.9	58.9	70.5	59.6
10時	44.3	44.4	50.2	58.4	67.2	75.8
11時	47.4	46.9	57.4	62.8	68.1	81.4
12時	44.6	46.1	44.8	62.4	71.1	61.9
13時	43.7	46.0	50.6	63.0	70.0	64.4
14時	46.9	46.6	47.5	59.9	66.9	62.1
平均	44.7	46.0	54.1	61.7	70.0	67.7

表1.2-6(3) 平均走行速度調査結果（平日：No.3）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No. 3

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
15時	29.1	36.6	38.6	40.5	44.3	45.4
16時	27.9	33.9	27.3	38.3	41.7	54.5
17時	22.3	26.6	32.3	26.0	34.5	-
18時	30.5	30.1	42.3	31.9	38.8	54.2
19時	28.6	29.9	23.5	32.8	43.9	33.7
20時	23.4	27.0	32.7	29.0	33.5	24.8
21時	27.9	23.1	23.4	31.4	33.3	40.9
22時	29.6	30.5	35.8	44.2	37.1	41.8
23時	-	32.3	-	-	32.7	38.4
0時	26.8	30.7	-	-	33.2	31.2
1時	30.6	38.6	-	45.0	37.1	-
2時	33.0	32.9	-	31.2	35.3	-
3時	25.0	43.5	32.7	30.7	36.3	45.2
4時	25.9	33.0	-	32.9	40.7	-
5時	-	32.2	-	34.8	39.4	-
6時	29.9	29.0	37.2	40.5	40.6	33.8
7時	27.3	28.5	-	42.2	43.2	41.5
8時	24.1	35.3	42.1	24.5	36.3	34.1
9時	29.1	36.7	45.8	37.3	43.3	46.1
10時	30.3	34.8	35.1	40.9	38.0	-
11時	24.7	27.1	26.1	26.1	38.2	-
12時	31.6	31.6	42.6	40.9	42.2	-
13時	28.9	33.5	35.4	39.1	38.9	-
14時	24.6	23.6	26.7	30.2	33.6	30.5
平均	27.8	31.7	34.1	35.0	38.2	39.7

表1.2-6(4) 平均走行速度調査結果（平日：No.4）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No. 4

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
15時	46.8	40.5	33.6	54.8	53.4	58.6
16時	31.9	32.7	-	51.3	53.4	53.2
17時	32.8	32.4	40.5	47.4	46.9	-
18時	39.2	41.8	41.3	57.0	54.5	55.3
19時	36.7	34.5	37.8	53.9	55.6	-
20時	41.6	43.5	49.5	56.1	51.9	-
21時	47.2	43.3	52.7	48.8	61.8	-
22時	35.6	42.0	51.9	-	52.9	-
23時	44.6	50.0	51.3	63.6	61.2	-
0時	-	52.3	-	66.0	63.6	73.5
1時	37.7	49.3	-	53.3	61.0	-
2時	39.2	46.3	-	58.7	62.3	-
3時	47.4	50.0	44.8	67.5	60.4	53.9
4時	43.7	50.2	-	60.7	53.5	45.4
5時	43.9	42.8	-	55.1	53.8	-
6時	36.8	49.0	-	53.9	59.0	51.2
7時	38.3	41.4	47.4	53.4	51.9	55.0
8時	39.7	34.0	-	53.5	52.8	58.9
9時	41.5	43.7	-	55.2	54.0	-
10時	45.7	43.9	44.3	53.6	52.8	61.1
11時	32.6	38.8	33.3	57.1	54.7	52.3
12時	40.4	45.3	46.3	60.3	58.5	54.3
13時	40.1	42.8	44.9	54.2	52.1	54.3
14時	37.8	43.2	26.9	48.6	52.7	56.4
平均	40.1	43.1	43.1	55.8	55.6	55.9

表1.2-6(5) 平均走行速度調査結果（平日：No.2'）

測定日時：令和元年11月20日（水）15時～11月21日（木）15時

地点名：No. 2'

単位：km/h

調査 時間帯	上り方向			下り方向		
	大型車	小型車	二輪車	大型車	小型車	二輪車
15時	44.0	42.4	49.0	56.2	49.3	58.8
16時	40.9	41.0	45.8	44.7	46.6	55.4
17時	35.1	28.7	52.1	39.4	53.3	44.2
18時	42.6	42.7	45.5	49.8	54.2	54.1
19時	46.0	42.4	-	54.2	57.2	64.7
20時	44.8	40.0	41.9	52.9	54.8	54.5
21時	37.7	36.7	41.6	51.2	55.1	54.6
22時	41.9	41.2	46.5	51.6	54.3	58.0
23時	42.2	46.7	-	52.9	55.2	-
0時	38.5	42.5	-	53.5	54.0	47.5
1時	46.6	40.6	-	56.6	60.7	-
2時	40.2	48.5	-	52.7	53.8	45.0
3時	43.9	50.5	-	53.4	62.1	47.4
4時	39.5	46.3	40.9	49.8	58.3	-
5時	42.3	43.7	40.8	52.9	59.2	68.2
6時	44.2	44.0	45.8	54.8	55.4	56.9
7時	43.7	48.4	46.9	53.0	56.4	57.2
8時	42.8	46.0	48.0	53.9	54.7	62.5
9時	41.0	41.9	47.7	58.5	59.2	56.6
10時	43.7	47.5	48.9	57.5	48.3	42.7
11時	41.9	39.3	47.6	60.1	56.6	53.9
12時	45.3	44.8	52.3	59.2	59.7	54.8
13時	39.2	41.1	45.0	56.5	56.5	59.0
14時	39.5	44.4	57.4	56.3	56.7	46.6
平均	42.0	43.0	46.9	53.4	55.5	54.4



### 1.3 振動

#### (1) 時間別振動測定結果

表1.3-1(1) 時間別振動レベル (休日 : No.A)

測定日 : 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日) 12時

測定場所 : No. A

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	12	<25	<25	<25	<25	<25	28	55
	13	<25	<25	<25	<25	<25	42	
	14	<25	<25	<25	<25	<25	28	
	15	<25	<25	<25	<25	<25	35	
	16	<25	<25	<25	<25	<25	29	
	17	<25	<25	<25	<25	<25	29	
夜間	18	<25	<25	<25	<25	<25	57	50
	19	<25	<25	<25	<25	<25	47	
	20	<25	<25	<25	<25	<25	48	
	21	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
	22	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	62	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	25	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	27	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
昼間	5	<25	<25	<25	<25	<25	<25	55
	6	<25	<25	<25	<25	<25	26	
	7	<25	<25	<25	<25	<25	26	
	8	<25	<25	<25	<25	<25	26	
昼間	9	<25	<25	<25	<25	<25	32	55
	10	<25	<25	<25	<25	<25	34	
	11	<25	<25	<25	<25	<25	33	
昼間	平均	<25	<25	<25	<25	<25	34	X
	最高	<25	<25	<25	<25	<25	57	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	26	
夜間	平均	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	最高	<25	<25	<25	<25	<25	62	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	<25	

※平均値 $L_{vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「工場・事業場等に係る振動の規制基準 (第1種区域)」を当てはめた。

なお、学校等の周囲50mの区域内であることから5dB減じた値を基準値とした。

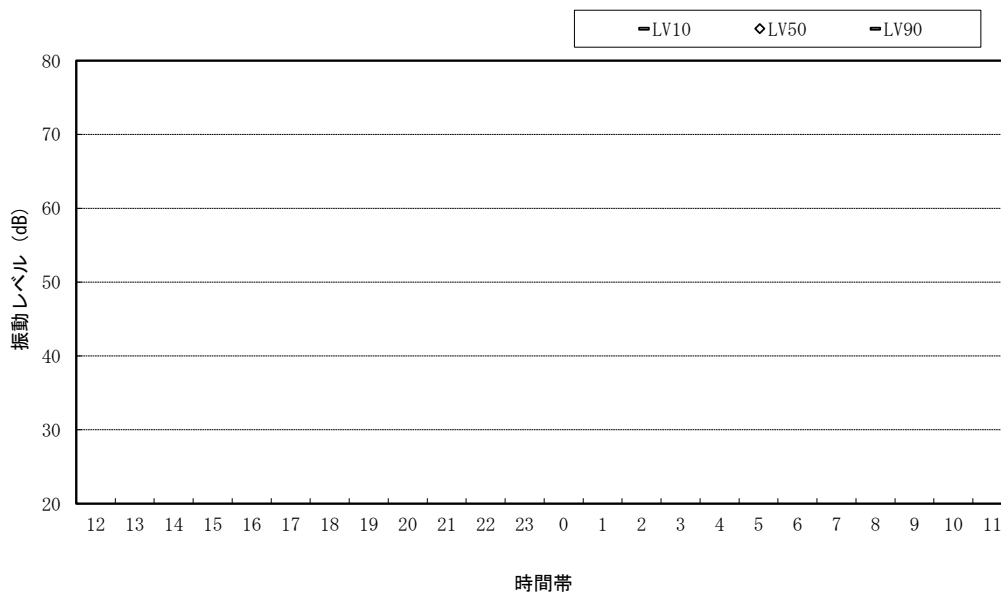


図2.3-1(1) 時間別振動レベル (休日 : No.A)

表1.3-1(2) 時間別振動レベル (休日 : No.1)

測定日 : 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日) 12時  
 測定場所 : No.1

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	12	29	26	<25	<25	<25	50	60
	13	27	<25	<25	<25	<25	40	
	14	26	<25	<25	<25	<25	47	
	15	27	<25	<25	<25	<25	53	
	16	25	<25	<25	<25	<25	49	
	17	<25	<25	<25	<25	<25	47	
夜間	18	25	<25	<25	<25	<25	55	55
	19	<25	<25	<25	<25	<25	47	
	20	25	<25	<25	<25	<25	50	
	21	<25	<25	<25	<25	<25	47	
	22	<25	<25	<25	<25	<25	35	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	35	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	31	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	34	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	32	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	43	
昼間	5	<25	<25	<25	<25	<25	40	60
	6	<25	<25	<25	<25	<25	43	
	7	<25	<25	<25	<25	<25	52	
	8	<25	<25	<25	<25	<25	43	
昼間	9	<25	<25	<25	<25	<25	43	60
	10	<25	<25	<25	<25	<25	44	
	11	<25	<25	<25	<25	<25	46	
昼間	平均	26	25	<25	<25	<25	47	X
	最高	29	26	<25	<25	<25	55	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	40	
夜間	平均	25	<25	<25	<25	<25	40	
	最高	<25	<25	<25	<25	<25	52	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	31	

※平均値 $L_{vx}$ は「算術平均」とする。  
 ※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第一種区域)」。  
 なお、学校等の周囲50mの区域内であることから5dB減じた値を基準値とした。

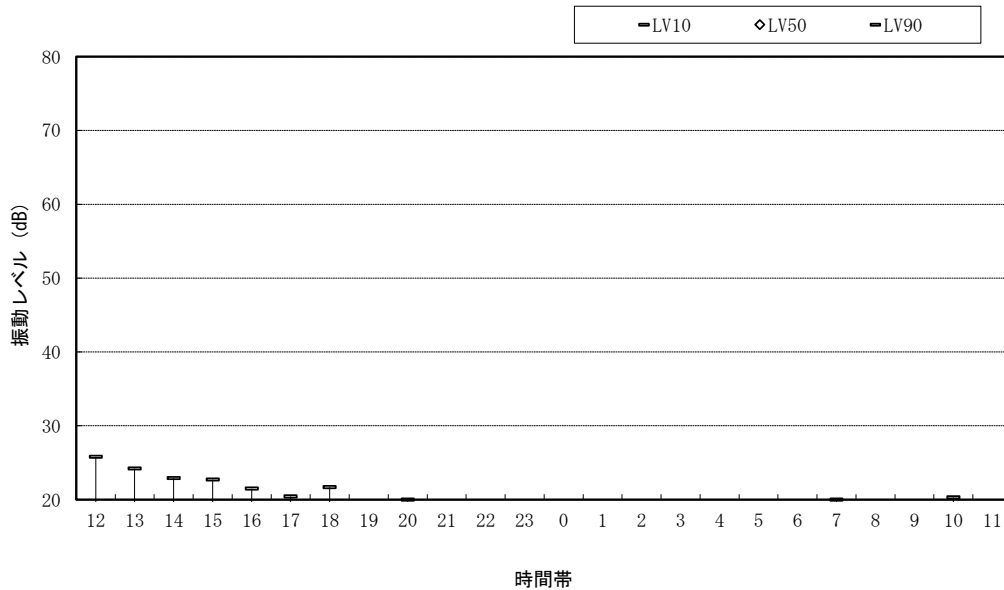


図1.3-1(2) 時間別振動レベル (休日 : No.1)

表1.3-1(3) 時間別振動レベル (休日 : No.2)

測定日 : 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日) 12時  
 測定場所 : No. 2

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	12	48	45	36	<25	<25	61	70
	13	49	45	36	25	<25	65	
	14	47	44	35	25	<25	62	
	15	47	44	36	25	<25	61	
	16	43	40	32	25	<25	64	
	17	46	44	36	<25	<25	64	
夜間	18	46	43	34	<25	<25	63	65
	19	45	42	30	<25	<25	60	
	20	44	41	29	<25	<25	59	
	21	43	40	26	<25	<25	62	
	22	42	39	<25	<25	<25	64	
	23	40	36	<25	<25	<25	58	
	0	38	34	<25	<25	<25	59	
	1	37	32	<25	<25	<25	57	
	2	35	29	<25	<25	<25	65	
	3	36	29	<25	<25	<25	57	
	4	37	30	<25	<25	<25	61	
昼間	5	40	36	<25	<25	<25	64	70
	6	43	39	<25	<25	<25	64	
	7	46	43	30	<25	<25	63	
	8	45	43	33	<25	<25	63	
昼間	9	46	43	33	<25	<25	60	70
	10	46	43	35	25	<25	64	
	11	46	43	35	<25	<25	87	
	平均	46	43	35	25	<25	65	
最高	49	45	36	25	<25	87		
最低	43	40	32	<25	<25	60		
平均	40	36	26	<25	<25	61		
最高	46	43	30	<25	<25	65		
最低	35	29	<25	<25	<25	57		

※平均値 $L_{vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第二種区域)」。

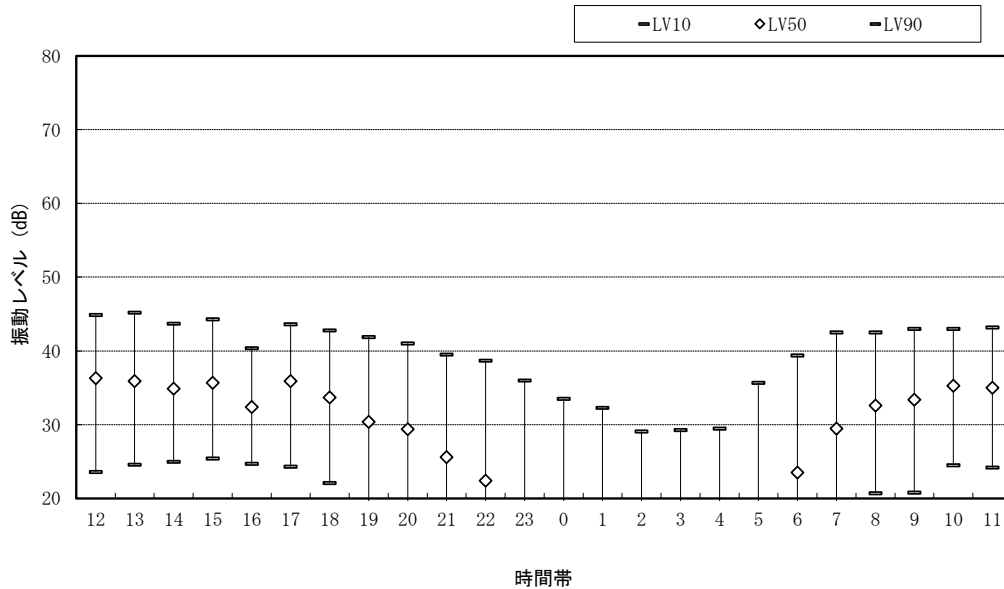


図1.3-1(3) 時間別振動レベル (休日 : No.2)

表1.3-1(4) 時間別振動レベル (休日: No.3)

測定日: 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日)12時  
 測定場所: No.3

単位: dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	12	37	35	<25	<25	<25	51	70
	13	37	34	<25	<25	<25	52	
	14	36	33	<25	<25	<25	50	
	15	36	34	<25	<25	<25	48	
	16	36	34	<25	<25	<25	51	
	17	35	33	<25	<25	<25	49	
夜間	18	37	34	<25	<25	<25	59	65
	19	34	31	<25	<25	<25	48	
	20	33	29	<25	<25	<25	48	
	21	32	29	<25	<25	<25	42	
	22	30	26	<25	<25	<25	45	
	23	26	<25	<25	<25	<25	41	
	0	25	<25	<25	<25	<25	49	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	45	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	49	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	40	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	46	
昼間	5	<25	<25	<25	<25	<25	37	70
	6	26	<25	<25	<25	<25	49	
	7	32	27	<25	<25	<25	49	
	8	33	30	<25	<25	<25	51	
昼間	9	35	32	<25	<25	<25	51	70
	10	35	33	<25	<25	<25	52	
	11	37	34	<25	<25	<25	52	
	平均	36	33	<25	<25	<25	51	
最高	37	35	<25	<25	<25	59		
最低	33	30	<25	<25	<25	48		
夜間	平均	28	26	<25	<25	<25	45	
	最高	34	31	<25	<25	<25	49	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	37	

※平均値 $L_{vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値: 「道路交通振動の要請限度(第二種区域)」。

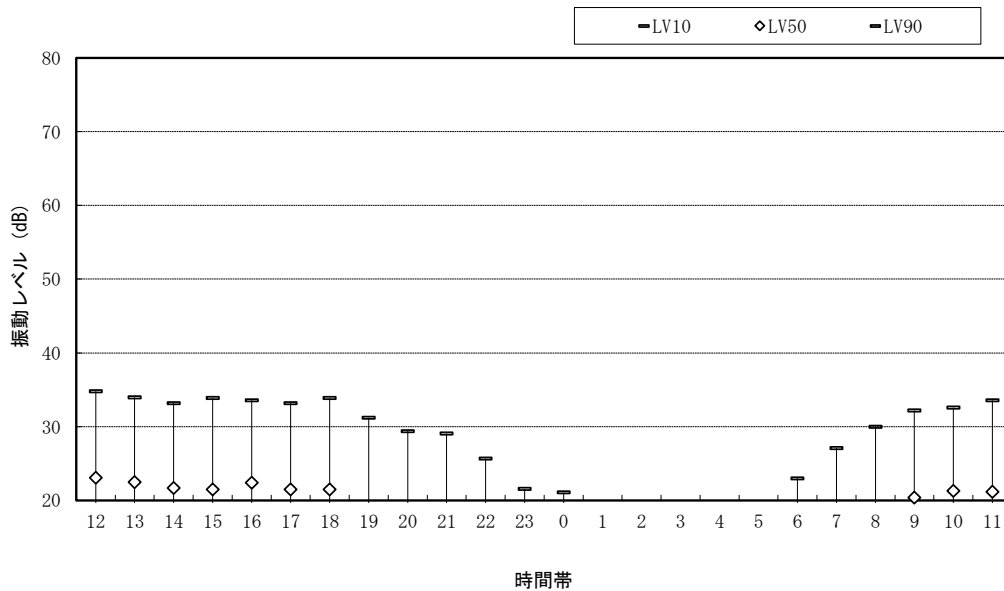


図1.3-1(4) 時間別振動レベル (休日: No.3)

表1.3-1(5) 時間別振動レベル (休日 : No.4)

測定日 : 令和元年11月16日(土)12時~令和元年11月17日(日) 12時

測定場所 : No. 4

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	12	<25	<25	<25	<25	<25	40	65
	13	<25	<25	<25	<25	<25	41	
	14	<25	<25	<25	<25	<25	37	
	15	<25	<25	<25	<25	<25	41	
	16	<25	<25	<25	<25	<25	41	
	17	<25	<25	<25	<25	<25	41	
夜間	18	<25	<25	<25	<25	<25	59	60
	19	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	20	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	21	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	22	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	45	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	32	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	29	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	33	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	33	
昼間	5	<25	<25	<25	<25	<25	28	65
	6	<25	<25	<25	<25	<25	43	
	7	<25	<25	<25	<25	<25	39	
	8	<25	<25	<25	<25	<25	37	
昼間	9	<25	<25	<25	<25	<25	34	65
	10	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	11	<25	<25	<25	<25	<25	85	
昼間	平均	<25	<25	<25	<25	<25	45	X
	最高	<25	<25	<25	<25	<25	85	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	34	
夜間	平均	<25	<25	<25	<25	<25	35	
	最高	<25	<25	<25	<25	<25	45	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	28	

※平均値 $L_{Vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第一種区域)」。

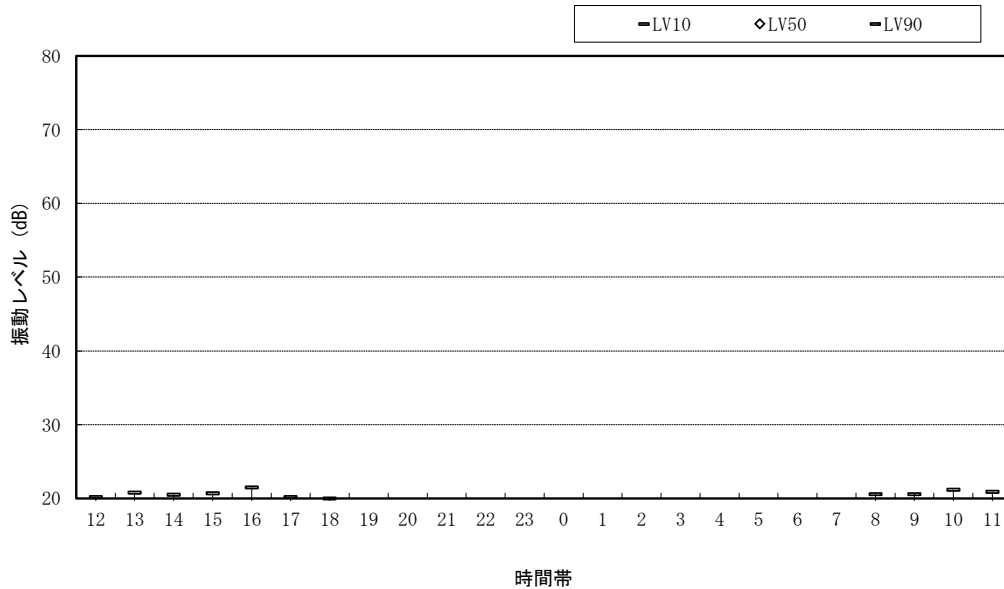


図1.3-1(5) 時間別振動レベル (休日 : No.4)

表1.3-2(1) 時間別振動レベル (平日 : No.A)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時  
 測定場所 : No. A

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	15	25	<25	<25	<25	<25	37	55
	16	25	<25	<25	<25	<25	32	
	17	26	25	<25	<25	<25	37	
	18	<25	<25	<25	<25	<25	37	
夜間	19	<25	<25	<25	<25	<25	34	50
	20	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	21	<25	<25	<25	<25	<25	43	
	22	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	<25	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	25	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	28	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	25	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	28	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	40	
昼間	5	<25	<25	<25	<25	<25	27	55
	6	<25	<25	<25	<25	<25	29	
	7	<25	<25	<25	<25	<25	35	
	8	<25	<25	<25	<25	<25	33	
	9	25	<25	<25	<25	<25	34	
	10	28	26	<25	<25	<25	36	
	11	29	27	<25	<25	<25	39	
夜間	12	28	26	<25	<25	<25	39	55
	13	25	<25	<25	<25	<25	42	
	14	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	平均	26	25	<25	<25	<25	36	
昼間	最高	29	27	<25	<25	<25	42	X
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	平均	<25	<25	<25	<25	<25	30	
夜間	最高	<25	<25	<25	<25	<25	43	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	<25	

※平均値 $L_{vx}$ は「算術平均」とする。  
 ※基準値 : 「工場・事業場等に係る振動の規制基準 (第1種区域)」を当てはめた。  
 なお、学校等の周囲50mの区域内であることから5dB減じた値を基準値とした。

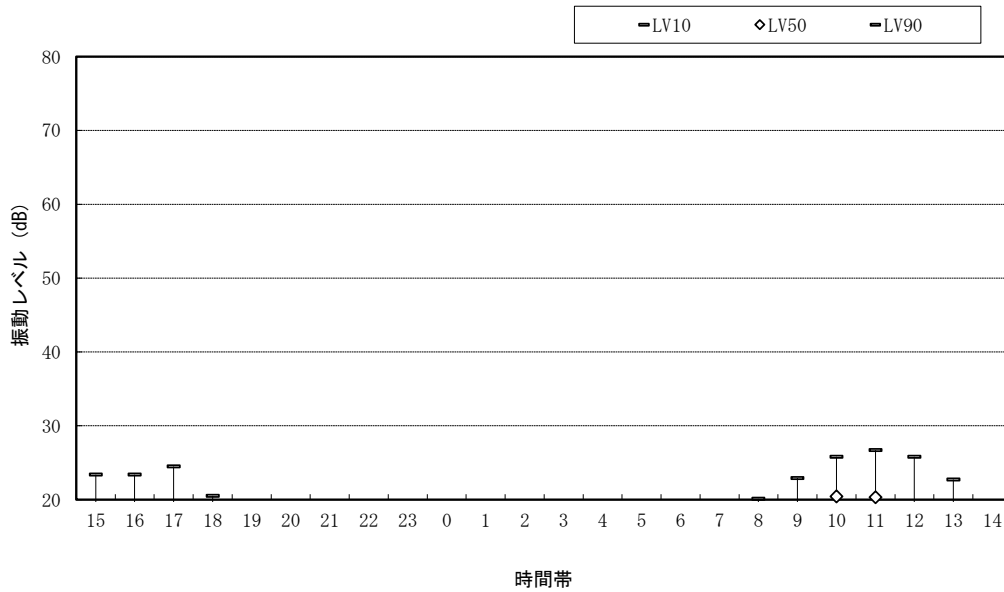


図1.3-2(1) 時間別振動レベル (平日 : No.A)

表1.3-2(2) 時間別振動レベル (平日 : No.1)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時

測定場所 : No.1

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	15	28	26	<25	<25	<25	45	60
	16	27	<25	<25	<25	<25	40	
	17	25	<25	<25	<25	<25	47	
	18	<25	<25	<25	<25	<25	42	
夜間	19	<25	<25	<25	<25	<25	39	55
	20	25	<25	<25	<25	<25	48	
	21	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	22	<25	<25	<25	<25	<25	35	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	34	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	34	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	4	25	<25	<25	<25	<25	40	
昼間	5	25	<25	<25	<25	<25	36	60
	6	28	25	<25	<25	<25	39	
	7	26	<25	<25	<25	<25	46	
	8	28	26	<25	<25	<25	51	
	9	29	27	<25	<25	<25	46	
	10	30	27	<25	<25	<25	40	
	11	30	27	<25	<25	<25	47	
昼間	12	29	26	<25	<25	<25	50	60
	13	28	26	<25	<25	<25	42	
	14	29	26	<25	<25	<25	46	
昼間	平均	28	26	<25	<25	<25	45	X
	最高	30	27	<25	<25	<25	51	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	40	
夜間	平均	25	25	<25	<25	<25	39	
	最高	28	25	<25	<25	<25	48	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	34	

※平均値 $L_{Vn}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第一種区域)」。

なお、学校等の周囲50mの区域内であることから5dB減じた値を基準値とした。

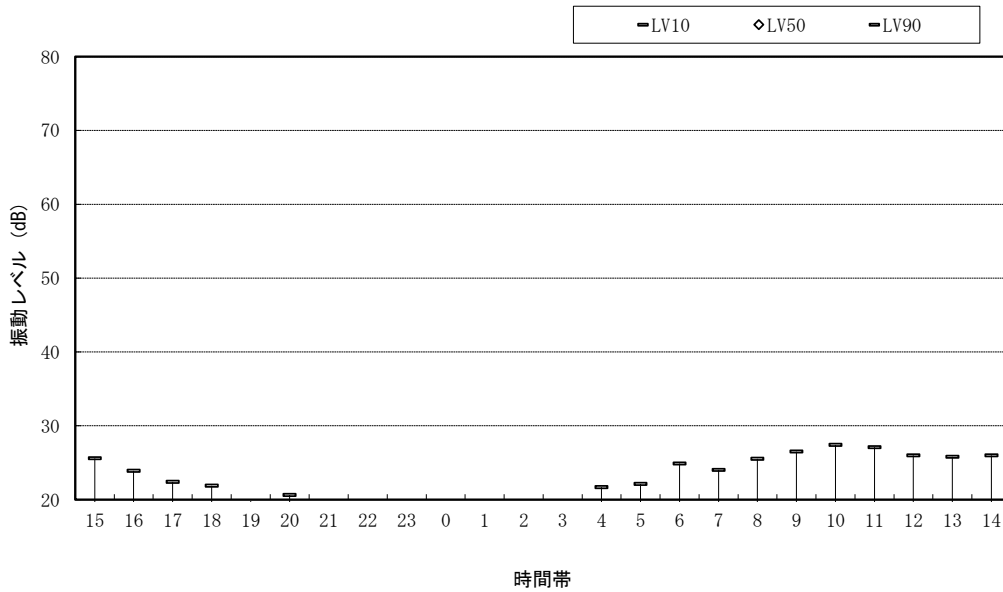


図1.3-2(2) 時間別振動レベル (平日 : No.1)

表1.3-2(3) 時間別振動レベル (平日 : No.2)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時  
 測定場所 : No. 2

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	15	51	47	37	<25	<25	62	70
	16	49	45	36	25	<25	61	
	17	47	44	36	<25	<25	62	
	18	46	43	34	<25	<25	67	
夜間	19	44	42	31	<25	<25	62	65
	20	44	41	28	<25	<25	66	
	21	43	40	25	<25	<25	62	
	22	42	39	<25	<25	<25	64	
	23	39	35	<25	<25	<25	63	
	0	39	33	<25	<25	<25	61	
	1	40	35	<25	<25	<25	64	
	2	39	33	<25	<25	<25	63	
	3	40	35	<25	<25	<25	62	
	4	44	38	<25	<25	<25	66	
	5	47	43	<25	<25	<25	63	
昼間	6	49	46	35	<25	<25	67	60
	7	41	39	32	25	<25	52	
	8	47	44	35	25	<25	60	
	9	52	48	37	25	<25	68	
	10	52	49	37	<25	<25	65	
	11	51	47	36	<25	<25	63	
	12	50	47	35	<25	<25	66	
昼間	13	52	48	37	<25	<25	69	60
	14	50	47	36	<25	<25	62	
昼間	平均	50	46	36	25	<25	64	X
	最高	52	49	37	25	<25	69	
	最低	46	43	34	<25	<25	60	
夜間	平均	42	38	27	25	<25	63	
	最高	49	46	35	<25	<25	67	
	最低	39	33	<25	<25	<25	52	

※平均値 $L_{Vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第二種区域)」。

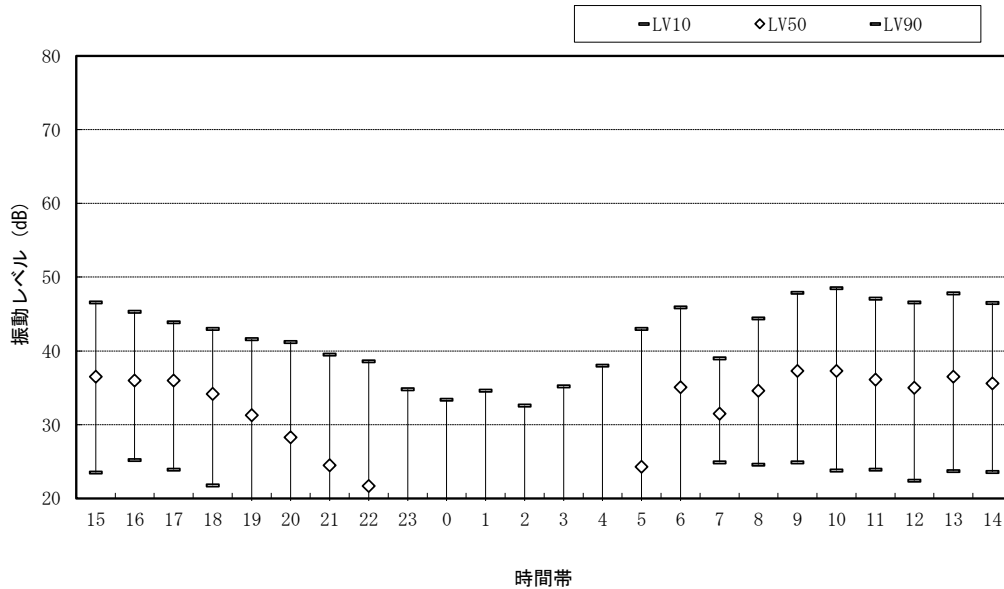


図1.3-2(3) 時間別振動レベル (平日 : No.2)



表1.3-2(4) 時間別振動レベル (平日 : No.3)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時  
 測定場所 : No. 3

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	15	36	33	<25	<25	<25	50	70
	16	37	34	<25	<25	<25	52	
	17	35	33	<25	<25	<25	49	
	18	36	33	<25	<25	<25	52	
夜間	19	35	33	<25	<25	<25	50	65
	20	34	31	<25	<25	<25	48	
	21	33	30	<25	<25	<25	48	
	22	30	26	<25	<25	<25	51	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	43	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	48	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	47	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	42	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	50	
	5	27	25	<25	<25	<25	50	
昼間	6	34	31	<25	<25	<25	52	70
	7	38	36	<25	<25	<25	54	
	8	36	33	<25	<25	<25	51	
	9	37	33	<25	<25	<25	52	
	10	36	33	<25	<25	<25	51	
	11	36	33	<25	<25	<25	53	
昼間	12	35	32	<25	<25	<25	50	70
	13	37	34	<25	<25	<25	51	
	14	37	33	<25	<25	<25	51	
	平均	36	33	<25	<25	<25	51	
昼間	最高	37	34	<25	<25	<25	53	X
	最低	35	32	<25	<25	<25	49	
	平均	29	28	<25	<25	<25	48	
夜間	最高	38	36	<25	<25	<25	54	
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	38	

※平均値 $L_{Vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第二種区域)」。

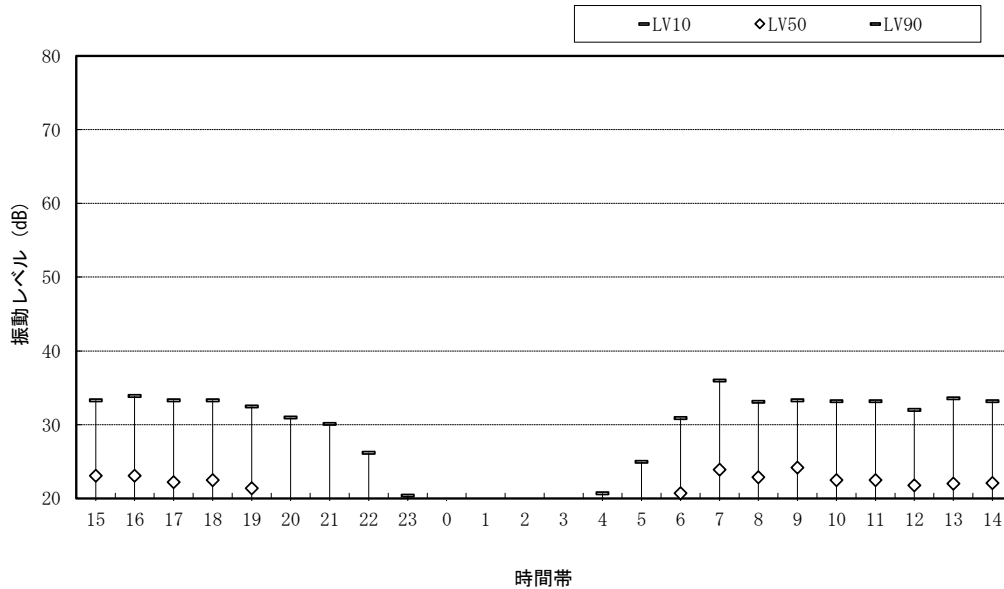


図1.3-2(4) 時間別振動レベル (平日 : No.3)

表1.3-2(5) 時間別振動レベル (平日 : No.4)

測定日 : 令和元年11月20日(水) 15時~令和元年11月21日(木) 15時

測定場所 : No. 4

単位 : dB

昼夜区分	時間帯	振動レベル						基準値
		$L_{V5}$	$L_{V10}$	$L_{V50}$	$L_{V90}$	$L_{V95}$	$L_{Vmax}$	
昼間	15	25	<25	<25	<25	<25	49	65
	16	26	<25	<25	<25	<25	41	
	17	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	18	<25	<25	<25	<25	<25	39	
夜間	19	<25	<25	<25	<25	<25	41	60
	20	<25	<25	<25	<25	<25	47	
	21	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	22	<25	<25	<25	<25	<25	37	
	23	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	0	<25	<25	<25	<25	<25	30	
	1	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	2	<25	<25	<25	<25	<25	32	
	3	<25	<25	<25	<25	<25	38	
	4	<25	<25	<25	<25	<25	40	
	5	<25	<25	<25	<25	<25	38	
昼間	6	<25	<25	<25	<25	<25	46	65
	7	25	<25	<25	<25	<25	41	
	8	26	<25	<25	<25	<25	44	
	9	25	<25	<25	<25	<25	41	
	10	25	<25	<25	<25	<25	40	
	11	25	<25	<25	<25	<25	40	
	12	<25	<25	<25	<25	<25	41	
昼間	13	25	<25	<25	<25	<25	39	65
	14	<25	<25	<25	<25	<25	39	
	平均	25	<25	<25	<25	<25	41	
昼間	最高	26	<25	<25	<25	<25	49	X
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	36	
	平均	25	<25	<25	<25	<25	38	
夜間	最高	25	<25	<25	<25	<25	47	X
	最低	<25	<25	<25	<25	<25	30	

※平均値 $L_{Vx}$ は「算術平均」とする。

※基準値 : 「道路交通振動の要請限度 (第一種区域)」。

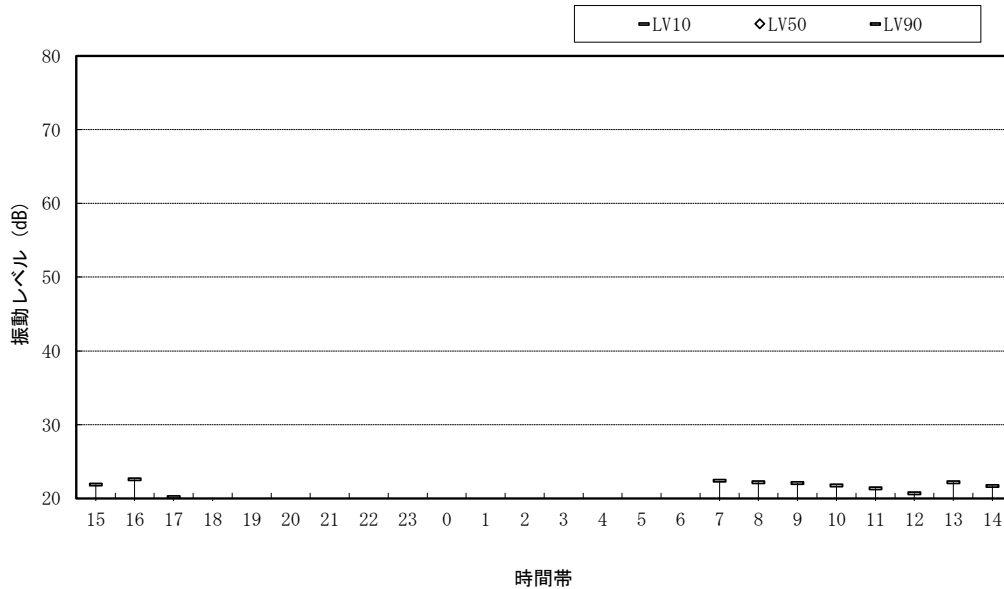


図1.3-2(5) 時間別振動レベル (平日 : No.4)

(2) 地盤卓越振動数測定結果

表1.3-3 地盤卓越振動数測定結果

測定場所	地盤卓越振動数 (Hz)	
	最大値が最も多い 中心周波数	最大値を示す 中心周波数の平均値
No. 1	25	23.6
No. 2	16	15.3
No. 3	20	20.2
No. 4	31.5	34.4

※計量法第71条の条件に合格した「振動レベル計」を使用して大型車の単独走行10台の振動加速度レベルを、測定器に備わっている演算機能を利用して周波数分析を行った。

## 1.4 水質（水の濁り）

表1.4-1 水質調査結果（晴天時）

地点名：No.1

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/5/13 9:50	2019/9/7 10:00	2019/11/1 7:24	2020/1/19 8:35
一般項目等	気温	℃	15.0	27.0	11.2	-2.0
	水温	℃	15.5	23.5	14.7	2.5
	透視度	度	50以上	43.0	46.5	50以上
	色相	-	無色	微黄褐色	微黄白色	なし
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	なし	なし	なし	なし
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.192	0.018	0.360	0.011
	平均流速	m/秒	0.093	0.071	0.235	0.045
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	5	5	1未満

地点名：No.2

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/5/13 12:15	2019/9/7 11:20	2019/11/1 11:16	2020/1/19 10:21
一般項目等	気温	℃	17.7	32.0	14.1	4.0
	水温	℃	18.3	23.7	15.2	2.3
	透視度	度	50以上	50以上	50以上	50以上
	色相	-	無色	なし	なし	なし
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	なし	なし	なし	なし
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.049	0.012	0.027	0.011
	平均流速	m/秒	0.350	0.112	0.118	0.055
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	6	8	2	1

地点名：No.3

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/5/13 10:10	2019/9/7 10:33	2019/11/1 8:26	2020/1/19 9:04
一般項目等	気温	℃	16.0	30.7	13.0	0.0
	水温	℃	15.7	24.5	14.6	2.5
	透視度	度	50以上	50以上	48.5	50以上
	色相	-	無色	微黄褐色	微白色	なし
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	なし	なし	なし	なし
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.166	0.016	0.380	0.014
	平均流速	m/秒	0.063	0.015	0.141	0.011
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	5	3	1未満

地点名：No.4

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/5/13 12:45	2019/9/7 12:00	2019/11/1 10:29	2020/1/19 10:48
一般項目等	気温	℃	22.0	32.0	21.2	7.0
	水温	℃	23.7	24.5	15.2	4.5
	透視度	度	50以上	50以上	50以上	50以上
	色相	-	無色	なし	なし	なし
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	なし	なし	なし	なし
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.001	0.006	0.044	0.014
	平均流速	m/秒	0.029	0.197	0.192	0.036
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	4	4	1	1未満

地点名：No.5

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/5/13 11:00	2019/9/7 13:14	2019/11/1 9:31	2020/1/19 11:30
一般項目等	気温	℃	22.0	28.2	18.2	7.5
	水温	℃	20.0	29.2	14.5	5.6
	透視度	度	5.5	50以上	50以上	50以上
	色相	-	褐色	なし	なし	なし
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	あり	なし	なし	なし
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.38	0.10	1.18	0.12
	平均流速	m/秒	0.230	0.083	0.265	0.179
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	51	3	3	2

表1.4-2 水質調査結果（降雨時）

地点名：No.1

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/4/25 9:30	2019/8/28 9:10	2019/9/9 11:36	2020/3/10 11:55
一般項目等	気温	℃	17.5	21.5	24.9	11.5
	水温	℃	11.5	24.2	23.5	8.7
	透視度	度	36	35.5	20.5	50以上
	色相	-	微褐色	黄褐色	微褐色	なし
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	ややあり	あり	あり	なし
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.153	0.087	0.021	0.062
	平均流速	m/秒	0.060	0.182	0.060	0.272
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	16	7	12	3

地点名：No.2

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/4/25 12:00	2019/8/28 8:23	2019/9/9 11:54	2020/3/10 13:46
一般項目等	気温	℃	19.5	21.7	24.8	11.5
	水温	℃	16.0	21.2	23.7	11.0
	透視度	度	50以上	10.5	13.5	10.0
	色相	-	微黄褐色	褐色	微黄褐色	微褐色
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	なし	あり	あり	あり
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.099	0.142	0.041	0.168
	平均流速	m/秒	0.605	0.584	0.275	0.571
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	9	65	36	47

地点名：No.3

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/4/25 10:40	2019/8/28 9:51	2019/9/9 13:00	2020/3/10 12:43
一般項目等	気温	℃	19.0	22.5	24.1	12.4
	水温	℃	15.3	23.3	25.3	9.3
	透視度	度	34.5	32.0	12.0	17.0
	色相	-	微褐色	微黄褐色	微黄褐色	微褐色
	臭気	-	なし	なし	土臭	なし
	濁り	-	ややあり	ややあり	あり	あり
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.075	0.103	0.281	0.190
	平均流速	m/秒	0.038	0.056	0.117	0.075
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	13	18	60	19

地点名：No.4

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/4/25 12:45	2019/8/28 7:34	2019/9/9 12:28	2020/3/10 14:58
一般項目等	気温	℃	21.0	22.0	24.0	11.5
	水温	℃	17.0	21.6	24.3	11.5
	透視度	度	46.0	15.5	11.3	4.0
	色相	-	微黄褐色	褐色	微黄褐色	褐色
	臭気	-	なし	なし	なし	なし
	濁り	-	なし	あり	あり	あり
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.008	0.150	0.313	0.505
	平均流速	m/秒	0.232	0.682	0.858	0.689
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	9	56	63	230

地点名：No.5

種別			春季	夏季	秋季	冬季
調査日			2019/4/25 13:40	2019/8/28 11:07	2019/9/9 14:00	2020/3/10 15:47
一般項目等	気温	℃	20.0	23.2	25.6	11.1
	水温	℃	18.2	22.2	24.3	11.0
	透視度	度	8.5	26.0	4.0	7.0
	色相	-	褐色	黄褐色	黄褐色	褐色
	臭気	-	なし	なし	土臭	なし
	濁り	-	あり	あり	あり	あり
	流量	m <sup>3</sup> /秒	0.37	0.71	1.56	1.10
	平均流速	m/秒	0.255	0.222	0.295	0.311
分析項目	浮遊物質量(SS)	mg/L	72	19	160	69

# 1.5 地形・地質（土地の安定性）

## (1) ボーリング調査結果

表1.5-1(1) 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験：No.1）

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査  
 事業名または工事名  
 調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子-地内	北緯	38° 16' 2.5"
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合	調査期間	平成30年11月29日～平成30年12月04日	東経	140° 45' 42.8"
調査業者名	昭和株式会社 電話(022-742-5303)	主任技師	屋 学	現場代理人	峰谷 菜穂子 登録番号 第21757号
孔口標高	H=111.85 m	方位		コア	峰谷 菜穂子 登録番号 第21757号
総削孔長	6.00 m	地盤勾配		ボーリング	藤右近 和義 登録番号 第07456号
		使用機器	試験機 TOHO D I エンジン キンマー MFD-10 ポンプ TOHO BG-3	鑑定者	

標尺 (m)	標高 (m)	深 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対湿度	相対密度	記	孔内水位 測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名 及び結果 ・現場透水試験	試験採取 深 (m)	採取 方法	室内 試験	
											N値	深 (m)	100mm以上の 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50 回の 貫入量						
1	111.15	0.70	砂質シルト	シルト					0.50mまで層終りである。以深は粘土層である。	11/30	100	1.15	26	21	50	150					
2			粘土部との砂礫	砂礫					層終り	11/30	250	2.15	50		50	60					
											2.21	60		60							
3									層終り	11/30	68	3.45	19	21	10	50	220	3.50			
													100	4.15	25	25	50	150	4.00		
4									層終り	11/30	115	5.15	32	18	50	130					
													130	6.45	43	7	50	110			
5																					
6	105.85	6.00																			
7																					

表1.5-1(2) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験 : No.2)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内	北緯	38° 16' 2.8"
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合	調査期間	平成30年11月30日～平成30年12月03日	東経	140° 45' 50.2"
調査業者名	昭和株式会社 電話(022-742-5303)	主任技師	星 学	現場代理人	峰谷 菜穂子 地質調査士 第21757号
孔口標高	H=410.33 m	角		コ	ア 鑑定者 峰谷 菜穂子 地質調査士 第21757号
総削孔長	7.00 m	方位		ボーリング責任者	鈴木 直人
		地盤勾配		試験機	TOHO D-1
				エンジン	ヤンマー NFD-10
				ポンプ	TOHO B6-3

標尺	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相	相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	採取番号	採取方法	管内試験	削孔月日	
											N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	50回の貫入量							
	410.83	0.50	砂質シルト	砂質シルト	シルト	暗灰色	密	密	黄緑土である。草根含む。粘土層中位である。上部に細粒分や多く混入する。φ5~60mm程度の亜角礫が主体である。所々にφ70~100mm位の玉石含む。地下水はやや豊富である。	11/30 2.10	34	1.15	8	10	28						
	409.63	0.70	シルト質細砂	シルト質細砂	シルト	暗灰色	密	密			100	2.15	24	26	50					11/30	
	407.83	2.90	粘土混じり砂礫	粘土混じり砂礫	シルト	暗灰色	密	密			500	3.00	50	50	50						
			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	シルト	暗灰色	密	密	全体に細粒分少量混入する。φ5~60mm程度の亜角礫が主体である。最大粒径φ90~150mm程である。礫や玉石は全てが硬質である。地下水はやや豊富である。		300	4.00	50		50	50					
					シルト	暗灰色	密	密			198	5.00	50		50	80					
	404.63	5.70	粘土混じり砂礫	粘土混じり砂礫	シルト	暗灰色	密	密	全体に細粒分混入する。φ10~80mm程度の亜角礫が主体である。所々にφ150mm程度の玉石含む。礫や玉石は全てが硬質である。地下水はやや多い。		79	6.00	24	26	50	190					12/1
	403.33	7.00	粘土混じり砂礫	粘土混じり砂礫	シルト	暗灰色	密	密			50	7.10	50		50	0				12/4	
					シルト	暗灰色	密	密				7.10	0		0						

表1.5-1(3) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験: No.3)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内	北緯	38° 16' 3.9"
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合	調査期間	平成30年12月10日～平成30年12月17日	東経	140° 46' 2.9"
調査業者名	昭和株式会社 電話(022-742-5303)	主任技師	星 学	現場 株主 業穂子 代表者 昭和建設社 第21757号	コア 株主 業穂子 認定者 昭和建設社 第21757号
ボーリング 加藤 哲也 資格番号 第17250号	試験機	TOHO D-1-C48R		ポンプ	TOHO BG-3CR
使用機種	エンジン		ヤンマー TF-120M		
孔口標高	H=107.39 m	角		方位	
総削孔長	22.00 m	度	0°	位	180°

標尺	高さ	深	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対	相対	記	孔内水位/測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験採	室内	孔
											N	深	100mm	200	50				
									地表面0.30m付近まで農耕土である。比較的均質である。含水多し。全体に不均質である。下部にφ5mm程度の軽石を含む。	12/10 2.25	0	100	200	300					
1	106.49	0.90	砂礫じり粘土	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			1.00	0	1	1					
2	106.04	1.35	砂質シルト質砂	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			1.45	350	120	450					
3	105.44	1.95	砂質シルト質砂	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			2.15	11	11	33					
4			玉石混じり砂礫	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	細粒分全体に少量混入する。φ5~40mm程度の角礫~角礫を主体とする。碎々にφ80~120mm程度の玉石を含む。礫や玉石は全て硬質である。地下水はやや豊富である。		2.15	17	20	13	50	260			
5			玉石混じり砂礫	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			3.20	17	20	13	50	260			
6	100.74	6.65	粘土質砂礫	黄褐色	黄褐色	黄褐色	黄褐色	黄褐色	客地に細粒分多く混入する。φ5~20mm程度の角礫主体である。φ20~7.40mm程度の角礫が多く混入する。φ5~40mm程度の角礫主体である。φ20~8.55mm程度のφ300mm程度の玉石である。		4.15	12	14	18	41				
7	99.89	7.50	粘土質砂礫	黄褐色	黄褐色	黄褐色	黄褐色	黄褐色			4.42	12	14	18	41				
8	98.54	8.85	玉石混じり砂礫	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			5.20	20	19	11	50	250			
9			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	客地に細粒分多く混入する。φ5~20mm程度の角礫主体である。φ20~7.40mm程度の角礫が多く混入する。φ5~40mm程度の角礫主体である。φ20~8.55mm程度のφ300mm程度の玉石である。		5.15	16	17	18	50	280			
10			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			6.15	16	17	18	50	280			
11			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	客地に細粒分多く混入する。φ5~20mm程度の角礫主体である。φ20~7.40mm程度の角礫が多く混入する。φ5~40mm程度の角礫主体である。φ20~8.55mm程度のφ300mm程度の玉石である。		6.43	16	17	18	50	280			
12			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			7.45	2	1	1	4				
13			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	客地に細粒分多く混入する。φ5~20mm程度の角礫主体である。φ20~7.40mm程度の角礫が多く混入する。φ5~40mm程度の角礫主体である。φ20~8.55mm程度のφ300mm程度の玉石である。		7.46	150	60	310					
14	92.94	14.45	風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			8.15	16	35	50					
15			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	客地に細粒分多く混入する。φ5~20mm程度の角礫主体である。φ20~7.40mm程度の角礫が多く混入する。φ5~40mm程度の角礫主体である。φ20~8.55mm程度のφ300mm程度の玉石である。		8.28	30	30	130					
16	90.54	16.85	風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			9.15	4	5	5	14				
17			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	10.70mまで基水掘削した。これを掘り残した状態である。全体に半固結状である。炭化物を所々に少量含む。φ20~7.40mm程度の角礫を多量に混入する。細粒の中に軟質な軽石混入する。軽石は乳白色である。		9.15	6	9	0	24				
18			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			10.45				300				
19			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			11.15				300				
20			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			11.48	6	9	10	25				
21			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			12.16				300				
22	85.39	22.00	風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	細粒の中に軟質な軽石混入する。軽石は乳白色である。		12.16	7	10	11	28				
23			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			13.45	7	9	9	25				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			14.15	7	11	12	30				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			14.45				300				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			15.00				300				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	部分的に風化している。固結度は全体に良好である。基水掘削にて円筒~長楕円状コアになる。		15.20				200				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			16.15	10	11	12	33				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			16.45				300				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			17.15	14	20	16	50	260			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			17.11	11	18	18	50	290			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	全体に固結度良好である。18.00m付近までは粗砂~細砂を主体で火山凝灰岩状である。基水掘削にて長い棒状コアになる。亀裂は少なく新鮮な面状状態である。		18.18	11	18	18	50	290			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			18.44	14	18	18	50	290			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			19.15				300				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			19.44				300				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			20.15	15	23	12	50	240			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			20.39				40	240			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			21.00				40	240			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			21.21				40	240			
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			22.00	20	30	50	190				
			風化火山凝灰岩	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色	赤褐色			22.19				190				



表1.5-1(4) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験: No.6)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査  
 事業名または工事名  
 調査目的及び調査対象 土地造成 掘削地盤

ボーリング名 No.6	調査位置 宮城県仙台市青葉区下愛子 地内		北緯 38° 16' 7.2"	
発注機関 仙台市愛子土地区画整理組合	調査期間 平成30年11月26日～平成30年12月03日		東経 140° 46' 3.2"	
調査業者名 昭和株式会社 電話 (022-742-5303)	主任技師 昂 学	現場代理人 鎌谷 菜穂子 昭和公司 第21757号	コア 鎌谷 菜穂子 昭和公司 第21757号	ボーリング責任者 加藤 利也 昭和公司 第17250号
孔口標高 H 106.85 m	角	方位	地盤勾配	使用機種 TOHO D-1-C49R
総引孔長 14.00 m				ポンプ TOHO BG-3CR

標尺 (m)	標高 (n)	深さ (n)	現場土質名 (機械)	現場土質名 (質)	地機材料の工学的分類	色相対対照	目録	記	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名及び結果・現場透水試験	試験料採取番号	採取方法	室内試験
										深さ (n)	0	100	200	50回の貫入量 (n)					
1	106.80	0.25	砂質シルト	シルト	シルト	黄褐色	細砂	境界上である。ゆるい層状。含水量中位である。上層土層と混ざれる。含水量多く、1.14m付近から少量の砂が混入する。	11/26 1.14	1.15	1	1	3						
2	105.26	0.90	シルト質粘土	シルト質粘土	シルト質粘土	黄褐色	シルト質粘土	含水量が多い。ふるふる40mm位の塊状の塊状である。80%程度の含水量を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		2.15	9	9	13	31					
3	105.75	1.10	シルト質粘土	シルト質粘土	シルト質粘土	黄褐色	シルト質粘土	含水量が多い。ふるふる40mm位の塊状の塊状である。80%程度の含水量を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		2.45	9	9	13	31					
4	106.30	1.20	シルト質粘土	シルト質粘土	シルト質粘土	黄褐色	シルト質粘土	含水量が多い。ふるふる40mm位の塊状の塊状である。80%程度の含水量を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		3.15	8	9	9	26	3.00				
5	103.25	3.50	硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		3.25	26	24	30	190					
6	101.65	5.80	硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		4.33	30	30	180						
7	98.20	8.80	硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		5.15	20	18	12	50	260				
8	97.65	9.20	硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		6.15	13	13	11	37	200				
9	97.05	9.20	硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		6.45	13	13	11	37	200				
10	92.85	14.00	硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		7.15	21	20	9	50	210				
11			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		7.39	40	40	240						
12			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		8.15	8	7	6	21					
13			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		8.45	30	30	180						
14			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		9.00	20	30	30	200					
15			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		9.20	20	30	30	200					
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		10.00	10	19	21	50	270				
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		10.27	70	70	270						
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		11.00	16	24	10	50	230				
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		11.25	30	30	230						
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		12.00	50	50	80						
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		12.08	80	80							
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		13.00	36	11	50	140					
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		13.14	40	40	140						
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		14.00	38	12	50	130					
			硬質シルト	硬質シルト	硬質シルト	黄褐色	硬質シルト	ふるふる40mm位の塊状の塊状である。ふるふる100～200mm位の塊状の塊状を有する。全体に細粒分が混入する。比較的低含水量である。		14.13	30	30	130						

表1.5-1(5) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験: No.7)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査  
 事業名または工事名 仙台市愛子土地区画整理組合  
 調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.7	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内	北緯	38° 16' 11.9"
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合	調査期間	平成30年12月27日～平成31年01月09日	東経	140° 45' 10.2"
調査業者名	昭和株式会社 電話(022-742-5303)	主任技師	星 学	現場代理人	株谷 菜穂子 地質調査士 第21757号
孔口標高	H=109.31 m	方角	北緯 30° 東経 30°	コア	株谷 菜穂子 地質調査士 第21757号
総削孔長	8.00 m	地盤勾配	0°	ボーリング責任者	加藤 哲也 地質調査士 第17250号
		使用機種	試験機 TOHO D-1-C48R エンジン ヤンマー TF-120M ポンプ TOHO BG-3CR		

標尺	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 調 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名 及び結果 ・現場透水試験	採取 番号	採取 方法	室内 試験	削孔 月 日	
										N 値	深 度 (m)	100mm 之 の打撃回数	打撃 こととの貫入 量							
1	108.91	0.40	練瓦じり 粘土質砂	練瓦じり 粘土質砂	砂質粘土	黄色	中位の	最表土である。 0.8m付近までは有礫質である。 非常に含水多し。φ5~20mm 程度の礫円礫含む。	1.7 1.55	5	1.15	1	2	2	5				12/28	
2	108.31	1.00	練瓦じり 砂質	練瓦じり 砂質	砂質粘土	黄色	中位の			43	2.45	10	11	22	43					
3	107.76	1.55	練瓦じり 砂質	練瓦じり 砂質	砂質粘土	黄色	中位の			52	3.15	14	18	18	50	290				
4			練瓦じり 砂質	練瓦じり 砂質	砂質粘土	黄色	中位の	全体に細粒分や多く混入する。 地下水豊富である。 φ5~50mm程度の礫円礫-埋田 礫を伴う。最大礫径φ80 ~100mm程度である。礫や玉石 はやや既質~硬質なものが多 い。産物は安山岩質なものが主 体である。		79	4.15	18	22	30	50	190	4.00			1.7
5			練瓦じり 砂質	練瓦じり 砂質	砂質粘土	黄色	中位の			62	5.15	15	19	17	50	290	4.50			
6			練瓦じり 砂質	練瓦じり 砂質	砂質粘土	黄色	中位の			65	6.15	18	26	6	50	230				
7			練瓦じり 砂質	練瓦じり 砂質	砂質粘土	黄色	中位の			100	7.15	14	36	50	150					
8	101.71	7.60	火山礫層 灰岩	火山礫層 灰岩	火山礫層	灰色	硬質	土質は水や風化腐蝕により 固結度が低い。膨水傾向可 能である。		136	8.00	45	5	50	110				1.8	
9	101.31	8.00									8.11	10	130							

表1.5-1(6) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験: No.8)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査  
 事業名または工事名  
 調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.8	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内			北緯	38° 16' 11.7"			
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合			調査期間	平成30年12月23日～平成30年12月27日			東経	140° 46' 55.7"	
調査業者名	昭和株式会社		主任技師	星 学	現場代理人	峰谷 菜穂子 地質調査士 第21757号	コア 認定者	峰谷 菜穂子 地質調査士 第21757号	ボーリング責任者	加藤 哲也 地質調査士 第17250号
孔口標高	H=108.02 m		角		方位		地盤勾配		試験機	TOHO D-1-C48R
総削孔長	6.00 m		度		使用機種	エンジン	ヤンマー TP-120M	ポンプ	TOHO BG-3CR	

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対湿度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名及び結果 ・現場透水試験	採取	室内	前	
											N	深 度 (m)	100mm以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量						
	107.72 107.52	0.30 0.50		粒径10mm以上の丸石を含む粗砂	粗砂				砂質シルトからなる黒褐色で、0.200mm程度の土石である。	12/26 1.35	→ 75	1.15 1.35 2.15	28 32 14	22 4 32	50 200 450	200 220					12/25
1				粒径10mm以上の丸石を含む砂	砂				全体に細粒分混入する。下部に伴い細粒分が多くなる。		→ 68	2.37 3.15	14 20	4 16	50 200	220					
2				粒径10mm以上の丸石を含む砂	砂				5~50mm程度の歪角鋭～歪角鈍が主体である。		→ 54	3.43 4.15	14 16	20 21	16 50	200 270					
3				粒径10mm以上の丸石を含む砂	砂				40mmから100～150mm程度の歪角鋭～歪角鈍を含む。		→ 56	4.42 5.15	16 28	21 22	13 70	50 270	4.00				
4				粒径10mm以上の丸石を含む砂	砂				砂や粘土は全て観察される。土石は安山岩質なものが多い。		→ 107	5.15 6.00	28 40	22 10	22 140	270 140	4.50				
5				粒径10mm以上の丸石を含む砂	砂				1.50m付近から層中に若干濁水があった。		→ 68	6.00 6.26	22 18	10 50	10 260	140 260					
6	102.02	6.00		粒径10mm以上の丸石を含む砂	砂				また地下水が豊富になる。												
7																					

表1.5-1(7) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験 : No.9)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査  
 事業名または工事名  
 調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.9	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内	北緯	38° 16' 11.4"
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合		調査期間	平成31年01月09日～平成31年01月12日	
調査業者名	昭和株式会社	主任技師	星 学	現場代理人	秋田 愷志
電話	(022-742-5303)	方	北緯	東経	140° 46' 3.2"
角	180°	位	270°	東経	140° 46' 3.2"
度	0°	度	180°	東経	140° 46' 3.2"
孔口標高	H=106.64 m	地盤勾配	使用機種	試験機	東邦製 D-1型
総削孔長	6.00 m	位置	エンジン	ポンプ	東邦製 BG-3型

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相	対 照	相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名及び結果	採取番号	採取方法	室内試験	前 月 日					
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量											
1	106.14	0.50	細粒砂	細粒砂	砂	黄褐色	密	密	密	無砂土である。 上部0.50m付近まで(注)細粒土が多く混入する。下部は含水多くなる。φ5~30mm位の粗粒土が主体である。	1/9 6.80	→	1.15	10	20	50	300										
2	105.14	1.50	粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	1.45	10	20	50	300										
3			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密	全体に細粒分やや多く混入する。地下水豊富である。φ5~40mm位の粗粒土が主体である。最大粒径はφ80~100mm程である。礫や玉石は混入している。礫は安山岩質なのが主体である。		→	2.15	50	60	60	60										
4			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	2.21	60	60	60	60										
5			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	3.15	23	27	50	200										
6	100.64	6.00	粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	3.35	30	20	50	150	4.00									
			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	4.30	30	20	50	150	1.50									
			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	4.90	28	22	50	190										
			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	5.15	28	30	50	230										
			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	5.34	20	20	10	50	250									
			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	6.15	20	20	10	50	250									
			粗粒砂	粗粒砂	砂	暗灰色	密	密	密			→	6.40	20	20	10	50	250									

表1.5-1(8) 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験: No.10)

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.10	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内	北緯	38° 16' 15.2"
発注機関	仙台市愛子地区画整理組合		調査期間	平成30年12月18日~平成30年12月20日	
調査業者名	昭和株式会社	主任技師	星学	現場代理人	株谷 菜穂子 国土調査士 第21757号
電話	022-742-5303		コ	ア	株谷 菜穂子 国土調査士 第21757号
ボーリング名			ボーリング責任者	加藤 哲也 国土調査士 第17250号	
孔口標高	H=107.44 m	角			
総削孔長	6.00 m	方			
		地盤勾配			
		試験機	TOHO D-1-C48R		
		エンジン	サンマール TF-120M		
		ポンプ	TOHO BG-3CR		

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	相対湿度	相対密度	記号	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名及び結果	採取深度 (m)	採取番号	採取方法	室内試験	削孔日
									N値	深さ (m)	100mm以上の打撃回数	50回以上の貫入量	自沈時の貫入量							
107.24	0.20	砂質粘土	砂質粘土	粘粉質シルト																
107.04	0.10	標準上り砂質粘土	標準上り砂質粘土	粘粉質シルト																
		手掘り砂層	手掘り砂層	粘粉質シルト																
				粘粉質シルト																

表1.5-1(9) 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験：No.11）

調査名 (仮称) 愛子地区土地区画整理事業に伴う地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 構造物基礎

ボーリング名	No.11	調査位置	宮城県仙台市青葉区下愛子 地内	北緯	
発注機関	仙台市愛子土地区画整理組合	調査期間	平成31年04月24日～平成31年04月24日	東経	
調査業者名	昭和株式会社 電話(022-742-5303)	主任技師	星 学	現場代理人	鎌谷 菜穂子 *国土院登録第21757号
ボーリング		コ	ア	ボーリング	秋田 栞志
鑑定者		鑑定者		第21757号	
孔口標高		角	方	地盤勾配	使用機種
総削孔長	5.00 m	度	位		試験機 TOHO D-1-C4SR ジン ヤシマー TP-120M ポンプ TOHO BG-3CR

標高	層厚	現場土質名(標準)	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	記号	記号	孔内水位/測定年月日	標準貫入試験		新原位置試験	試験採取	室内試験
									N値	深さ			
4.24		発生土	埋戻し	褐色			4/24 L.82	100	0	発生土 L=0.5m	無孔管 VP50	L=2m	
3.80	0.20	川底土(有機質土)	埋戻し	褐色				100	100	ベントナイトベレット L=0.5m			
3.60	0.20	正石を主とする砂礫	埋戻し	褐色				200	200	珪砂 3号 L=4m			
3.40	0.20							300	300	有孔管 VP50 L=4m			

1.6 植物

(1) 現地調査結果

表1.6-1(1) 確認された植物種(1)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				備考
					早春	春	夏	秋	
シダ植物門									
1	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	ホソバトウゲシバ	<i>Huperzia serrata</i> var. <i>serrata</i>					
2	トクサ	トクサ	スキナ	<i>Equisetum arvense</i>	●	●	●	●	
3	ゼンマイ	ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>		●	●	●	
4	ウラボシ	コバノイシカグマ	ウラボシ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>		●	●	●	
5		イノモトソウ	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>				●	
6		ヒメシダ	ハリガネウラボシ	<i>Thelypteris japonica</i>			●	●	
7			ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i>			●	●	
8			ミソシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>			●	●	
9				<i>Onoclea orientalis</i>				●	
10		コウヤウラビ	コウヤウラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>			●	●	
11			クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i>			●	●	
12		シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>			●	●	
13		メシダ	イヌウラボシ	<i>Anisocampium niponicum</i>			●	●	
14			ヤマイヌウラボシ	<i>Athyrium vidalii</i>			●	●	
15			ホソバシケシダ	<i>Deparia conilii</i>	●	●	●	●	
16			シケシダ	<i>Deparia japonica</i>			●	●	
17			キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>			●	●	
18		オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>			●	●	
19			ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>olivicola</i>			●	●	
20			ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>fortunei</i>			●	●	
21			ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i>	●	●	●	●	
22			ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>	●	●	●	●	
23			クマウラボシ	<i>Dryopteris lacina</i>			●	●	
24			ミヤマイタチシダ	<i>Dryopteris sabaei</i>				●	
25			オクマウラボシ	<i>Dryopteris uniformis</i>	●	●			
26			イワシロイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>	●				
種子植物門・裸子植物亜門									
27	マツ	マツ	モミ	<i>Abies firma</i>	●	●	●	●	
28			カラマツ	<i>Larix kaempferi</i>			●	●	補栽・逸出
29			アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	●	●	●	●	
30	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>			●	●	補栽・逸出
31			スキ	<i>Cryptomeria japonica</i> var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	補栽・逸出
32			メタセコイア	<i>Metasequoia glyptostroboides</i>	●	●	●	●	補栽・逸出
33		イチイ	カヤ	<i>Torreya nucifera</i> var. <i>nucifera</i>			●	●	
種子植物門・被子植物亜門									
34	シキミ	マツブサ	マツブサ	<i>Schisandra repanda</i>	●	●	●	●	
35	センリョウ	センリョウ	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus quadrifolius</i>			●	●	
36			フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>			●	●	
37	コショウ	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	●	●	●	●	
38		ウマノズクサ	トウゴクサイシン	<i>Asarum tokiense</i>	●	●	●	●	
39	モクレン	モクレン	コブシ	<i>Magnolia kobus</i>			●	●	
40			ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i>	●	●	●	●	
41	クスノキ	クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>			●	●	
42			クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>umbellata</i>	●		●		
種子植物門・被子植物亜門・単子葉類									
43	ショウブ	ショウブ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>				●	
44			セキショウ	<i>Acorus gramineus</i> var. <i>gramineus</i>				●	
45	オモダカ	サトイモ	カントウマムシグサ	<i>Arisaema serratum</i>			●	●	
46			アオウキクサ	<i>Lemna auvikusa</i> ssp. <i>auvikusa</i>			●	●	
47			ウキクサ	<i>Spirodela polyrrhiza</i>			●	●	
48			ヒメザゼンソウ	<i>Symplocarpus nipponicus</i>	●	●			
49		オモダカ	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>			●	●	
50		トチカガミ	ミスオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>			●	●	重要種
51		ヒルムシロ	オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i>			●	●	
52	ヤマノイモ	ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>			●	●	
53			ウチワドコロ	<i>Dioscorea nipponica</i>			●	●	
54			オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>			●	●	
55	ユリ	シュロソウ	シヨウジヨウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis</i> var. <i>orientalis</i>			●	●	
56			ツクハネソウ	<i>Paris tetraphylla</i>	●	●	●	●	
57			エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i>	●	●			
58			アオヤギソウ	<i>Veratrum maackii</i> var. <i>parviflorum</i>			●	●	
59		イヌサフラン	チヨウリ	<i>Disporum smlacinum</i>	●	●	●	●	
60		サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>	●	●	●	●	
61			タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>			●	●	
62			ヤマカシュウ	<i>Smilax sieboldii</i>			●	●	
63		ユリ	オオウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> var. <i>glehnii</i>	●	●	●	●	
64			ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>			●	●	
65			ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>			●	●	
66	クサスギカズラ	ラン	ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>			●	●	
67			サイハイラン	<i>Cremastra variabilis</i>	●		●	●	
68			シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>	●		●	●	
69		アヤマ	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i>			●	●	重要種
70			シャガ	<i>Iris japonica</i>			●	●	補栽・逸出
71			キシウブ	<i>Iris pseudacorus</i>			●	●	帰化植物
72		ススキノキ	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>	●	●	●	●	
73		ヒガンバナ	ノビル	<i>Allium macrostemon</i>	●	●	●	●	
74			ニラ	<i>Allium tuberosum</i>			●	●	補栽・逸出
75		クサスギカズラ	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i>			●	●	
76			ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>			●	●	
77			マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i>			●	●	
78			ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> var. <i>umbrosus</i>			●	●	
79			オモト	<i>Rhodea japonica</i>	●	●	●	●	補栽・逸出
80	ヤシ	ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>			●	●	補栽・逸出
81	ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ	<i>Camellia communis</i>			●	●	
82			イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>			●	●	
83		ミズアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>			●	●	
84	ショウガ	ショウガ	ミヨウガ	<i>Zingiber mioga</i>			●	●	補栽・逸出
85	イネ	ガマ	ミクリ属の一種	<i>Sparganium</i> sp.			●	●	
86			ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i>	●		●	●	
87			ガマ	<i>Typha latifolia</i>			●	●	
88		イグサ	イグサ	<i>Juncus decipiens</i>	●	●	●	●	
89			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>			●	●	
90			ヌカホシソウ	<i>Luzula plumosa</i>			●	●	
91			カササゲ	<i>Carex dispalata</i>			●	●	
92			タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>	●	●	●	●	
93			アセサゲ	<i>Carex thunbergii</i>	●	●	●	●	
94			スゲ属の一種	<i>Carex</i> sp.			●	●	
95			ヒメグサ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leioplepis</i>			●	●	
96			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>			●	●	
97			ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>			●	●	
			コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>			●	●	

表1.6-1(2) 確認された植物種(2)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				備考		
					早春季	春季	夏季	秋季			
種子植物門・被子植物亜門・単子葉類											
98	イネ	カヤツリグサ	カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>			●	●			
99			カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>					●		
100			クログワイ	<i>Eleocharis kurogawai</i>						●	
101			イヌホタルイ	<i>Schoenoplectella juncooides</i>						●	
102			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetus</i>						●	
103			イネ	コスカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>						●
104				スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>amurensis</i>						●
105				ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	●	●				
106				コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>						●
107				トアシバ	<i>Arundinella hirta</i>						●
108				イヌムキ	<i>Bromus catharticus</i>						●
109				キツネガヤ	<i>Bromus remotiflorus</i>						●
110				ヤマアワ	<i>Calamagrostis epigeios</i>						●
111				カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	●	●				
112				メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>						●
113				イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>						●
114				オヒシバ	<i>Elyusine indica</i>						●
115				アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i>						●
116				シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	●	●				
117				カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>						●
118				コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>						●
119				ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>						●
120				ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>						●
121				チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	●	●				
122				チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>						●
123				ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>						●
124				アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>						●
125				オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	●	●				
126				ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	●	●				
127				コチヂミザサ	<i>Opilismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>						●
128				ケチヂミザサ	<i>Opilismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>						●
129				イネ	<i>Oryza sativa</i>						●
130				ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>						●
131				オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>						●
132				スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>						●
133				チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>						●
134				クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>	●	●				
135				オオアワガエリ	<i>Phleum pratense</i>						●
136				ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	●	●				
137				ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>						●
138				マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>	●	●				
139				アスマネザサ	<i>Piptotachys chino</i>	●	●				
140				ウルスズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> var. <i>reptans</i>	●	●				
141				チナハグサ	<i>Poa pratensis</i>	●	●				
142				イチコツナギ	<i>Poa sphondyliodes</i>						●
143				オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>						●
144				アスマザサ	<i>Sasaella ramosa</i>	●	●				
145				オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	●	●				
146				アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>						●
147				キンエノコロ	<i>Setaria pumilla</i>						●
148				エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>						●
149				ムラサキエノコロ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i> f. <i>misera</i>						●
150				チギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>myuros</i>						●
151				マコモ	<i>Zizania latifolia</i>						●
152	シバ	<i>Zoysia japonica</i>							●		
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類											
153	キンボウゲ	ケシ		クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> ssp. <i>asiaticum</i>	●	●				
154				ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>	●	●				
155				タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>						●
156			アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>	●	●				
157				ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>	●	●				
158			ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>	●	●				
159				メギ	<i>Berberis thunbergii</i>	●	●				
160			キンボウゲ	ルイヨウボタン	<i>Caulophyllum robustum</i>	●	●				
161				イカリソウ	<i>Epidemum grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	●	●				
162				ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> var. <i>flaccida</i>	●	●				
163				キクザキイチゲ	<i>Anemone pseudoaltaica</i> var. <i>pseudoaltaica</i>	●	●				
164				アスマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i>	●	●				
165				オオバシヨウマ	<i>Cimicifuga japonica</i> var. <i>macrophylla</i>	●	●				
166				ボタンツル	<i>Clematis apiifolia</i>	●	●				
167				コボタンツル	<i>Clematis apiifolia</i> var. <i>biernata</i>	●	●				
168				トリガタハンショウツル	<i>Clematis tosaensis</i>	●	●				
169				ケクツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>						●
170			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>						●	
171			ヤマモガシ	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i>					●	
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類・バラ上類											
172			ユキノシタ	マンサク	マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> var. <i>japonica</i>					●
173					ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i> var. <i>macropodum</i>					
174	ユキノシタ	<i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>congesta</i>								●	
175	ヤグルマソウ	<i>Rodgersia podophylla</i>								●	
176	ベンケイソウ	コモチマンネグサ	<i>Sedum bulbiferum</i>						●		
177		ツルマンネグサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	●	●						
178	ブドウ	ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>					●		
179			ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>						●	
180			ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i>						●	
181			エビツル	<i>Vitis ficifolia</i>						●	
182			サンカクツル	<i>Vitis flexuosa</i>						●	
183			マメ	マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>					●
184	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> var. <i>julibrissin</i>								●	
185	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>								●	
186	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i>								●	
187	ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>								●	
188	スズビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> ssp. <i>oxyphyllum</i> var. <i>japonicum</i>								●	
189	マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>								●	
190	ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>								●	
191	ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> var. <i>bicolor</i>								●	
192	メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>								●	
193	クズ	<i>Pueraria lobata</i> ssp. <i>lobata</i>	●	●							
194	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	●	●							
195	クズダマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i>						●			
196	コメツツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>						●			
197	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	●	●							
198	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	●	●							



表1.6-1(3) 確認された植物種(3)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				備考
					早春季	春季	夏季	秋季	
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類・バラ上類									
199	マメ	マメ	ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> ssp. <i>nigra</i>	●	●			
200			カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>				●	
201			ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>				●	
202			ワジ	<i>Wisteria floribunda</i>	●			●	
203	バラ	クロウメモドキ	クマヤナギ	<i>Borchemia racemosa</i>		●	●	●	
204			クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>				●	
205		ニレ	ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> var. <i>japonica</i>		●	●		
206			アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i>		●	●		
207			ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>	●	●	●	●	
208		アサ	エゾエノキ	<i>Celtis jessoensis</i>		●	●		
209			エノキ	<i>Celtis sinensis</i>		●	●	●	
210			カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> var. <i>cordifolius</i>	●	●	●		重要種
211			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>		●	●	●	
212		クワ	ヒメウツグ	<i>Broussonetia monoica</i>		●	●	●	
213			ヤマグワ	<i>Morus australis</i>		●	●	●	
214		イラクサ	クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i>			●		
215			ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>			●		
216			カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>concolor</i>			●	●	
217			アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>			●		
218			ウラボミソウ	<i>Elatostema involucreatum</i>			●	●	
219			ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i>			●		
220			ミヤマイラクサ	<i>Laportea cuspidata</i>			●		
221			アオミズ	<i>Pilea pumila</i>			●	●	
222			エゾイラクサ	<i>Urtica platyphylla</i>			●		
223		バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> var. <i>japonica</i>	●		●		
224			ウラジロノキ	<i>Aria japonica</i>			●	●	
225			チョウジザクラ	<i>Cerasus apetala</i> var. <i>tetsuyae</i>			●	●	
226			ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura</i> var. <i>jamasakura</i>			●	●	
227			カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i>	●	●			
228			オオヤマザクラ	<i>Cerasus sargentii</i> var. <i>sargentii</i>			●		
229			ソメイヨシノ	<i>Cerasus x yedoensis</i>	●	●			補載・逸出
230			ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i>	●	●	●	●	補載・逸出
231			ダイコンソウ	<i>Gaem japonicum</i>			●		
232			ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>	●	●	●	●	
233			オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i>			●	●	
234			コゴメウツギ	<i>Neillia incisa</i>	●	●	●	●	
235			ウワミズザクラ	<i>Padus grayana</i>	●	●	●	●	
236			オヘビイチゴ	<i>Potentilla anemonifolia</i>	●	●	●	●	
237			ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centigrana</i>	●	●	●	●	
238			ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebllichigo</i>	●	●	●	●	
239			ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>	●	●	●	●	
240			カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>	●	●	●	●	
241			ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>	●	●	●	●	
242			クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>	●	●	●	●	
243			ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>	●	●	●	●	
244			モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>	●	●	●	●	
245			チウシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>		●	●		
246			ウレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>			●	●	
247	ブナ	ブナ	クリ	<i>Castanea orenata</i>		●	●	●	
248			イヌブナ	<i>Fagus japonica</i>	●				重要種
249			コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>		●	●	●	
250		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	●	●	●	●	
251		カバノキ	サウシバ	<i>Carpinus cordata</i> var. <i>cordata</i>		●	●	●	
252			クマシデ	<i>Carpinus japonica</i>			●	●	
253			アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	●	●	●	●	
254			イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>			●	●	重要種
255			ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> var. <i>heterophylla</i>			●	●	
256			ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>	●	●	●	●	
257	ウリ	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> var. <i>pentaphyllum</i>			●	●	
258			アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>			●	●	帰化植物
259			スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>			●	●	
260	ニシキギ	ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>			●	●	
261			ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i>			●	●	
262			コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>			●	●	
263			ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>fortunei</i>	●	●	●	●	
264			ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>			●	●	
265			マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>	●				
266	カタバミ	カタバミ	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>				●	帰化植物
267			カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>			●		
268			オツタチカタバミ	<i>Oxalis dilleni</i>			●	●	帰化植物
269	キントラノオ	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>			●	●	
270			コニシキノウ	<i>Euphorbia maculata</i>			●	●	帰化植物
271			オオニシキノウ	<i>Euphorbia nutans</i>			●	●	帰化植物
272			アカメガシフ	<i>Mallotus japonicus</i>			●	●	
273			シラキ	<i>Neoshirakia japonica</i>			●	●	
274		ヤナギ	ハッコヤナギ	<i>Salix caprea</i>			●	●	
275			シロヤナギ	<i>Salix dolichostyla</i>			●	●	
276			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>			●	●	
277			オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>			●	●	
278		スミレ	アリアケスミレ	<i>Viola betonicifolia</i> var. <i>albescens</i>	●				
279			エイザンスミレ	<i>Viola eizanensis</i>	●	●			
280			ダチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>grypoceras</i>	●	●			
281			ナガハシスミレ	<i>Viola rostrata</i> var. <i>japonica</i>	●	●			重要種
282			ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>verecunda</i>	●		●		
283			マキノスミレ	<i>Viola violacea</i> var. <i>makinoi</i>			●	●	
284	フウロソウ	フウロソウ	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	●	●	●	●	
285	フトモモ	アカバナ	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>			●		
286			チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> ssp. <i>epilobioides</i>			●	●	
287			メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	●	●	●	●	帰化植物
288	ミツバウツギ	ミツバウツギ	ミツバウツギ	<i>Staphylea bumalda</i>	●	●	●	●	
289			キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>	●	●	●	●	
290	ムクロジ	ウルシ	スルシ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>			●	●	
291			ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> ssp. <i>orientale</i>			●	●	
292			ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i>			●	●	
293		ムクロジ	ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>matsumurae</i>			●	●	
294			ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i>			●	●	
295			カジカエデ	<i>Acer diabolicum</i>			●	●	
296			ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i>			●	●	
297			エンコウカエデ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>dissectum</i>			●	●	
298			アカイタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>mayrii</i>	●	●	●	●	
299			オニタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>pictum</i> f. <i>ambiguum</i>	●	●	●	●	
300			ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i>			●	●	
301			コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i>			●	●	

表1.6-1(4) 確認された植物種(4)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				備考
					早春	春季	夏季	秋季	
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類・バラ上類									
302	ムクロジ	ミカン	コクサギ	<i>Orixa japonica</i>	●	●	●	●	
303			カラサザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> var. <i>ailanthoides</i>	●	●	●	●	
304			サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	●	●	●	●	
305			イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> var. <i>schinifolium</i>	●	●	●	●	
306		ニガキ	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	●	●	●	●	帰化植物
307	アブラナ	アブラナ	ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	●	●	●	●	
308			ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>	●	●	●	●	帰化植物
309			タネツケバナ	<i>Cardamine occulta</i>	●	●	●	●	
310			オオバタネツケバナ	<i>Cardamine regeliana</i>	●	●	●	●	
311			マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	●	●	●	●	帰化植物
312			オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>	●	●	●	●	帰化植物
313			イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>	●	●	●	●	
314			スカシタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i>	●	●	●	●	
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類・キク上類									
315	ビャクダン	ビャクダン	ツクバネ	<i>Buckleya lanceolata</i>	●	●	●	●	
316	ナデシコ	タデ	ソバ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	●	●	●	●	播栽・逸出
317			イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	
318			ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>	●	●	●	●	
319			オオイタドリ	<i>Fallopia sachalinensis</i>	●	●	●	●	
320			ミスヒキ	<i>Persicaria filliformis</i>	●	●	●	●	
321			ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>	●	●	●	●	
322			シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	
323			サナエタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>incana</i>	●	●	●	●	
324			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>lapathifolia</i>	●	●	●	●	
325			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>	●	●	●	●	
326			ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i>	●	●	●	●	
327			タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i>	●	●	●	●	
328			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>	●	●	●	●	
329			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>	●	●	●	●	
330			ミソソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>	●	●	●	●	
331			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>aviculare</i>	●	●	●	●	
332			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>	●	●	●	●	
333			ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> ssp. <i>pyrenaicus</i>	●	●	●	●	帰化植物
334			アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>	●	●	●	●	帰化植物
335			ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>	●	●	●	●	帰化植物
336			エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	●	●	●	●	帰化植物
337		ナデシコ	ノミノツツリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i> var. <i>serpyllifolia</i>	●	●	●	●	
338			オランダミミナグサ	<i>Corastium glomeratum</i>	●	●	●	●	帰化植物
339			ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>	●	●	●	●	
340			フシグロセンノウ	<i>Stilene miqueliana</i>	●	●	●	●	
341			ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	●	●	●	●	
342			コハコベ	<i>Stellaria media</i>	●	●	●	●	帰化植物
343			ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>	●	●	●	●	
344			ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> var. <i>undulata</i>	●	●	●	●	
345		ヒユ	ヒナタイノコツチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>	●	●	●	●	
346			イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i>	●	●	●	●	
347			シロサ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>album</i>	●	●	●	●	
348	ヤマゴボウ	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>	●	●	●	●	帰化植物
349	スベリヒユ	スベリヒユ	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>	●	●	●	●	
350	ミズキ	ミズキ	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> f. <i>macrophyllum</i>	●	●	●	●	
351			ミズキ	<i>Cornus controversa</i> var. <i>controversa</i>	●	●	●	●	
352			ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> ssp. <i>kousa</i>	●	●	●	●	
353			クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>	●	●	●	●	
354		アジサイ	ツルアジサイ	<i>Calyptanthe petiolaris</i>	●	●	●	●	
355			ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>	●	●	●	●	
356			ノリウツギ	<i>Heteromalla paniculata</i>	●	●	●	●	
357			バイカウツギ	<i>Philadelphus satsumi</i>	●	●	●	●	
358			イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>	●	●	●	●	
359	ツツジ	ツツジ	ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i>	●	●	●	●	
360			カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> var. <i>kaki</i>	●	●	●	●	播栽・逸出
361			オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>	●	●	●	●	
362			コナズビ	<i>Lysimachia japonica</i>	●	●	●	●	
363			ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>	●	●	●	●	
364			ハイノキ	<i>Symplocos sawafutagi</i>	●	●	●	●	
365			エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>	●	●	●	●	
366			マタタビ	<i>Actinidia arguta</i> var. <i>arguta</i>	●	●	●	●	
367			マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>	●	●	●	●	
368		リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>	●	●	●	●	
369			ホツツジ	<i>Elliottia paniculata</i>	●	●	●	●	
370		ツツジ	アブラツツジ	<i>Erkianthus subsessilis</i> var. <i>subsessilis</i>	●	●	●	●	
371			イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	
372			ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>	●	●	●	●	
373			バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i>	●	●	●	●	
374			トウゴクミツバツツジ	<i>Rhododendron wadanum</i>	●	●	●	●	重要種
375			アケシバ	<i>Vaccinium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>	●	●	●	●	
376			ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i>	●	●	●	●	
377	アオキ	アオキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	
378	リンドウ	アカネ	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>	●	●	●	●	
379			ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>	●	●	●	●	
380			ツルアリドオシ	<i>Mitcheilla undulata</i>	●	●	●	●	
381			ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>	●	●	●	●	
382			アカネ	<i>Rubia argyi</i>	●	●	●	●	
383		リンドウ	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>	●	●	●	●	
384		キョウチクトウ	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>	●	●	●	●	
385			ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	●	●	●	●	帰化植物
386	ナス	ヒルガオ	ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i>	●	●	●	●	
387			マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>	●	●	●	●	帰化植物
388		ナス	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i>	●	●	●	●	
389			アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i>	●	●	●	●	帰化植物
390	ムラサキ	ムラサキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i>	●	●	●	●	
391			ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i>	●	●	●	●	帰化植物
392	ムラサキ	ムラサキ	コンフリー	<i>Symphytum x uplandicum</i>	●	●	●	●	帰化植物
393			キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>	●	●	●	●	
394	シソ	モクセイ	アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>serrata</i>	●	●	●	●	
395			マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	●	●	●	●	
396			イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i> ssp. <i>obtusifolium</i>	●	●	●	●	
397			ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>	●	●	●	●	播栽・逸出
398		オオハコ	ホソバウンラン	<i>Linaria vulgaris</i>	●	●	●	●	帰化植物
399			オオハコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>	●	●	●	●	
400			ヘラオオハコ	<i>Plantago lanceolata</i>	●	●	●	●	帰化植物
401			タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	●	●	●	●	帰化植物
402			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	●	●	●	●	帰化植物
403	ゴマノハグサ		ヒロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i>	●	●	●	●	帰化植物

表1.6-1(5) 確認された植物種(5)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				備考			
					早春季	春季	夏季	秋季				
種子植物門・被子植物亜門・真正双子葉類・キク上類												
404	シソ	アゼナ	アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i>			●					
405			タケトアゼナ	<i>Lindernia sp.</i>			●			帰化植物		
406			シソ	シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica var. japonica</i>		●	●	●		
407					ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i>			●	●		
408					クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>		●	●	●		
409					クルマバナ	<i>Clinopodium coreanum ssp. coreanum</i>			●	●	●	
410					テンニンソウ	<i>Comanthosphaea japonica</i>			●	●	●	
411					カキドオシ	<i>Glechoma hederacea ssp. grandis</i>		●	●	●	●	
412					ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>			●	●	●	
413					ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		●	●		●	帰化植物
414					ラショウモンカズラ	<i>Meehania urticifolia</i>			●			
415					ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>				●	●	
416			イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i>					●			
417			キバナアキギリ	<i>Salvia nipponica var. nipponica</i>		●	●	●				
418			サギゴケ	サギゴケ	ムラサキシキブ	<i>Mazus niqellii</i>		●	●	●		
419					トキウハゼ	<i>Mazus pumilus</i>		●	●	●		
420			ハエドクソウ	ハエドクソウ	ハエドクソウ	<i>Phryma nana</i>		●	●	●		
421					キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>			●	●	●	
422			モチノキ	モチノキ	ハナイカダ	<i>Hemilingia japonica ssp. japonica var. japonica</i>		●	●	●		
423					イヌツゲ	<i>Ilex crenata var. crenata</i>			●	●	●	
424					アオハダ	<i>Ilex macrospora</i>			●	●	●	
425	ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>					●					
426	キク	キキョウ	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla var. japonica</i>			●	●				
427			ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>			●					
428			ミゾカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>			●	●	●			
429			キク	キク	オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia var. subapoda</i>		●	●	●		
430					キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>			●	●	●	
431					オオボタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>			●	●	●	帰化植物
432					カワラヨモギ	<i>Artemisia capillaris</i>		●	●	●	●	
433					ヨモギ	<i>Artemisia indica var. maximowiczii</i>		●	●	●	●	
434					イヌヨモギ	<i>Artemisia keiskeana</i>				●	●	
435					ユウガキク	<i>Aster linumae</i>				●		
436	シロヨメナ	<i>Aster leiophyllus var. leiophyllus</i>							●			
437	フロンギク	<i>Aster microcephalus var. ovatus</i>							●			
438	シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>							●			
439	オケラ	<i>Atractylodes ovata</i>				●	●	●				
440	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>			●	●	●	●	帰化植物			
441	コシロノセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. minor</i>					●	●	帰化植物			
442	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. pilosa</i>					●	●	帰化植物			
443	タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>					●	●				
444	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>					●	●				
445	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>				●	●	●	帰化植物			
446	ヤクシソウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i>				●	●					
447	タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i>					●	●	帰化植物			
448	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolius var. hieracifolius</i>					●	●	帰化植物			
449	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>		●	●	●	●	●	帰化植物			
450	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>		●	●	●	●	●	帰化植物			
451	オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i>			●	●	●	●	帰化植物			
452	オオヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi var. oppositifolium</i>					●	●				
453	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>					●	●	帰化植物			
454	キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>					●	●	帰化植物			
455	キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i>					●	●				
456	フタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>					●	●	帰化植物			
457	ニガナ	<i>Ixeridium dentatum ssp. dentatum</i>					●	●				
458	ハナニガナ	<i>Ixeridium dentatum ssp. nipponicum var. albiflorum</i>					●	●				
459	オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i>		●	●	●	●	●				
460	イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i>					●	●				
461	アキノノゲシ	<i>Lactuca indica var. indica</i>					●	●				
462	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>					●	●	帰化植物			
463	チガハノコウヤボウキ	<i>Pertya glabrescens</i>					●	●				
464	オヤリハグマ	<i>Pertya trilobata</i>		●	●	●	●	●				
465	フキ	<i>Petasites japonicus var. japonicus</i>		●	●	●	●	●				
466	コウソリナ	<i>Picris hieracioides ssp. japonica var. japonica</i>		●	●	●	●	●				
467	ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i>		●	●	●	●	●				
468	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>		●	●	●	●	●	帰化植物			
469	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>		●	●	●	●	●	帰化植物			
470	アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea ssp. asiatica var. asiatica</i>		●	●	●	●	●				
471	オキノゲシ	<i>Sonchus asper</i>		●	●	●	●	●	帰化植物			
472	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>					●	●				
473	ヤブレガサ	<i>Symeilesis palmata</i>		●	●	●	●	●				
474	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>		●	●	●	●	●	帰化植物			
475	エソタンポポ	<i>Taraxacum venustum ssp. venustum</i>		●	●	●	●	●				
476	アオオニタビラコ	<i>Youngia japonica ssp. elstonii</i>		●	●	●	●	●				
477	アオオニタビラコ	<i>Youngia japonica ssp. japonica</i>		●	●	●	●	●				
478	セリ	ウコギ	タラノキ	<i>Aralia elata</i>		●	●	●	●			
479			コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadaphylloides</i>			●	●	●	●		
480			ヤマウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus var. spinosus</i>			●	●	●	●		
481			タカノツメ	<i>Gamblea innovans</i>			●	●	●	●		
482			キツタ	<i>Hedera rhombea</i>		●	●	●	●	●		
483			ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>			●	●	●	●		
484			オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>		●	●	●	●	●		
485			ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus ssp. septemlobus</i>			●	●	●	●		
486			トチバニンジン	<i>Panax japonicus</i>			●					
487			ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>		●						
488	シヤク	<i>Anthriscus sylvestris</i>			●							
489	ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>		●	●	●	●	●				
490	セリ	<i>Oenanthe javanica ssp. javanica</i>		●	●	●	●	●				
491	ヤマセリ	<i>Ostericum sieboldii</i>		●	●							
492	カノツメソウ	<i>Spuriopimpinella calycina</i>		●	●	●	●	●				
493	オヤブシラミ	<i>Tarlis scabra</i>			●							
494	マツムシソウ	ガマズミ	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa ssp. sieboldiana var. sieboldiana</i>		●	●	●	●			
495			ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>		●	●	●	●	●		
496			オトコヨウソメ	<i>Viburnum phiboticum</i>			●	●	●	●		
497			ヤブデマリ	<i>Viburnum dilatatum var. tomentosum</i>			●	●	●	●		
498			ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii var. wrightii</i>			●	●	●	●		
499		スイカズラ	スイカズラ	ツクハネウツギ	<i>Abelia spathulata var. spathulata</i>			●	●	●		
500				ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes var. glabra</i>			●	●	●	●	
501				スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>		●	●	●	●	●	
502				オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>			●	●	●	●	
503				タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>			●				
-	49目	118科		503種	164種	320種	334種	326種				

表1.6-2(1) 植生調査票(No.1)

No.	調査地	(海拔)	134	m
1	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾・適湿・過湿	(面積) 2 x 2 m <sup>2</sup>
			(出現種数)	6 種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	ヤハズソウ	0.3	100		
V コケ層					

(群落名)		ヤハズソウ群落				調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S
1	IV	5・5	ヤハズソウ				
2		2・2	コブナグサ				
3		+	クズ				
4		+	オオアレチノギク				
5		+	メドハギ				
6		+	ムラサキツメクサ				
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

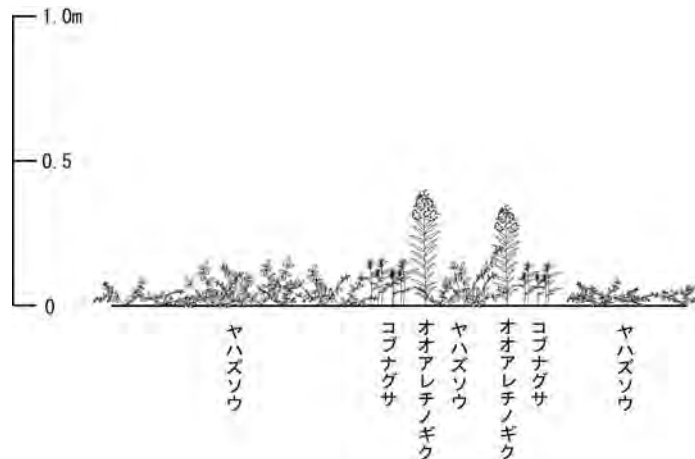


図1.6-1(1) 植生断面図(No.1)

表1.6-2(2) 植生調査票(No.2)

No.	調査地	(海拔)	123	m
2	愛子	(方位)	N20W	
(地形)	山頂・尾根(斜面)上・中・下・凸・凹)台地・谷・平地	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿・過湿)	
		(面積)	2x2	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	6	種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	クズ	0.6	90		
V コケ層					

(群落名)		クズ群落		調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	5・5	クズ		
2		1・1	セイタカアワダチソウ		
3		+	ヨモギ		
4		+	カワラヨモギ		
5		+	イネ科の一種		
6		+	ススキ		
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

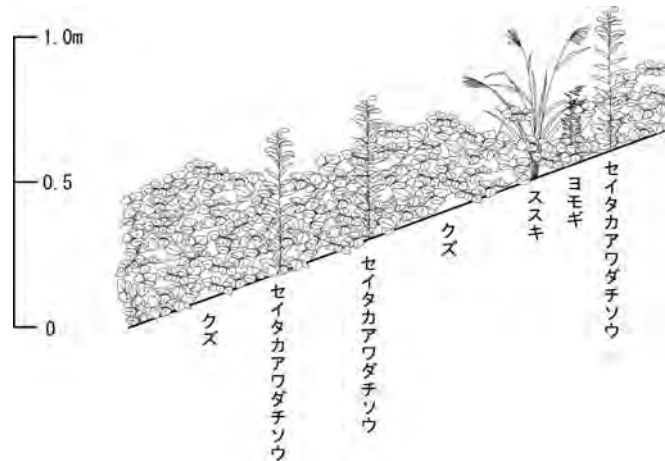


図1.6-1(2) 植生断面図(No.2)

表1.6-2(3) 植生調査票(No.3)

No.	調査地	(海拔)	112	m
3	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森(黒ボク)・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿)・過湿	(面積) 2×2 m <sup>2</sup>
			(出現種数)	11 種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	ヨモギ	0.3	100		
V コケ層					

(群落名)		ヨモギ群落				調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S
1	IV	5・5	ヨモギ				
2		+・2	エソノギシギシ				
3		1・1	オオイヌノフグリ				
4		+	アキノエノコログサ				
5		+	ヤブガラシ				
6		+	イネ科の一種				
7		+	イヌタデ				
8		+	ミドリハコベ				
9		+	メヒシバ				
10		+	スギナ				
11		+	ヒメジョオン				
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

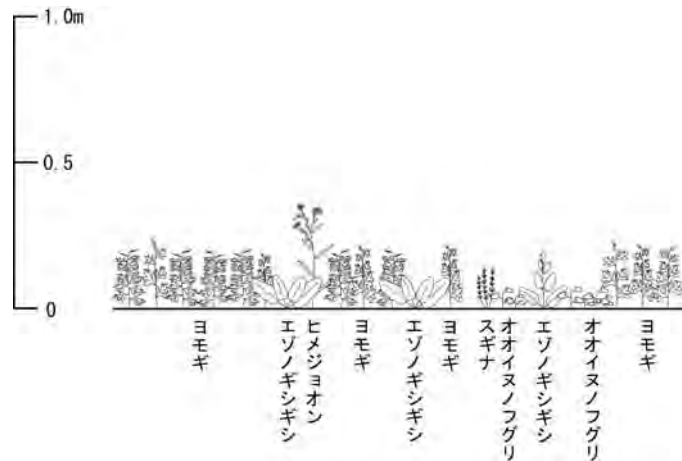


図1.6-1(3) 植生断面図(No.3)

表1.6-2(4) 植生調査票(No.4)

No.	調査地	(海拔)	111	m
4	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿)過湿	
		(面積)	3×3	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	7	種

(階層)	(優占種)	(高さ)	(植被率)	(胸高直径)	(備考)
		m	%	cm	
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	アズマザサ	1	100		
V コケ層					

(群落名)		アズマザサ群落		調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	5・5	アズマザサ		
2		2・2	クス		
3		1・1	ヤブガラシ		
4		1・1	カラムシ		
5		+	ポタンヅル		
6		+	セイタカアワダチソウ		
7		+	ススキ		
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

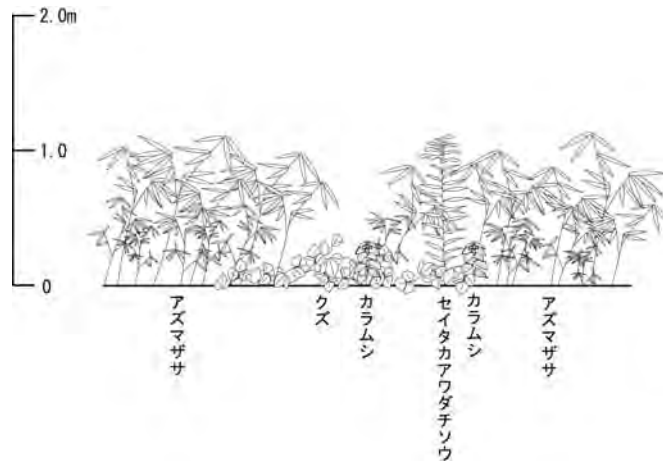


図1.6-1(4) 植生断面図(No.4)

表1.6-2(5) 植生調査票(No.5)

No.	調査地	(海拔)	110	m
5	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿)過湿	
		(面積)	2 x 2	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	4	種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	セイトカアワダチソウ	1.3	100		
V コケ層					

(群落名)		セイトカアワダチソウ群落		調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	5・5	セイトカアワダチソウ		
2		+	クズ		
3		+	ヨモギ		
4		+	スイバ		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

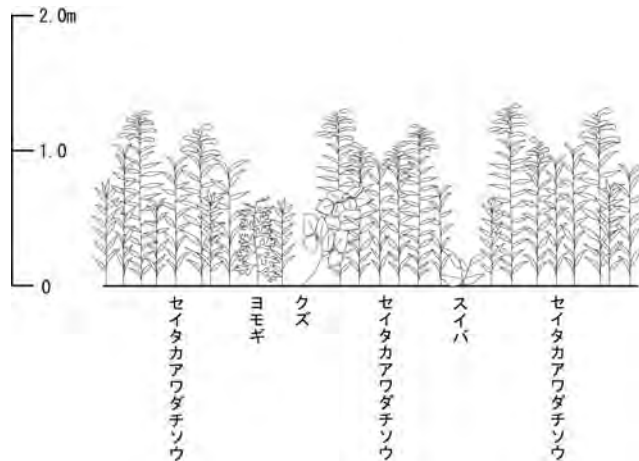


図1.6-1(5) 植生断面図(No.5)



表1.6-2(6) 植生調査票(No.6)

No.	調査地	(海拔)	142	m
6	愛子	(方位)	S15E	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷・平地	(風当)	強・中・弱	°
(土壌)	ボド性・褐鉄・赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾・適湿・過湿	
		(面積)	15×15	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	51	種

(階層)	(優占種)	(高さ)	(植被率)	(胸高直径)	(備考)
		m	%	cm	
I 高木層	コナラ	20	70	30~40	
II 亜高木層	モミ	5~10	30		
III 低木層	モミ	1~5	40		
IV 草本層	アズマネザサ	~1	30		
V コケ層					

(群落名) コナラ群落 調査日: 2019年10月31日

	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	I	4・4	コナラ		1・1	チゴユリ		+	ウリハダカエデ
2		1・1	ウワミズザクラ		1・1	タガネソウ			
3		1・1	ヤマモミジ		+	アズマネザサ			
4		1・1	ハリギリ		+	イヌツゲ			
5					+	フジ			
6	II	2・2	モミ		+	ヤマウルシ			
7		1・1	アワブキ		+	ツリバナ			
8		1・1	クリ		+	ナガバノコウヤボウキ			
9		1・1	マンサク		+	アカイタヤ			
10		+	ヤマボウシ		+	コシアブラ			
11					+	オケラ			
12	III	2・2	モミ		+	マツサ			
13		1・1	マンサク		+	ヤマカシユウ			
14		1・1	シラキ		+	コナラ			
15		1・1	ウワミズザクラ		+	ヤマモミジ			
16		1・1	ツノハシバミ		+	シラヤマギク			
17		1・1	ツクバネ		+	サワフタギ			
18		1・1	ムラサキシキブ		+	コゴメウツギ			
19		1・1	ミヤマガマズミ		+	ジュンラン			
20		+	コハウチワカエデ		+	サルトリイバラ			
21		+	アオハダ		+	アオキ			
22		+	ヤマウルシ		+	ヤブレガサ			
23		+	マルバアオダモ		+	ツノハシバミ			
24		+	コマユミ		+	イカリソウ			
25		+	ヤマツツジ		+	ヌルデ			
26		+	サンショウ		+	イヌシデ			
27		+	クロウメモドキ		+	ミツバアケビ			
28					+	ツルウメモドキ			
29	IV	2・2	アズマネザサ		+	コバギボウシ			
30		1・2	ヤマツツジ		+	ヤマハギ			

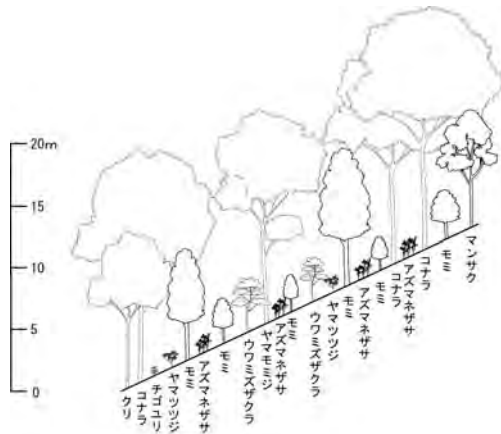


図1.6-1(6) 植生断面図(No.6)

表1.6-2(7) 植生調査票(No.7)

No.	調査地	(海拔)	129	m
7	愛子	(方位)	N30E	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中)下・凸・凹)台地・谷・平地	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐赤・赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿)過湿	
		(面積)	15x15	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	46	種

(階層)	(優占種)	(高さ)	(植被率)	(胸高直径)	(備考)
		m	%	cm	
I 高木層	スギ	18~20	90	20~40	
II 亜高木層					
III 低木層	ムラサキシキブ	1~4	40		
IV 草本層	なし	~1	30		
V コケ層					

(群落名)		スギ植林		調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	I	5・5	スギ	+	モミジイチゴ
2		1・1	ヒノキ	+	コシアブラ
3				+	マルバアオダモ
4	III	2・2	ムラサキシキブ	+	ハリガネワラビ
5		1・1	ウワミズザクラ	+	ヤマジノホトトギス
6		1・1	ツクバネ	+	ゼンマイ
7		+	クロウメモドキ	+	チゴユリ
8		+	エンコウカエデ	+	ヘクソカズラ
9		+	カマツカ	+	ヤマグワ
10		+	ケヤキ	+	オクモミジハグマ
11		+	アオキ	+	ニガイチゴ
12		+	コシアブラ	+	オオバクロモジ
13		+	ツノハシバミ	+	キバナアキギリ
14		+	ヤマウルシ	+	ユズリハ
15		+	アオハダ	+	イヌツゲ
16		+	サウシバ	+	ミツバアケビ
17		+	コゴメウツギ	+	ヤマブキ
18				+	モミ
19	IV	1・1	アズマネザサ	+	ヤマツツジ
20		1・1	イワガラミ	+	トリガタハンショウヅル
21		1・1	ウワミズザクラ	+	イカリソウ
22		1・1	アオキ		
23		1・1	ミゾシダ		
24		+	ハリギリ		
25		+	フジ		
26		+	シケシダ		
27		+	オニグルミ		
28		+	コナラ		
29		+	シロヨメナ		
30		+	クリ		

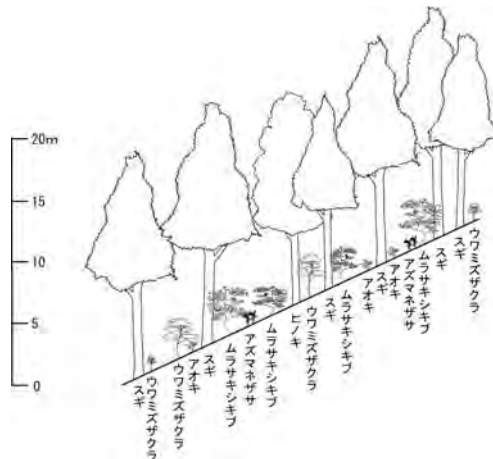


図1.6-1(7) 植生断面図(No.7)

表1.6-2(8) 植生調査票(No.8)

No.	調査地	(海拔)	107	m
8	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ(凝グライ)	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面上	(土湿)	乾(適湿)・過湿	
		(面積)	3 x 3	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	4	種

(階層)	(優占種)	(高さ)	(植被率)	(胸高直径)	(備考)
		m	%	cm	
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	オギ	1~2	90		
	スゲ属の一種	~1	20		
V コケ層					

(群落名) オギ群落				調査日:2019年10月31日				
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV-1	5・5	オギ					
2		2・2	セイタカアワダチソウ					
3								
4	IV-2	2・2	スゲ属の一種					
5		1・1	チガヤ					
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								



図1.6-1(8) 植生断面図(No.8)

表1.6-2(9) 植生調査票(No.9)

No.	調査地	(海拔)	107	m
9	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森(黒ボク)・&・グライ・凝グライ	(日当)	曝・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿)・過湿	(面積) 2 x 2 m <sup>2</sup>
			(出現種数)	5 種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	メヒシバ	0.4	90		
V コケ層					

(群落名) メヒシバ-エノコログサ群落				調査日:2019年10月31日				
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	5・5	メヒシバ					
2		1・1	スギナ					
3		+・2	ヤブガラシ					
4		+・2	オオイヌノフグリ					
5		+	アキノエノコログサ					
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

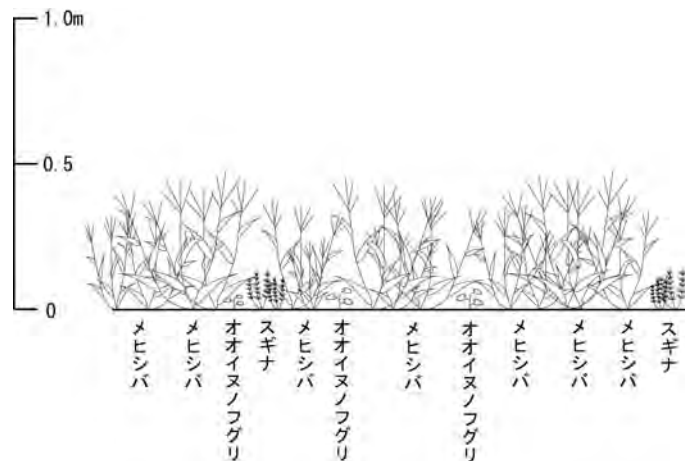


図1.6-1(9) 植生断面図(No.9)

表 1.6-2(10) 植生調査票(No.10)

No.	調査地	(海拔)	107	m
10	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森(黒ボク)&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾・適湿・過湿	
		(面積)	2×2	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	9	種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層				-	
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	シロザ	0.4	90		
V コケ層					

(群落名)		放棄畑		調査日:2019年10月31日				
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	4・4	シロザ					
2		2・2	オオイヌノフグリ					
3		1・1	スギナ					
4		1・1	オランダミミナグサ					
5		+	ソバ					
6		+	ヒメオドリコソウ					
7		+	ノボロギク					
8		+	オニノゲシ					
9		+	アキノエノコログサ					
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

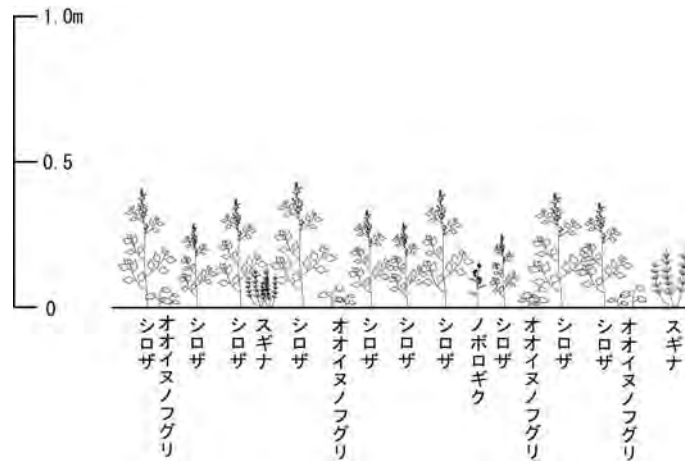


図 1.6-1(10) 植生断面図(No.10)

表1.6-2(11) 植生調査票(No.11)

No.	調査地	(海拔)	106	m
11	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ポド性・楢森・赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢(沖積)高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾・適湿(過湿)	
		(面積)	5 x 5	m <sup>2</sup>
		(出現種数)	1	種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	ツルヨシ	3	80		
V コケ層					

(群落名)		ツルヨシ群落				調査日:2019年10月31日		
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	5・5	ツルヨシ					
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

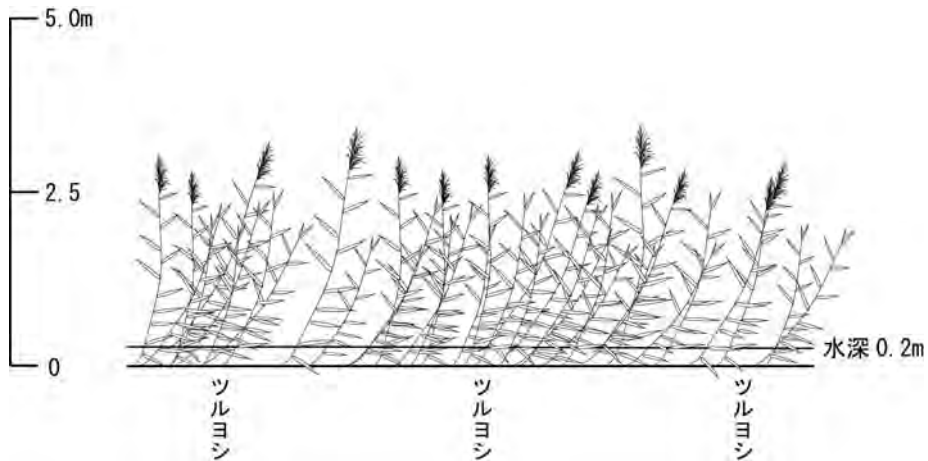


図1.6-1(11) 植生断面図(No.11)

表 1.6-2(12) 植生調査票(No.12)

No.	調査地	(海拔)	106	m	
12	愛子	(方位)	S10W		
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷(平地)	(風当)	強・中・弱		
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森(黒ボク)・&・グライ・凝グライ	(日当)	陽・中・陰		
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面上	(土湿)	乾・適湿・過湿	(面積)	1 x 1 m <sup>2</sup>
			(出現種数)	9 種	

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	ノボロギク	0.4	70		
V コケ層					

(群落名)		畑地		調査日:2019年10月31日							
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.
1	IV	3・3	ノボロギク								
2		1・1	スカシタゴボウ								
3		1・1	ハキダメギク								
4		1・1	カキドオシ								
5		+・2	イヌタデ								
6		+・2	イヌビエ								
7		+	ダイズ								
8		+	ヒメジョオン								
9		+	ウシハコベ								
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

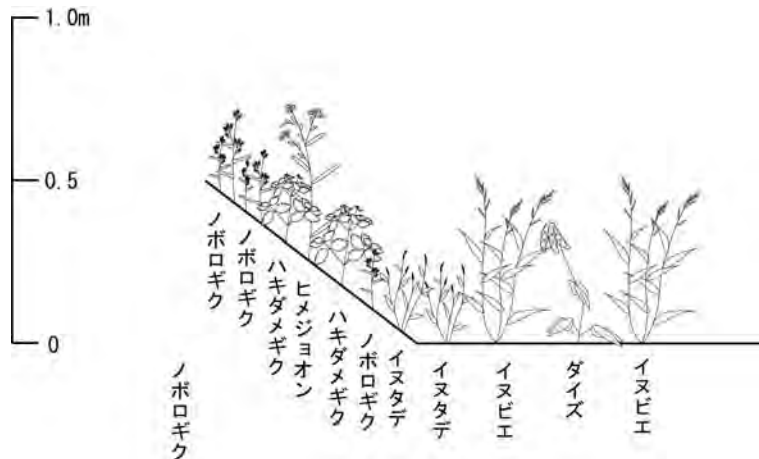


図 1.6-1(12) 植生断面図(No.12)

表 1.6-2(13) 植生調査票(No.13)

No.	調査地	(海拔)	106	m
13	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷・平地	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・擬グライ	(日当)	陽・中・陰	
	・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(土湿)	乾(適湿)過湿	(面積) 3×3 m <sup>2</sup>
		(出現種数)	9	種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	イヌビエ	1.3	80		
	トキンソウ	0.2	30		
V コケ層					

(群落名)		放棄水田				調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S
1	IV-1	4・4	イヌビエ				
2		2・2	ヌカキビ				
3		1・1	アメリカセンダングサ				
4		1・1	オオクサキビ				
5							
6	IV-2	2・2	トキンソウ				
7		+	トキワハゼ				
8		+	イヌタデ				
9		+	ヤナギタデ				
10		+	ノミノフスマ				
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							



図 1.6-1(13) 植生断面図(No.13)



表1.6-2(14) 植生調査票(No.14)

No.	調査地	(海拔)	109	m
14	愛子	(方位)	-	
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)台地・谷・平地	(風当)	強・中・弱	
(土壌)	ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・黒ボク・&・グライ・凝クワ ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層・固岩層・水面下	(日当)	陽・中・陰	
		(面積)	1 x 1	m <sup>2</sup>
		(土湿)	乾・適湿・過湿	
		(出現種数)	10	種

(階層)	(優占種)	(高さ) m	(植被率) %	(胸高直径) cm	(備考)
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV 草本層	イネ	0.2	40		
V コケ層					

(群落名)		水田				調査日:2019年10月31日	
S	D・S	SPP.	S	D・S	SPP.	S	D・S
1	IV	2・3	イネ				
2		1・1	コナギ				
3		1・1	トキンソウ				
4		1・1	ノミノフスマ				
5		1・1	トキワハゼ				
6		++2	ヤナギタデ				
7		++2	ヤブヘビイチゴ				
8		+	ノボロギク				
9		+	オランダミミナグサ				
10		+	イヌガラン				
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

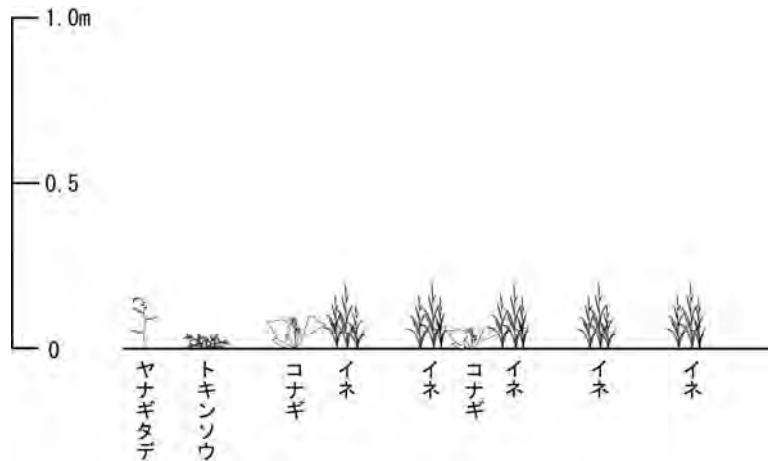


図1.6-1(14) 植生断面図(No.14)

1.7 動物

(1) 昆虫類現地調査結果

表1.7-1(1) 確認された動物種 (昆虫類) (1)

No.	目名	科名	和名	学名	季節				
					早春	春季	夏季	秋季	
1	カゲロウ	モンカゲロウ	トウヨウモンカゲロウ	<i>Ephemera orientalis</i>			●		
2		モンカゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>			●		
3		コカゲロウ	コカゲロウ科	Baetidae			●	●	
4	トンボ	ヒラタカゲロウ	シロタニカワカゲロウ	<i>Eodynerus yoshidae</i>			●		
5		アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>			●		
6			オツネトンボ	<i>Sympetma daedica</i>			●		
7		イトトンボ	アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>			●	●	
8		ガウトンボ	アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i>			●		
9			ニホンカウトンボ	<i>Mnais costalis</i>			●		
10		サナエトンボ	ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>			●		
11		エソトンボ	タカネトンボ	<i>Somaechlora uchida</i>			●		
12		トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>			●		
13			ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>			●		
14			ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>			●	●	
15			マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>			●	●	
16			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>			●	●	
17			フシムシ	<i>Sympetrum infuscatum</i>			●	●	
18			マイコアカネ	<i>Sympetrum kunoikei</i>			●	●	
19			カマキリ	カマキリ	<i>Statilia maculata</i>			●	
20				オオカマキリ	<i>Tanodera sinensis</i>	●		●	
21	カワゲラ		オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種	<i>Amphinemura</i> sp.		●		
22			Nemoura属の一種	<i>Nemoura</i> sp.		●			
23		ミドリカワゲラ	ヤマトミドリカワゲラ	<i>Alloperla nipponica</i>		●			
24	カワゲラ	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>			●			
25	バッタ	カマドウマ	ユノシタウマ	<i>Diestrammena elegantissima</i>			●	●	
26		キリギリス	ウスイロササキリ	<i>Gonoccephalus chinensis</i>			●		
27			コバネササキリ	<i>Gonoccephalus japonicus</i>			●	●	
28			ササキリ	<i>Gonoccephalus melampus</i>			●		
29			ヒメグキ	<i>Eubiana engelhardti subtropica</i>			●		
30			ハヤシノウマオイ	<i>Hexacentrus hareyama</i>			●		
31		ケラ	ケラ	<i>Grylloblatta orientalis</i>	●				
32		マツムシ	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>			●		
33		コオロギ	ハラオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>			●		
34			エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>			●	●	
35	ヒバリモドキ	シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>			●			
36	バッタ	ショウリヨウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>			●			
37		トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>			●			
38		クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>			●			
39		イナゴ	コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>			●	●	
40	オンブバッタ	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>			●	●		
41	ヒシバッタ	ハラヒシバッタ	<i>Tetrix japonica</i>			●	●		
42	カメムシ	ヨモギヒシウンカ	<i>Oecleopsis artemisiae</i>			●			
43		ウンカ	ヒメトビウンカ	<i>Laodelphax stratellus</i>			●		
44			トビウンカ	<i>Nilaparvata lugens</i>			●		
45			エゾナガウンカ	<i>Stenocranus matsumurai</i>			●		
46			タマガワナガウンカ	<i>Stenocranus tamagawanus</i>			●		
47		ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ	<i>Diostrombus politus</i>			●		
48		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>			●		
49		セミ	エゾゼミ	<i>Auriti bicen japonicus</i>			●		
50			アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>			●		
51			ミンミンゼミ	<i>Hyalessa maculaticollis</i>			●		
52	ツクツクボウシ		<i>Meimuna opalifera</i>			●			
53			ヒグラシ	<i>Tanna japonensis</i>			●		
54	ツノゼミ		トビイロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>			●		
55		モジツノゼミ	<i>Tsunozemia paradoxa</i>			●			
56	アワフキムシ	イシダアワフキ	<i>Aphrophora ishidae</i>			●	●		
57	コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ	<i>Eoscarta assimilis</i>			●			
58	トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ	<i>Hindoloidea bipunctata</i>			●			
59	ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>			●	●		
60		オオヨコバイ	<i>Cicadella viridis</i>			●	●		
61		ヨツモンコヒメヨコバイ	<i>Empoasca canarum limbata</i>			●			
62		マエジロオオヨコバイ	<i>Kolla atramentaria</i>			●			
63		ミドリヒロヨコバイ	<i>Laburru similis</i>			●			
64		ミミズク	クロヒメヨコバイ	<i>Ledra auditura</i>			●		
65			クロサジヨコバイ	<i>Pantthia nitida</i>			●		
66		サシガメ	クビグロアサシガメ	<i>Planorbodes nigricans</i>			●		
67			アサシガメ	<i>Haematoloecha delibata</i>			●		
68			アサシガメ	<i>Haematoloecha nigrorufa</i>			●		
69	トビイロサシガメ		<i>Oncoccephalus assimilis</i>			●			
70	クロモンサシガメ	<i>Peirates turpis</i>			●				
71	ガンバムシ	アワダチソウガンバムシ	<i>Corythucha marmorata</i>			●	●		
72	ハナカメムシ	コヒメハナカメムシ	<i>Orius minutus</i>			●			
73	カスミカメムシ	コアカスミカメ	<i>Apolvygus lucorum</i>			●			
74		マダラカスミカメ	<i>Cynodermidea saundersi</i>			●			
75		メンガタカスミカメ	<i>Eurystylus coelestialium</i>			●			
76		ヒメヨモギカスミカメ	<i>Plagiognathus vomogi</i>			●			
77		フタドゲムカスミカメ	<i>Stenodema calcarata</i>			●			
78		アカスジカスミカメ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>			●	●		
79		イネホシミドリカスミカメ	<i>Trigonotylus caelestialium</i>			●			
80		ヒラタカメムシ	クロナガヒラタカメムシ	<i>Neuroctenus ater</i>			●		
81			トビイロオオヒラタカメムシ	<i>Neuroctenus castaneus</i>			●		
82			イボヒラタカメムシ	<i>Ungerida verrucigera</i>			●		
83	ホソヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>			●			
84		ヘリカメムシ	<i>Homocerus stricornis</i>			●			
85	ヒメヘリカメムシ	オオツマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>			●			
86		アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>			●			
87	コブチヒメヘリカメムシ	<i>Stictopleurus minutus</i>			●				
88	イトカメムシ	イトカメムシ	<i>Yemma exilis</i>			●			
89	ナガカメムシ	ホソコバナナガカメムシ	<i>Macropes obrubilis</i>			●			
90		ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebeius</i>			●	●		
91		コバナヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>			●			
92	ツチカメムシ	ミツボシツチカメムシ	<i>Adomerus triguttulus</i>			●			
93		ノコギリカメムシ科	<i>Megymenum gracilicorne</i>			●	●		
94	カメムシ	ウズラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>			●			
95		フチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>			●			
96		ナガメ	<i>Eurydema rugosa</i>			●			
97		オオトゲシラホシカメムシ	<i>Evsarcoris lewisi</i>			●			
98		エビイロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>			●			
99		クサギカメムシ	<i>Halymorpha halys</i>			●			
100		ヨツボシカメムシ	<i>Homalonia obtusa</i>			●			
101		クチフトカメムシ	<i>Picromerus lewisi</i>			●			
102		チャバネアオカメムシ	<i>Plautia stali</i>			●			
103		オオクロカメムシ	<i>Scotinophara horvathi</i>			●			
104	マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>			●			
105	アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>			●			
106			<i>Aquarius paludum paludum</i>			●			
107			<i>Gerris latibdominis</i>			●			

表1.7-1(2) 確認された動物種 (昆虫類) (2)

No.	目名	科名	和名	学名	季節			
					早春	春季	夏季	秋季
108	カメムシ	ミズムシ	コチビミズムシ	<i>Micronecta guttata</i>			●	
109			ハラゴロコミズムシ	<i>Sigara nieroventralis</i>			●	
110		マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta trijuttata</i>	●			
111	アミメカゲロウ	ミズカゲロウ	ミズカゲロウ	<i>Sisyra nikkoana</i>		●		
112		クサカゲロウ	ムモンクサカゲロウ	<i>Chrysotrophia ciliata</i>			●	
113			ヤマトクサカゲロウ	<i>Chrysoperla nipponensis</i>		●		
114		ヒメカゲロウ	ヤマトヒメカゲロウ	<i>Hemerobius japonicus</i>				●
115	トビケラ	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>		●	●	
116			ギフシマトビケラ	<i>Hydropsyche giFuana</i>		●		
117			ウルマシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>		●		
118		ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>		●	●	
119		ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>		●	●	
120		ヒゲナガトビケラ	ゴマダラヒゲナガトビケラ	<i>Oecetis nigropunctata</i>			●	
121		エグリトビケラ	ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche ruficollis</i>				●
-			ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche sp.</i>				●
122	チョウ	ミノガ	チャミノガ	<i>Eumeta minuscula</i>			●	
123		イラガ	イラガ	<i>Monema flavescens</i>	●			
124		マダラガ	キスジホソマダラ	<i>Balatea gracilis</i>			●	
125			ヤホシホソマダラ	<i>Balatea octomaculata</i>			●	
126			ミノウスバ	<i>Pryeria sinica</i>	●	●		
127		ヒゲナガガ	クロハシロヒゲナガ	<i>Nemophora albiantennella</i>		●		
128		マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ	<i>Acroptolechia malacobrva</i>			●	
129		ヒゲナガキバガ	クロカクハネヒゲナガキバガ	<i>Athymoris martialis</i>			●	
130		ミツボシキバガ	ミツボシキバガ	<i>Autosticha modicella</i>			●	
131		キバガ	クルミシントメキバガ	<i>Polythymo trapezoidella</i>			●	
132			イモキバガ	<i>Helcystogramma triannulellum</i>			●	●
133			コフサキバガ	<i>Dichomeris acuminata</i>		●	●	
134			イッシキオオフサキバガ	<i>Dichomeris issikii</i>			●	
135		ハマキガ	ヒメサザナミハマキ	<i>Acleris takeuchii</i>				●
136			ヨモギオオホソハマキ	<i>Phtheochroides clandestina</i>			●	
137			トガリバヒメハマキ	<i>Bactra festa</i>			●	
138			クローバヒメハマキ	<i>Olethreutes doubledayana</i>			●	
139			ホソバヒメハマキ	<i>Lobesia reliquana</i>		●		
140			ヨモギネムシガ	<i>Epiblema foenella</i>			●	
141			スギヒメハマキ	<i>Epiblema sugii</i>			●	
142		ハマキモドキガ	コウソハマキモドキ	<i>Choreutis hyligenes</i>			●	
143		トリバガ	トキンソウトリバ	<i>Stenoptilodes taprobanes</i>			●	
144			ブドウトリバ	<i>Wippoptilia vitis</i>			●	
145		セセリチョウ	アオバセセリ本土亜種	<i>Chasmodon benjamini japonicus</i>			●	
146			イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>			●	
147			オオチャバネセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>			●	
148		シジミチョウ	ウルシシジミ	<i>Celastrina argiolus tadonides</i>		●	●	
149			ウルシシジミ	<i>Everes argiades argiades</i>		●	●	
150			ウラナシシジミ	<i>Lamoides boeticus</i>			●	●
151			ベニシジミ	<i>Lucania phlaeas chinensis</i>	●	●	●	●
152			コイシシジミ	<i>Taraxia hamada hamada</i>		●	●	
153			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>		●	●	●
154		タテハチョウ	サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana burejana</i>			●	
155			スミナガシ本土亜種	<i>Dichorragia nesimachus nesiotis</i>			●	
156			クロヒカゲ本土亜種	<i>Lethe diana diana</i>			●	
157			ヒカゲチョウ	<i>Lethe siceilis</i>			●	
158			ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>			●	
159			コジャノメ	<i>Mycalesis francisca perdiccas</i>		●		
160			コムシジ本州以南亜種	<i>Neptis sappho intermedia</i>		●	●	
161			キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>			●	
162			アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>			●	●
163			ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus argus</i>		●	●	
164		アゲハチョウ	カラスアゲハ本土亜種	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>		●		
165			オナガアゲハ	<i>Papilio maclentus maclentus</i>			●	
166			クローバアゲハ本土亜種	<i>Papilio protenor demetrius</i>		●	●	
167			アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>		●	●	
168			ウスバシロチョウ	<i>Parnassius citrinarius citrinarius</i>		●		
169		シロチョウ	モンキチョウ	<i>Colias erate polio-grapha</i>		●	●	
170			キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>		●	●	
171			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	●		●	
172		ツトガ	ツトガ	<i>Ancylolomia japonica</i>			●	
173			サツマトガ	<i>Calamotropa okanoi</i>			●	
174			チンシツトガ	<i>Chrysoteuchia distinctella</i>			●	
175			シロスジツトガ	<i>Crambus argyrochorus</i>			●	
176			キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>			●	
177			ヒメダラミスメイガ	<i>Elophila turbata</i>			●	
178			モンキクワノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosale zelleri</i>			●	
179			クロフタオビツトガ	<i>Neopediasia mixtalis</i>			●	
180			キタホシオビホソノメイガ	<i>Paranomis sidemialis</i>			●	
181			ナガハツトガ	<i>Platytes ornatella</i>			●	
182			キオビミスメイガ	<i>Potamomusa midas</i>			●	
183			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>				●
184			クロモンキノメイガ	<i>Udea testacea</i>			●	
185		メイガ	ウスオビトガリメイガ	<i>Endotricha consocia</i>			●	
186			アカマダラメイガ	<i>Oncocera semirubella</i>			●	
187			マエモンシマメイガ	<i>Tegulifera bicoloralis</i>			●	
188		マドガ	マドガ	<i>Thyris usitata</i>		●		
189		カギバガ	ニッコウトガリバ	<i>Epipsestis nikkoensis</i>				●
190		ジャクガ	ナカウスエダジャク	<i>Aicis angulifera</i>				●
191			セズジメジャク	<i>Evecliptopera illitata illitata</i>				●
192			クロテントビヒメジャク	<i>Idaea foedata</i>			●	
193			ミジンキヒメジャク	<i>Idaea trisetata</i>			●	
194			ナミスジアオジャク	<i>Idiochloa ussuriaria</i>			●	
195			ウスキヒメアオジャク	<i>Jodis urosticta</i>			●	
196			ウラモンアオジャク	<i>Parapione grata</i>		●		
197			チンツマナミジャク	<i>Telenometa punctimarginalis punctimarginalis</i>		●		
198			ベニスジヒメジャク	<i>Timandra recempta prouti</i>				●
199		イカリモンガ	イカリモンガ	<i>Pterodactylus felderi</i>				●
200		カレハガ	カケカレハ	<i>Euthrix albomaculata directa</i>			●	
201		スズメガ	ユビガラスズメ	<i>Agrilus convolvuli</i>				●
202		ヒトリガ	カノコガ	<i>Amata fortunei fortunei</i>				●
203			クロミヤクホソバ	<i>Polisia ramosula jezoensis</i>			●	
204			クシヒゲコガ	<i>Thumatha ochracea ochracea</i>			●	
205		ヤガ	ナシケンモン	<i>Aronicta rumicis</i>			●	●
206			カブラヤガ	<i>Agrotis segetum</i>		●		
207			カラスヨトウ	<i>Amphipyra livida corvina</i>				●
208			オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha surnia</i>			●	
209			クロチンカバアツバ	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>			●	
210			アオバハガタヨトウ	<i>Antivaleria viridimacula</i>				●
211			マダラホソコヤガ	<i>Araeopteron fragmentum</i>		●		
212			フクラスズメ	<i>Arcte coerulea</i>			●	
213			コウンモンクチバ	<i>Blasticorhinus ussuriensis</i>			●	
214			シロシタバ	<i>Catocala nivea nivea</i>				●
215			トラガ	<i>Chelonomorpha japana japana</i>		●		

表1.7-1(3) 確認された動物種 (昆虫類) (3)

No.	目名	科名	和名	学名	季節				
					早春	春季	夏季	秋季	
216	チョウ	ヤガ	エゾギクキンウバ	<i>Gtenoplusia albostrigata</i>			●		
217			ケンモンミドリキリガ	<i>Daseocheta viridis</i>				●	
218			アケビコノハ	<i>Eudocima tyrannus</i>				●	
219			ウスキミスジアツバ	<i>Hemania arenosa</i>			●		
220			クロスジアツバ	<i>Hemania grisalis</i>			●		
221			クロクモヤガ	<i>Heronassa caecilia</i>				●	
222			ウラジロアツバ	<i>Hyperbacon violacealis</i>			●		
223			ヒメクビゲロクチバ	<i>Lygophila recta</i>			●		
224			オオハガタヨトウ	<i>Mniotype melanodonta</i>				●	
225			フタキボシアツバ	<i>Naarda maculifera</i>			●		
226			ノコメセダカヨトウ	<i>Orthogonia sera</i>			●		
227			ハスオビヒメアツバ	<i>Schrankia separatalis</i>			●		
228			イネヨトウ	<i>Sesamia inferens</i>			●		
229			ネグロアツバ	<i>Sinarella punctalis</i>			●		
230			オスグロトモエ	<i>Spirama retorta</i>			●		
231			スジキリヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>			●		
232			ウスチャヤガ	<i>Xestia dilatata</i>				●	
233			コブガ	キノカワガ	<i>Blenina senex</i>				●
234				カバイロコブガ	<i>Nola aegugula atomosa</i>			●	
235				クロスジシロコブガ	<i>Nola taeniata</i>			●	
236			ハエ	ヒメガガンボ	セダカガガンボ	<i>Conosia irrorata</i>			●
237					Dicranomyia属の一種	<i>Dicranomyia</i> sp.		●	
-				ヒメガガンボ科	Limoniidae				●
238			ガガンボ	Indotipula属の一種	<i>Indotipula</i> sp.			●	
239				Nephrotoma属の一種	<i>Nephrotoma</i> sp.			●	
240	Tipula属の一種	<i>Tipula</i> sp.			●	●			
241	ユスリカ	Chironomus属の一種	<i>Chironomus</i> sp.			●			
-		ユスリカ科	Chironomidae			●			
242	ケバエ	ハグロケバエ	<i>Bibio tenebrosus</i>			●			
-		Bibio属の一種	<i>Bibio</i> sp.		●				
243	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciariidae			●			
244	ミスアブ	アメリカミスアブ	<i>Hermetia illucens</i>			●			
245		ミスアブ	<i>Stratiomys japonica</i>			●			
246	アブ	ホルバートアブ	<i>Atylotus horvathi</i>			●			
247		アブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>			●			
248	ムシヒキアブ	チャイロムシヒキ	<i>Eutolmus brevistylus</i>			●			
249		ナミマガリケムシヒキ	<i>Neotamus angusticornis</i>			●			
250	アシナガバエ	Dolichopus属の一種	<i>Dolichopus</i> sp.			●			
-		アシナガバエ科	Dolichopodidae			●			
251	ハナアブ	マダラシボシハナアブ	<i>Baccha maculata</i>			●			
252		クロヒラタアブ	<i>Betasyrphus serarius</i>			●			
253		ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>				●		
254		シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>				●		
255		オミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>				●		
256		フタホシヒラタアブ	<i>Eusodes corollae</i>			●			
257		ツヤヒラタアブ	<i>Melanostoma orientale</i>			●			
258		キアシマヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>			●			
259		オオハナアブ	<i>Phytomyia zonata</i>				●		
260		ミナミヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria indiana</i>			●			
261		ホソヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>			●			
262		マカイヒラタアブ	<i>Syrphus dubius</i>			●			
263		オオフタホシヒラタアブ	<i>Syrphus ribesii</i>			●			
264		ナミルリイロハラナガハナアブ	<i>Xylota amamiensis</i>			●			
265		シヨウジョウバエ	Stegana属の一種	<i>Stegana</i> sp.			●		
266		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sagdon aenescens</i>			●		
267		ツヤホソバエ	Sepsis属の一種	<i>Sepsis</i> sp.			●		
268	ミバエ	ヒラヤマアメケツカミバエ	<i>Campiglossa hirayamae</i>			●			
269	クロバエ	オオクロバエ	<i>Calliphora nigribarbis</i>				●		
270		コガネキンバエ	<i>Lucilia ampullacea</i>				●		
271		キンバエ	<i>Lucilia caesar</i>				●		
272		ツマクロキンバエ	<i>Stomoxys obsoleta</i>				●		
273		センチュウバエ	<i>Sarcophaga peregrina</i>				●		
274	ニクバエ	ナミニクバエ	<i>Sarcophaga similis</i>			●			
275		フィールドニクバエ	<i>Sarcophaga uniseta</i>			●			
276	オドリバエ	Empididae			●				
277	シマバエ	Homoneura属の一種	<i>Homoneura</i> sp.			●			
278	フンバエ	Scathophaga stercoraria				●			
279	ベッコウバエ	Neuroctena Formosa				●			
280	ヤドリバエ	Gylindromyia属の一種	<i>Gylindromyia</i> sp.			●			
-		ヤドリバエ科	Tachinidae			●			
281	コウチュウ	ホソクビゴミムシ	ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>			●		
282			キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>				●	
283			マルガタゴミムシ	<i>Amara chalcites</i>			●		
284			ナガマルガタゴミムシ	<i>Amara macronota ovalipennis</i>				●	
285			ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>			●		
286			ヒメゴミムシ	<i>Anisodactylus tricuspidatus tricuspidatus</i>			●		
287			キベリゴモクムシ	<i>Anoplogenus cyanescens</i>				●	
288			アオオサムシ東北地方亜種	<i>Carabus insulicola kita</i>				●	
289			アトホシアオゴミムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>				●	
290			オオスナハラゴミムシ	<i>Diplocheila zeelandica</i>				●	
291			セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>				●	
292			エソホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius matsudai</i>			●		
293			オオキベリアオゴミムシ	<i>Epomis nigricans</i>			●		
294			オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>				●	
295			ヒメケゴモクムシ	<i>Harpalus jureceki</i>			●		
296			クロゴモクムシ	<i>Harpalus nigritanus</i>			●		
297			ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>				●	
298			ゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>				●	
299			ミヤマメダカゴミムシ	<i>Motophilus impressifrons</i>			●		
300			コヨツボシゴミムシ	<i>Panagaeus robustus</i>			●		
301			カドツボシゴミムシ	<i>Platynus angulosus</i>			●		
302			オオヒラタゴミムシ	<i>Pterostichus haptoderoides japonensis</i>			●		
303			トックリナゴミムシ	<i>Pterostichus planicollis</i>			●		
304			キンナゴミムシ	<i>Pterostichus polygamus</i>			●		
305			ニッコウヒメナゴミムシ	<i>Pterostichus spiculifer spiculifer</i>			●		
306			ハラトケナゴミムシ	<i>Synuchus dulcigradus</i>				●	
307			ヒメツヤヒラタゴミムシ	<i>Copelatus weymarni</i>			●		
308			ゲンゴロウ	ホソセシゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>			●	
309				マルガタゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>			●	
310				コシマゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>			●	
311			ガムシ	ヒメゲンゴロウ	<i>Berosus lewisii</i>			●	
312				トゲバゴマフガムシ	<i>Ceryon olivus</i>			●	
313	アカケシガムシ	<i>Enochrus umbratus</i>				●			
314	フタホシヒラタガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>				●			
315	コガムシ	<i>Catops hilleri</i>			●				
316	タマキノコムシ	ヒレルチビシテムシ	<i>Eusilpha japonica</i>			●			
317	シテムシ	オオヒラタシテムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>			●			
318		ヨツボシモンシテムシ	<i>Oiceoptoma nigropunctatum</i>			●			
319		クロボシヒラタシテムシ			●				

表1.7-1(3) 確認された動物種 (昆虫類) (4)

No.	目名	科名	和名	学名	季節			
					早春季	春季	夏季	秋季
320	コウチュウ	ハネカクシ	アカハバヒロオハネカクシ北海道・本州亜種	<i>Aelolos carinatus carinatus</i>		●		
321			Aleochara属の一種	<i>Aleochara</i> sp.		●		
322			Anotylus属の一種	<i>Anotylus</i> sp.		●		
323			Atheta属の一種	<i>Atheta</i> sp.				●
324			キベリカワハネカクシ	<i>Bledius curvicornis</i>			●	●
325			Gabrius属の一種	<i>Gabrius</i> sp.			●	
326			ツマグロムネシハネカクシ	<i>Hesperus tiro</i>			●	
327			クロトガリハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>			●	
328			モンカタホソツメハネカクシ	<i>Philydrodes ishidaei</i>		●		
329			クロガネトガリオオスハネカクシ	<i>Platydacus inornatus</i>			●	
330			カラカネトガリオオスハネカクシ	<i>Platydacus sharpi</i>			●	
331			キアシコガシラナガハネカクシ	<i>Tetrapoeps pallipes</i>		●		
332			Thinodromus属の一種	<i>Thinodromus</i> sp.			●	
333	マルハナノミ		チャイロチビマルハナノミ	<i>Contacyphon consobrinus</i>		●		
334	センチュウガネ		センチュウガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>		●		
335	コガネムシ		コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>		●		
336			アカビロウドコガネ	<i>Maladera castanea</i>			●	
337			カミヤビロウドコガネ	<i>Maladera kamiyai</i>		●		
338			ヒメビロウドコガネ	<i>Maladera orientalis</i>		●		
339			ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis angusticollis</i>		●		
340			シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis subarmorea</i>				●
341	カナブン		カナブン	<i>Pseudotrynnorrhina japonica</i>			●	
342	ヒメドロムシ		ツヤドロムシ	<i>Zaitzevia nitida</i>			●	
343	タマムシ		ホソアシナガタマムシ	<i>Agrius ribbei</i>		●		
344			シロオビナカボツタマムシ	<i>Coraeus quadrifundulatus</i>		●		
345			クスノチビタマムシ	<i>Trachys auricollis</i>			●	
346			ヤナギチビタマムシ	<i>Trachys minutus salicis</i>			●	
347			アカガネチビタマムシ	<i>Trachys tsushimae</i>			●	
348			ヤノナミガタチビタマムシ	<i>Trachys yanoi</i>		●		●
349	コメツキムシ		サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>		●		
350			ムナビロサビキコリ	<i>Agrypnus cordicollis</i>		●		
351			ヒメサビキコリ	<i>Agrypnus scrofa scrofa</i>		●		●
352			ヒメクシコメツキ	<i>Melanotus legatoides</i>		●		
353			クシコメツキ	<i>Melanotus legatus legatus</i>		●		
354			ウストラフコメツキ	<i>Salatosomus vageictus</i>		●		
355	コメツキダマシ		トゲナカミゾコメツキダマシ	<i>Rhacopus modestus</i>		●		
356	ジョウカイボン		Asiopodabrus属の一種	<i>Asiopodabrus</i> sp.		●		
357			ムネアカフトジョウカイ	<i>Cantharis curtata</i>		●		
358			ジョウカイボン	<i>Lycoecerus suturellus suturellus</i>		●		
359	ホタル		ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>			●	
360	カズオブシムシ		ヒメマルカズオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>		●		
361	ジョウカイモドキ		クシジョウカイモドキ	<i>Dasytes vulgaris</i>		●		
362			ウマキアオジョウカイモドキ	<i>Malachus prolongatus</i>		●		
363	ツツキノコムシ		Ois属の一種	<i>Ois</i> sp.		●		
364	テントウムシ		カナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>		●		●
365			ハマトアザミテントウ	<i>Hemospilachna nigonica</i>		●		
366			ジュウサンホシテントウ	<i>Hippodamia tridecimpunctata</i>				●
367			ウスキホシテントウ	<i>Oenopia hirayamae</i>				●
368			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylaea japonica</i>		●		●
369			クビアカヒメテントウ	<i>Sasajicymnus sylvaticus</i>			●	
370			クロヘリヒメテントウ	<i>Scymnus hoffmanni</i>		●		
371			カウムラヒメテントウ	<i>Scymnus kawamurae</i>		●		
372	ミジンムシ		マエキミジンムシ	<i>Arthrolips oblongus</i>		●		
373	キスイムシ		ケナガセマルキスイ	<i>Atomaria horridula</i>		●		
374	ヒラタムシ		ヒレヒラヒラタムシ	<i>Placonotus hilleri</i>		●		
375	テントウムシダマシ		セグロツヤテントウダマシ	<i>Lycoecerdina mandarinae</i>				●
376	オオキノコムシ		アカハバヒロオオキノコムシ	<i>Neotriplax lewisii</i>				●
377			クロチビオオキノコムシ	<i>Tritoma nipponensis</i>				●
378			キベリハバヒロオオキノコムシ	<i>Tritoma pallidicincta</i>		●		
379	オオキスイムシ		ヨツボシオオキスイ	<i>Helota gemmata</i>		●		
380	ケシキスイ		ツツオニケシキスイ	<i>Glischrochilus subcylindricus</i>		●		
381			クロヒラタケシキスイ	<i>Ipidia variolosa variolosa</i>		●		
382			オドリコソウチビケシキスイ	<i>Meligethes morosus</i>			●	
383			ニセアカマダラケシキスイ	<i>Phenolia borealis</i>				●
384			アミモンヒラタケシキスイ	<i>Physorania hilleri</i>		●		
385	クビナガムシ		クビカクシナガクチムシ	<i>Scotodes niponicus</i>		●		
386	ツチハンミョウ		マメハンミョウ	<i>Epicauta gorhami</i>			●	
387	カミキリモドキ		モモフトカミキリモドキ	<i>Oedemera lucidicollis</i>		●		
388	アカハネムシ		アカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>		●		
389	ハナノミダマシ		クロフナガタハナノミ	<i>Anaspis marseuli</i>		●		
390	ゴミムシダマシ		ヒメナガニジゴミムシダマシ	<i>Ceroptia induta</i>				●
391			コナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>				●
392			ムネビロコナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum japonum japonum</i>				●
393			スジコガシラゴミムシダマシ	<i>Heterotaraxus carinula</i>				●
394			ニホンキマワリホキ草種	<i>Plesiophthalmus nigrocyanus nigrocyanus</i>		●		
395			マルセルエグリゴミムシダマシ本土亜種	<i>Uloma marseuli marseuli</i>		●		
396	カミキリムシ		ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>				●
397			ゴマフカミキリ	<i>Mesosa japonica</i>		●		
398			キタセシジメハナカミキリ	<i>Pidonia kurosawai</i>		●		
399			スギカミキリ	<i>Semanotus japonicus</i>		●		
400	ハムシ		アカバナカミナリハムシ	<i>Aitica oleracea</i>		●		
401			ツブノミハムシ	<i>Aophthona perminuta</i>		●		
402			ムナグロツヤハムシ	<i>Arthrotus niger</i>				●
403			ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>				●
404			クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>				●
405			ヒメドウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>				●
406			ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>				●
407			カタビロハムシ	<i>Colobaspis japonicus</i>		●		
408			ハラルリツハムシ	<i>Cryptoccephalus approximatus</i>				●
409			クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>		●		
410			クワミハムシ	<i>Gastrolina depressa</i>		●		
411			コガタリハムシ	<i>Gastrophysa atrocyanea</i>		●		
412			コブキケガササルハムシ	<i>Lupesthes ater</i>		●		
413			ルリマルミハムシ	<i>Monarthra cyanea</i>		●		
414			ドウガネツヤハムシ	<i>Omorophoides cupreatus</i>		●		
415			フタクサハムシ	<i>Ophraella communis</i>				●
416			アウクビボソハムシ	<i>Oulema dilutipes</i>		●		
417			イネクビボソハムシ	<i>Oulema oryzae</i>		●		
418			ツヤキバネサルハムシ	<i>Pagria flavovestulata</i>		●		
419			チャハネツヤハムシ	<i>Phygadeuon fulvipennis</i>		●		
420			ヤナギルリハムシ	<i>Plagioderia versicolora</i>		●		
421			ドウガネサルハムシ	<i>Scelodonta lewisii</i>		●		
422			ムナキルリハムシ	<i>Smaragdinia semiaurantiaca</i>		●		
423			フキタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma balyi</i>		●		
424			イチモンジカメノコムシ	<i>Thalaspida biramosa</i>		●		
425	ヒゲナガゾウムシ		エゴヒゲナガゾウムシ	<i>Exechesopus leucopsis</i>				●
426	ホソクサゾウムシ		アカクサホソクサゾウムシ	<i>Microcononion pallidirostre</i>		●		
427	オトシブミ		ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>		●		
428			ナラルリオトシブミ	<i>Euops konoi</i>		●		

表1.7-1(4) 確認された動物種（昆虫類）(5)

No.	目名	科名	和名	学名	季節					
					早春季	春季	夏季	秋季		
429	コウチュウ	ゾウムシ	ユアサハナゾウムシ	<i>Anthonomus yuasai</i>		●	●			
430			ヨフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>		●	●			
431			ツメクサタコゾウムシ	<i>Hypera nigrirostris</i>			●	●		
432			ハスジカツオゾウムシ	<i>Lixus acutipennis</i>			●			
433			オジロアシナガゾウムシ	<i>Ornataleides trifidus</i>			●			
434			ツヤケシヒメゾウムシ	<i>Pallobaris melancholica</i>			●			
435			ヒラスネヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius intrusus</i>			●			
436			タデノクテブトサルゾウムシ	<i>Rhinoncus sibiricus</i>			●			
437			クロミノゾウムシ	<i>Tachyerges stigma</i>			●			
438			ツメクサタネコバンゾウムシ	<i>Tychius picirostris</i>			●			
439			キクイムシ	<i>Xyleborus</i> 属の一種	<i>Xyleborus</i> sp.			●		
440			ハチ	ハバチ	セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>			●	
441					オスグロハバチ	<i>Dolerus japonicus</i>		●	●	
442					<i>Pachyprotasis</i> 属の一種	<i>Pachyprotasis</i> sp.		●	●	
443	<i>Strongylogaster</i> 属の一種	<i>Strongylogaster</i> sp.				●	●			
444	<i>Tenthredo</i> 属の一種	<i>Tenthredo</i> sp.				●				
445	アリ	アサナガアリ		<i>Aphaenogaster famelica</i>			●	●		
446		クロオオアリ		<i>Camponotus japonicus</i>		●	●	●		
447		ムネアカオオアリ		<i>Camponotus obscuripes</i>		●	●	●		
448		テラニシリアゲアリ		<i> Crematogaster teranishii</i>		●	●	●		
449		クロヤマアリ		<i>Formica japonica</i> (s. l.)		●	●	●		
450		クロクサアリ		<i>Lasius fuji</i>		●	●	●		
451		トビイロケアリ		<i>Lasius japonicus</i>		●	●	●		
452		ヒラアシクサアリ		<i>Lasius spathopus</i>		●	●	●		
453		アメイロアリ		<i>Nylanderia flavipes</i>			●			
454		サクラアリ	<i>Parapatrechina sakurae</i>			●	●			
455	アズマオズアリ	<i>Pheidole fervida</i>			●	●				
456	アミアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>		●	●	●				
457	トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>		●	●	●				
458	スズメバチ	ムモンホソアシナガバチ	<i>Parapolybia crocea</i>		●	●	●			
459		フタモンアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes chinensis antennalis</i>		●	●	●			
460		セグロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>			●				
461		キボシアシナガバチ	<i>Polistes nipponensis</i>				●			
462		コアシナガバチ	<i>Polistes snelleni</i>			●				
463		モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>		●					
464		オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>				●			
465	キロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>				●				
466	クモバチ	オオモンクモバチ	<i>Anoplius samariensis</i>			●				
467	アナバチ	ヤマジガバチ	<i>Amophila infesta</i>			●				
468	ヒメハナバチ	<i>Andrena</i> 属の一種	<i>Andrena</i> sp.		●					
469	ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>	●			●			
470		キオビツヤハナバチ	<i>Ceratina flavipes</i>		●					
471		ヤマトツヤハナバチ	<i>Ceratina japonica</i>		●					
472		<i>Nomada</i> 属の一種	<i>Nomada</i> sp.		●					
473		キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>			●	●			
474		ムカシハナバチ	アシフトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i>			●			
475		コハナバチ	<i>LasioGLOSSUM</i> 属の一種	<i>LasioGLOSSUM</i> sp.			●			
476	ハキリバチ	スミスハキリバチ	<i>Megachile humilis</i>			●				
477	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae		●		●			
-	12目	15科	477種		21種	204種	255種	97種		

(2) 底生動物現地調査結果

表1.7-2(1) 確認された動物種 (底生動物) (1)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	季節			
						春季	夏季	秋季	冬季
1	有様状体	三岐腸		三岐腸目	Tricladida	●	●	●	●
2	腹足	新生腹足	タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>		●		
3			カウニナ	カウニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>			●	
4			ミスツボ	コモチカワツボ	<i>Potamopyrgus antipodarum</i>	●	●	●	●
5		汎有肺	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ	<i>Fossaria truncatula</i>				●
6				ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>				●
7			サカマキガイ	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	●	●	●	●
8	二枚貝	イシガイ	イシガイ	マツカサガイ	<i>Pronodularia japonensis</i>	●	●	●	●
9		マルスダレガイ	シジミ	シジミ属	<i>Corbicula</i> sp.	●	●	●	●
10			マメシジミ	マメシジミ属	<i>Pisidium</i> sp.				●
11			ドロシジミ	ドロシジミ属	<i>Sphaerium japonicum</i>	●	●		
12	ミミズ	ナガミミズ	ナガミミズ	ナガミミズ	<i>Haplotaxis gordioides</i>				●
13		オヨギミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科	Lumbriculidae	●	●	●	●
14		イトミミズ	ミズミミズ	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbii</i>	●	●	●	●
15				ユリミミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>	●	●	●	●
16				クロオビミミズ	<i>Ophidonais serpentina</i>	●		●	●
17				ハヤセミミズ	<i>Piguettia denticulata</i>	●	●	●	●
18				ミズミミズ科	Naididae	●	●	●	●
19		ツリミミズ	ツリミミズ	ツリミミズ科	Lumbricidae	●	●	●	●
20	ヒル	吻蛭	ヒラタビル	ハハヒロビル	<i>Alboglossiphonia lata</i>	●	●	●	●
21				ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i>	●	●	●	●
22		吻無蛭	イシビル	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	●	●	●	●
23			ナガレビル	ナガレビル科	Salifidae	●	●	●	●
24	軟甲	ウラジムシ	ミズムシ (甲)	ミズムシ (甲)	<i>Asellus hilgendorffi</i>	●	●	●	●
25		エビ	ヌカエビ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	●	●	●	●
26			アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	●	●	●	●
27			サワガニ	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	●	●	●	●
28	昆虫	カゲロウ (蜻蛉)	トビロカゲロウ	ヒメトビロカゲロウ	<i>Choroterpes altioculus</i>	●	●		●
29				トビロカゲロウ属	<i>Paraleptophlebia</i> sp.	●	●		●
30			カワカゲロウ	キイロカワカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>	●		●	
31			モンカゲロウ	トウヨウモンカゲロウ	<i>Ephemera orientalis</i>	●	●	●	●
32				モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	●	●	●	●
33				ヒメシロカゲロウ	<i>Gaenis</i> sp.	●	●	●	●
34			マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ	<i>Cincticostella elongatula</i>	●			●
35				シリナガマダラカゲロウ	<i>Ephacera longicaudata</i>	●			●
36				アカマダラカゲロウ	<i>Teleganopsis punctisetae</i>	●	●	●	●
37				エラフタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>	●	●	●	●
38				ヒメフタオカゲロウ	<i>Ameletus</i> sp.	●	●	●	●
39			コカゲロウ	ミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella sibirica</i>	●			●
40				ヨシノコカゲロウ	<i>Alainites yoshinensis</i>	●			●
41				サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>	●	●	●	●
42				フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	●	●	●	●
43				シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	●	●	●	●
44				フタバカゲロウ属	<i>Cloeon</i> sp.	●	●	●	●
45				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>	●	●	●	●
46				ヒメウスバコカゲロウ属	<i>Procloeon</i> sp.	●	●	●	●
47				ウデマギリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	●	●	●	●
48				コバナヒゲトガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis parvipterus</i>	●	●	●	●
49				フタオカゲロウ属	<i>Siphonurus</i> sp.	●	●	●	●
50			テラカゲロウ	テラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	●	●	●	●
51			ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdvanurus voshidae</i>	●	●	●	●
52				ナミヒラタカゲロウ	<i>Epeorus ikanonis</i>	●	●	●	●
53		トンボ (蜻蛉)	カワトンボ	ニホシカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>	●	●	●	●
54				カワトンボ科	Calopterygidae	●	●	●	●
55			ヤンマ	コシボツヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	●	●	●	●
56				ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	●	●	●	●
57			サナエトンボ	ミヤマサナエ	<i>Anisogomphus maacki</i>	●	●	●	●
58				ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	●	●	●	●
59				ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>	●	●	●	●
60				ダビドサナエ属	<i>Davidius</i> sp.	●	●	●	●
61				オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	●	●	●	●
62				アオサナエ	<i>Nihogomphus viridis</i>	●	●	●	●
63				ホシサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	●	●	●	●
64				コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	●	●	●	●
65				オシロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	●	●	●	●
66			オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	●	●	●	●
67			エゾトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	●	●	●	●
68			トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	●	●	●	●
69				ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	●	●	●	●
70				アカネ属	<i>Symptetrum</i> sp.	●	●	●	●
71		カワゲラ (セキ翅)	クロカワゲラ	クロカワゲラ科	Capniidae	●	●	●	●
72			オナシカワゲラ	フサオナシカワゲラ属	<i>Amphinemura</i> sp.	●	●	●	●
73				オナシカワゲラ属	<i>Nemoura</i> sp.	●	●	●	●
74			カワゲラ	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	●	●	●	●
75				フタツメカワゲラ属	<i>Neoperla</i> sp.	●	●	●	●
76			アメメカワゲラ	アメメカワゲラ科	Perlodidae	●	●	●	●
77			アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	●	●	●	●
78				アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	●	●	●	●
79				シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>	●	●	●	●
80				アメンボ科	Gerridae	●	●	●	●
81			カタビロアメンボ	ナガレカタビロアメンボ	<i>Pseudovelia tibialis</i>	●	●	●	●
82			コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●	●	●	●
83		ヘビトンボ	ヘビトンボ	タイリクケロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes continentalis</i>	●	●	●	●
84				ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	●	●	●	●
85				センブリ	<i>Sialis</i> sp.	●	●	●	●
86				ムネカクトビケラ	<i>Ecnomus</i> sp.	●	●	●	●
87				シマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	●	●	●	●
88					<i>Cheumatopsyche infascia</i>	●	●	●	●
89					<i>Cheumatopsyche</i> sp.	●	●	●	●
90					<i>Diplectrona</i> sp.	●	●	●	●
91					<i>Hydropsyche orientalis</i>	●	●	●	●
92					<i>Dolophilodes</i> sp.	●	●	●	●
93					<i>Plectrocnemia</i> sp.	●	●	●	●
94					<i>Psychomyia</i> sp.	●	●	●	●
95					<i>Stenopsyche marmorata</i>	●	●	●	●
96					<i>Hydroptila</i> sp.	●	●	●	●
97					<i>Rhyacophila brevicephala</i>	●	●	●	●
98					<i>Rhyacophila</i> sp.	●	●	●	●

表1.7-2(2) 確認された動物種 (底生動物) (2)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	季節			
						春季	夏季	秋季	冬季
95	昆虫	トビケラ (毛翅)	コエグリトビケラ	コエグリトビケラ属	<i>Apatania</i> sp.	●			●
96			アシエダトビケラ	コバントビケラ	<i>Anisocentropus kawamurai</i>		●	●	●
97			ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	●	●	●	●
98			カクツトビケラ	カクツトビケラ属	<i>Lepidostoma</i> sp.		●	●	●
99			ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ属	<i>Mystacides</i> sp.		●	●	●
100			クサツミトビケラ	クサツミトビケラ属	<i>Oecetis</i> sp.	●			
101			エグリトビケラ	スジトビケラ属	<i>Nemotaulius</i> sp.				●
102			NAホタルトビケラ	NAホタルトビケラ	<i>Nothopsyche</i> sp. NA	●			●
103			トビケラ	ムラサキトビケラ	<i>Eubasilissa regina</i>			●	●
104			ケトビケラ	トウヨウグマカトビケラ	<i>Gumaga orientalis</i>			●	●
105		チョウ (鱗翅)	ツトガ	キオビミズメイガ	<i>Potanomusa midas</i>	●	●	●	●
106		ハエ (双翅)	オビヒメガガンボ	ホソオビヒメガガンボ属	<i>Dicranota</i> sp.			●	●
107			ヒメガガンボ	ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.	●	●	●	●
108			ガガンボ	ガガンボ属	<i>Tipula</i> sp.	●	●	●	●
109			チョウバエ	ハマダラチョウバエ属	<i>Pericoma</i> sp.			●	●
110			ケヨソイカ	ケヨソイカ科	Chaoboridae			●	●
111			ユスリカ	ケフカエリユスリカ属	<i>Brillia</i> sp.	●		●	●
112				トラフユスリカ属	<i>Conchapelopia</i> sp.	●	●	●	●
113				ツヤユスリカ属	<i>Cricotopus</i> sp.	●		●	●
114				カマガタユスリカ属	<i>Cryptochironomus</i> sp.		●		●
115				ヤマユスリカ属	<i>Diamesa</i> sp.				●
116				フタユスリカ	<i>Diplocladius cultriger</i>				●
117				テンマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.	●			●
118				ナカツメヌマユスリカ属	<i>Fittkauimyia</i> sp.		●	●	●
119				フユスリカ属	<i>Hydrobaenus</i> sp.				●
120				ホカシヌマユスリカ属	<i>Macropelopia</i> sp.				●
121				ナガシユスリカ属	<i>Micropectra</i> sp.				●
122				ツヤムネユスリカ属	<i>Microtendipes</i> sp.		●		●
123				トゲヤマユスリカ属	<i>Monodiamesa</i> sp.				●
124				モンヌマユスリカ属	<i>Natarsia</i> sp.				●
125				モンヌマユスリカ属	<i>Natarsia</i> sp.		●		●
126				エリユスリカ属	<i>Orthocladius</i> sp.	●			●
127				オオユキユスリカ属	<i>Pagastia</i> sp.				●
128				ニセバネエリユスリカ属	<i>Parametrotremus</i> sp.	●	●	●	●
129				カワユスリカ属	<i>Paratendipes</i> sp.	●	●		●
130				ハモユスリカ属	<i>Polypedilum</i> sp.	●	●	●	●
131				サユスリカ属	<i>Potthastia</i> sp.				●
132				ウスギヌヒメユスリカ属	<i>Rheopelopia</i> sp.	●			●
133				ナガレユスリカ属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.	●	●		●
134				アシマダラユスリカ属	<i>Stictochironomus</i> sp.	●	●	●	●
135				ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.	●	●	●	●
136				ヌカユスリカ属	<i>Thienemanniella</i> sp.	●	●	●	●
137				ニセテンマクエリユスリカ属	<i>Ivetenia</i> sp.	●	●	●	●
-				ユスリカ科	Chironomidae	●	●	●	●
138			カ	カ科	Culicidae		●		
139			ホソカ	ホソカ属	<i>Dixa</i> sp.			●	●
140			フユ	ツノムコフユ属	<i>Eusimulium</i> sp.	●		●	●
141				アシマダラフユ属	<i>Simulium</i> sp.	●	●	●	●
142			ナガレアブ	ヒメモンナガレアブ	<i>Atrichops fontinalis</i>	●			●
-				ヒメナガレアブ属	<i>Atrichops</i> sp.		●		
143				サツマモンナガレアブ	<i>Suragina satsumana</i>	●			●
144			コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	モンキマメゲンゴロウ	●		●	●
145				ガムシ	ヤマトゴマフガムシ			●	●
146					キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus similans</i>	●		
147				マルハナノミ	ケシマルハナノミ属			●	●
148					キムネマルハナノミ属	<i>Sacodes</i> sp.			●
149				ヒメドロムシ	ツヤナガアシドロムシ		●		●
-					ナガアシドロムシ属	<i>Grouvellinus nitidus</i>	●	●	●
-					ヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria brevis</i>	●		●
150				ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナノミ				●
151					クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubrianax granicollis</i>		●	●
152					ヒラタドロムシ	<i>Mataeopssephus japonicus</i>	●	●	●
153					マスタチビヒラタドロムシ	<i>Malacopssephoides japonicus</i>	●	●	●
154							●	●	●
-	7	22	78	154		80種	87種	81種	97種



